

容量市場 実務説明会
(リクワイアメント対応)
(対象実需給年度：2024年度)

2023年8月
電力広域的運営推進機関

1. はじめに（本資料の目的および説明内容）	……	3
2. 容量市場とリクワイアメント対応の概要	……	4
3. 安定電源・変動電源（単独）の実需給期間に係る実務	……	7
4. 変動電源（アグリゲート）の実需給期間に係る実務	……	61
5. 発動指令電源の実需給期間に係る実務	……	75
6. 異議申立に係る実務	……	92
7. FAQ・お問い合わせ先	……	93

1. はじめに

本資料の目的および説明内容

- 本資料は、「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（電源等区分※）編（対象実需給年度：2024年度）」の主要な手順等を説明することで、容量提供事業者の実需給期間における実務に関する理解を深めることを目的としております。
- 当該目的を踏まえ、本資料においてはリクワイアメント対応（対象実需給年度：2024年度）に係る主な実務手続きをご説明いたします。

※ 電源等区分には、安定電源、変動電源（単独）、変動電源（アグリゲート）、発動指令電源のいずれかが該当します

本説明会の目的

「容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（電源等区分※）編（対象実需給年度：2024年度）」の主要な手順等を説明することで、容量提供事業者の実需給期間を対象とした実務に関する理解を深めること

説明内容

容量提供事業者に対応いただく実需給年度（2024年度）を対象とした実務手続きを電源等区分に応じて説明

2. 容量市場とリクワイアメント対応の概要

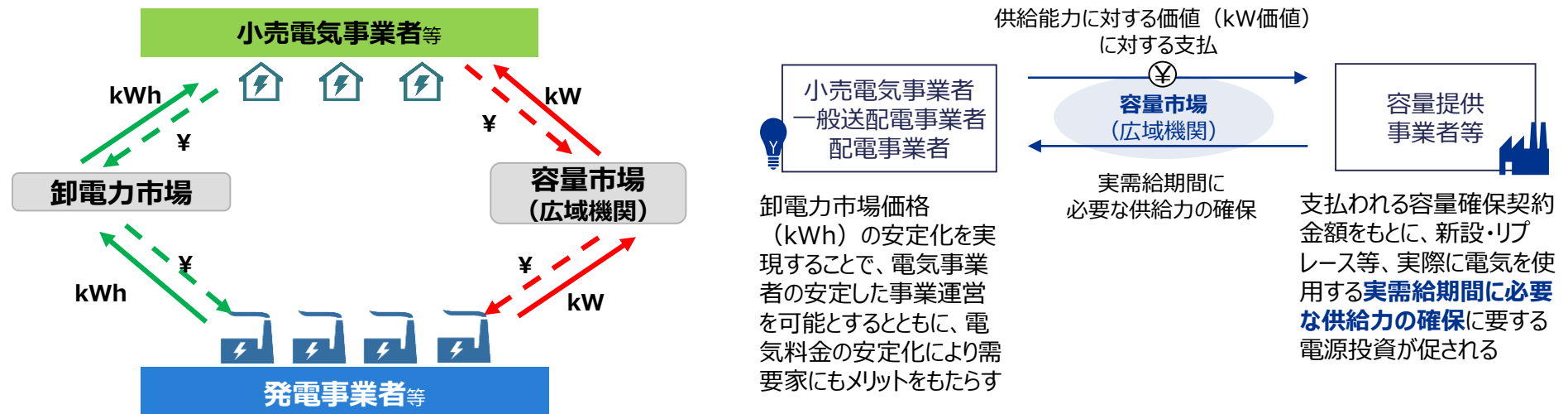
容量市場導入の背景および概要

【容量市場導入の背景】

- 以下の目的を効率的に達成するために、容量市場が導入されました。
 - 電源投資が適切なタイミングで行われ、予め必要な供給力を確実に確保すること
 - 卸電力市場価格の安定化を実現することで、電気事業者の安定した事業運営を可能とするとともに、電気料金の安定化により需要家にもメリットをもたらすこと

【容量市場の概要】

- 容量市場では、電力量 (kWh) ではなく、**将来の供給力 (kW)** が取引されます。
- 容量市場とは、**将来にわたる我が国全体の供給力を効率的に確保する仕組みとして、発電所等の供給力を金銭価値化し、多様な発電事業者等に市場へ参加していただくことにより供給力を確保する仕組み**です。

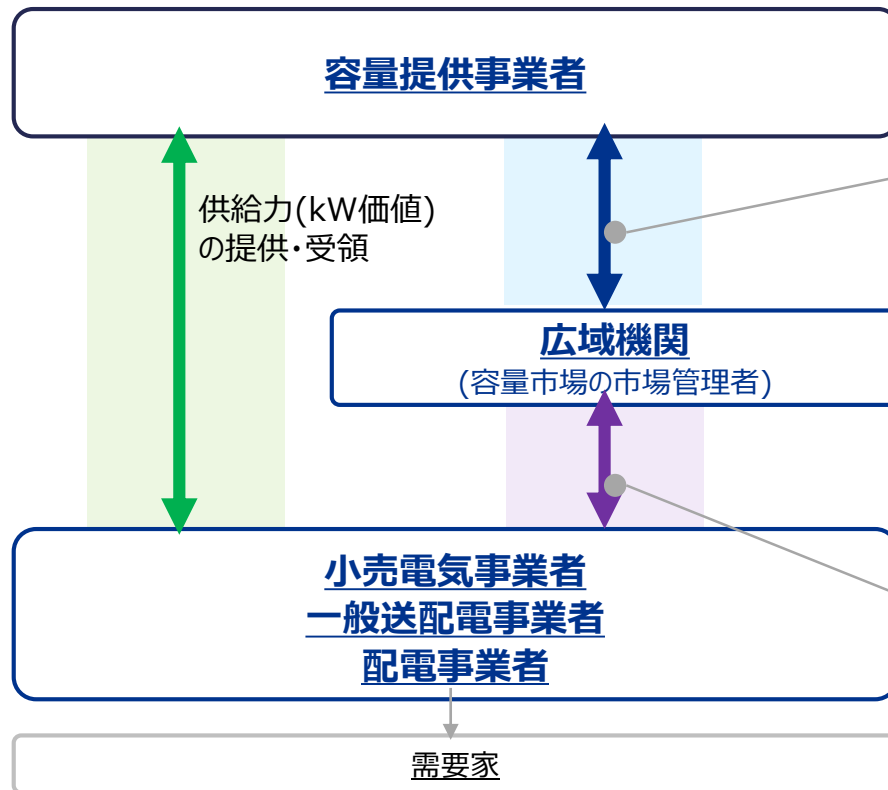


2. 容量市場とリクワイアメント対応の概要

容量市場の取引の流れ

- 容量提供事業者については、容量確保契約金額を中心に経済的ペナルティや経済的ペナルティの返金が取引として発生します。
- 小売電気事業者および一般送配電事業者、配電事業者については、容量拠出金を中心に未回収分の追加請求や還元が取引として発生します。

容量市場取引の概要



【容量確保契約金額】

容量提供事業者に対して、供給能力に対する価値(kW価値)の対価を支払う取引

【経済的ペナルティ】

実需給前、実需給期間中において、リクワイアメント・アセスメントの結果、容量提供事業者に科される違約金

【経済的ペナルティの返金】

実需給前に市場退出による経済的ペナルティを科された容量提供事業者に対して、追加オークション開催有無に伴い、ペナルティの返金を行う取引

【容量拠出金】

小売電気事業者および一般送配電事業者、配電事業者が支払う容量市場における供給力を確保するための取引

【未回収分の追加請求(年次精算)】

小売電気事業者および一般送配電事業者、配電事業者の取引で生じた容量拠出金の未回収分を他の小売電気事業者等へ追加請求することにより総額を一致させるための取引

【還元(年次精算)】(小売電気事業者のみ)

受け渡し期間における容量提供事業者のリクワイアメント未達による経済的ペナルティ等を小売電気事業者の取引の総額に反映させるための取引

2. 容量市場とリクワイアメント対応の概要

- 容量オークションで落札した電源には、実需給期間において電源等区分に応じたリクワイアメントが課せられます。容量提供事業者は、本機関が行うアセスメントの結果を確認してください。
- 本資料の3章以降において、電源等区分に応じ、実需給期間の主な実務手続きについてご説明します。

電源等区分	リクワイアメント	実需給前	実需給期間中		
			平常時	広域予備率低下時	
安定電源	① 計画停止調整	・容量停止計画の調整に応じること	✓	2022年度に実施済み	
	② 余力活用に関する契約の締結	・調整機能「有」と登録した電源のみ、一般送配電事業者と余力活用に関する契約を締結すること	✓	2023年度に実施予定	
	③ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓	✓
	④ 市場応札【発電余力の卸電力取引所等への入札】	・発電余力を卸電力市場等に応札すること		✓	✓
	⑤ 電気の供給指示への対応	・一般送配電事業者からの電気の供給指示があった場合、適切に対応すること			✓
変動電源 (単独)	⑥ 計画停止調整	・容量停止計画の調整に応じること	✓	2022年度に実施済み	
	⑦ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓	✓
変動電源 (アグリゲート)	⑧ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと		✓	✓
発動指令 電源	⑨ 実効性テスト	・実効性テストにおいて容量確保契約容量以上の供給力を提供すること	✓	2022年度に実施済み	
	⑩ 発動指令への対応	・一般送配電事業者からの発動指令があった場合、適切に対応すること			✓※

※発動指令時

■ 安定電源および変動電源（単独）が対応する業務項目は以下となります

▶ 3.1 容量停止計画（日数カウント）について

- ✓ 3.1.1 アセスメントの基準について
- ✓ 3.1.2 容量停止計画の確認手続き
- ✓ 3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き
- ✓ 3.1.4 アセスメント結果の確認手続き

▶ 3.2 市場応札について

- ✓ 3.2.1 アセスメントの基準について
- ✓ 3.2.2 市場応札量の登録手続き
- ✓ 3.2.3 アセスメント結果の確認手続き

▶ 3.3 電気の供給指示への対応について

- ✓ 3.3.1 アセスメントの基準について
- ✓ 3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き
- ✓ 3.3.3 アセスメント結果の確認手続き

3. 安定電源・変動電源（単独）の実需給期間

安定電源および変動電源（単独）のリクワイアメント対応の全体像

- 本章では、実需給期間において安定電源および変動電源（単独）を有する容量提供事業者の実務手続きについてご説明します。
- 安定電源には、容量停止計画（日数カウント）、市場応札、電気の供給指示への対応のリクワイアメントが課せられるため、リクワイアメントの達成に向けた算定諸元の登録方法やアセスメント結果を確認する実務手続きをご説明します。
- なお、容量停止計画（日数カウント）のリクワイアメントについては、変動電源（単独）も同様となりますので、本章における容量停止計画（日数カウント）の記載内容をご確認ください。

電源等区分	リクワイアメント	実需給期間中		
		平常時	広域予備率 低下時	
安定電源	③ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと	✓	✓
	④ 市場応札 【発電余力の卸電力取引所等への入札】	・発電余力を卸電力市場等に応札すること	✓	✓
	⑤ 電気の供給指示への対応	・一般送配電事業者からの電気の供給指示があった場合、適切に対応すること		✓
変動電源 (単独)	⑦ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと	✓	✓

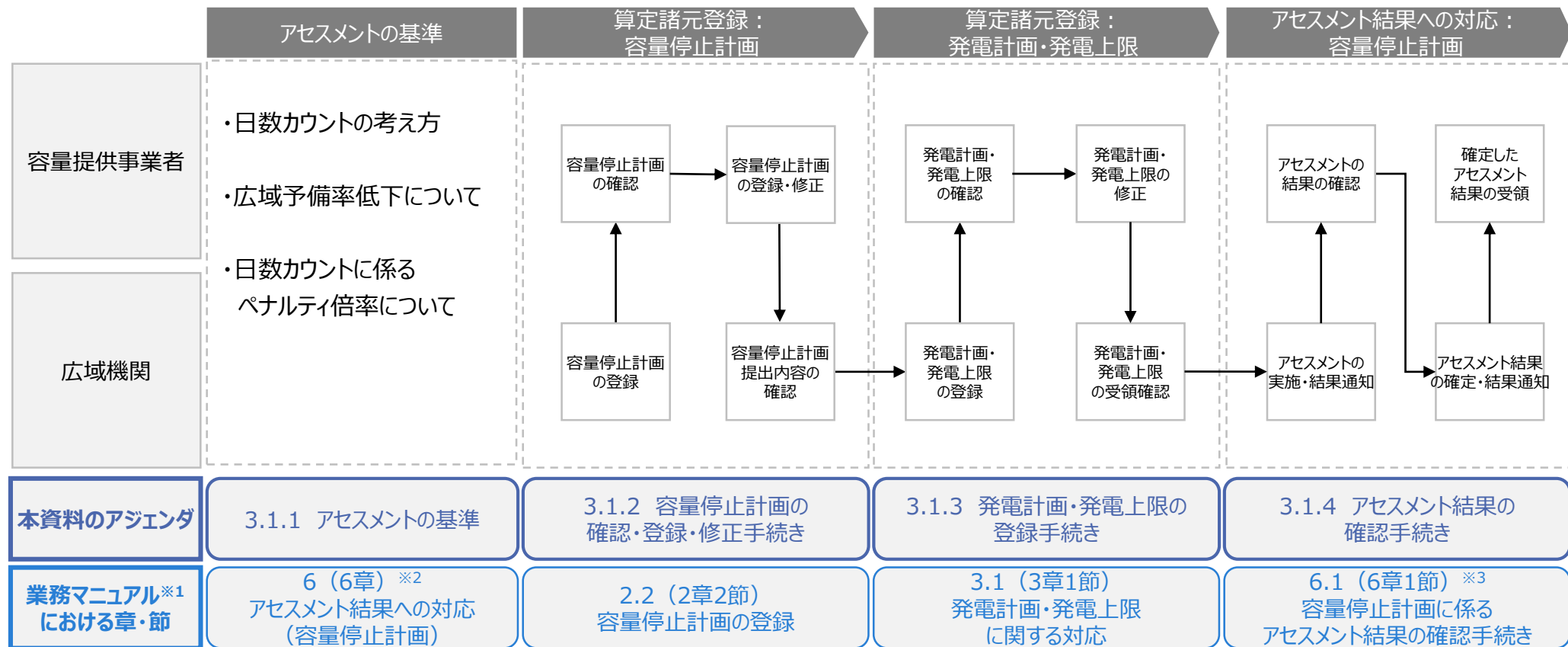
3.1 容量停止計画（日数カウント）に係る手続きの全体像

容量停止計画（日数カウント）に係る業務のフロー

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 9

- 容量停止計画（日数カウント）に係る実務は、主に算定諸元登録とアセスメント結果の確定手続きとなります。
- 次頁以降にて実務手続きの留意点をご説明します。なお、容量市場システム操作が必要な手続きについては、システム画面と合わせて手順をお示しします。

【容量停止計画（日数カウント）に係る業務フローと本資料・業務マニュアルの記載箇所】



※1 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（安定電源・変動電源（単独））編（対象実需給年度：2024年度）

※2 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（対象実需給年度：2024年度）を参照する場合、4（4章）

※3 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（対象実需給年度：2024年度）を参照する場合、4.1（4章1節）

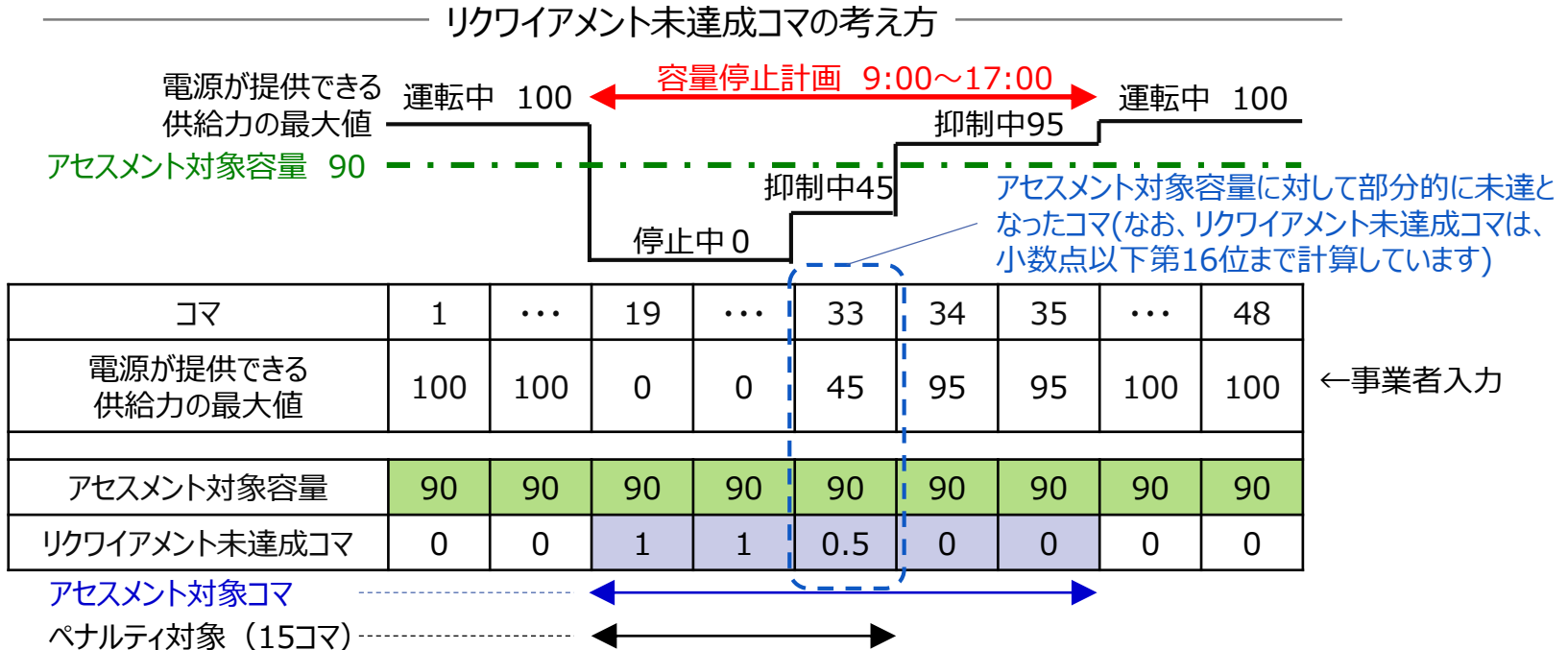
3.1.1 アセスメントの基準（容量停止計画（日数カウント））①

業務マニュアル『6 アセスメント結果への対応（容量停止計画）』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 10

- 容量提供事業者は、実需給期間中において、電源が供給力を提供できる状態に維持していただきます。
- 本機関は、コマ単位（30分単位）でアセスメントを実施し、容量停止計画が提出されているコマにおいて、電源が提供できる供給力の最大値がアセスメント対象容量を下回る場合、当該コマをリクワイアメント未達成コマとします（容量停止計画が提出されていないコマについては、アセスメント対象外です）。
- 容量停止計画が提出されているコマにおいて、アセスメント対象容量に対して部分的に未達となった場合、未達量に応じてリクワイアメント未達成コマをカウントします。
- 容量停止計画の提出タイミングや、低予備率アセスメント対象コマ※の有無により、リクワイアメント未達成コマが5倍カウントされるコマが発生する場合があります。

※翌日計画公表以降に広域予備率が8%未満となり、広域予備率低下に伴う供給力提供の周知対象となったコマ



リクワイアメント未達成コマ

$$= \sum (\text{アセスメント対象容量} - \text{電源が提供できる供給力の最大値}) \div \text{アセスメント対象容量}$$

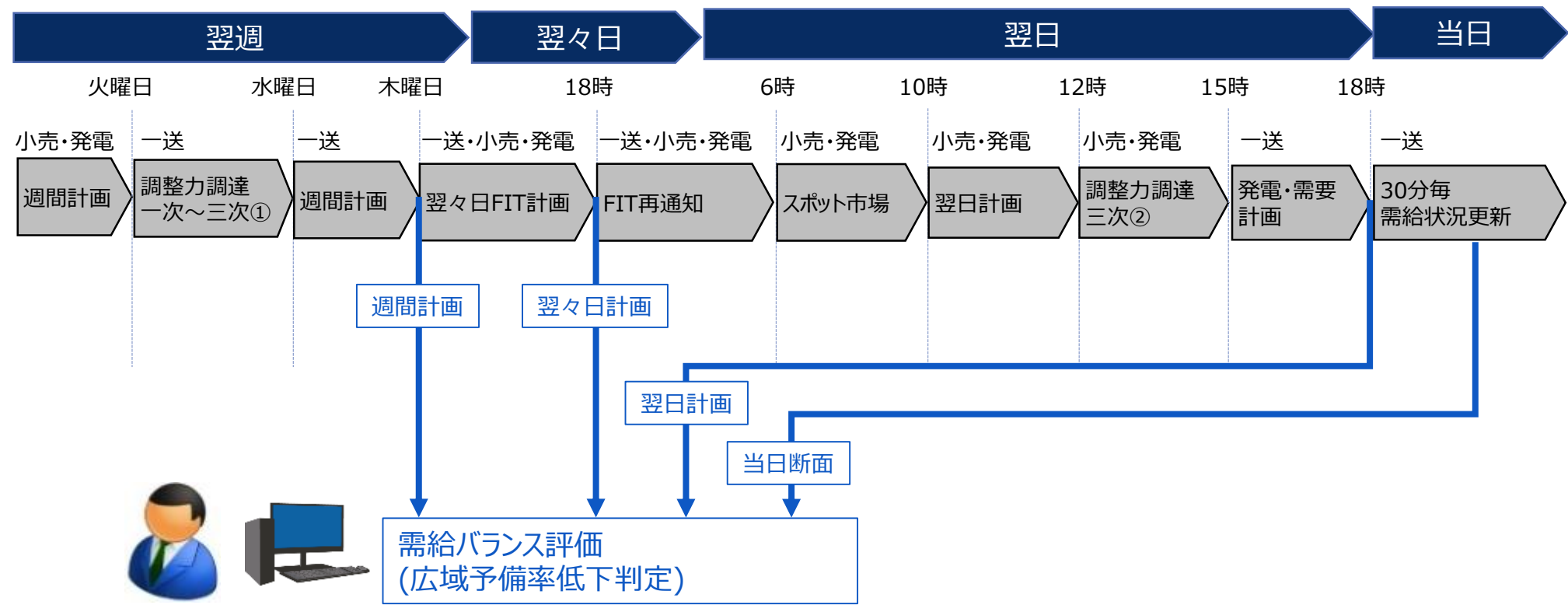
$$= 14 \times 1 + 1 \times 0.5 = 14.5 \text{コマ}$$

(参考) 広域予備率低下について①

- 広域予備率低下に関しては、週間計画以降、広域予備率の更新の都度、判定を行い周知します※。
- なお、週間計画～翌々日計画等、定期的に判定しないタイミングにおいて想定外の大きな需給バランスの変化が発生した場合には、必要に応じて判定を実施します。

※ 週間計画以降に周知をするものの、翌日計画以降の48点化したデータにおいて、一度でも広域予備率8%未満と判定されたコマは、ペナルティの倍率が5倍カウントとなります

<2024年度以降の広域予備率算定スケジュール>



需給バランス評価
(広域予備率低下判定)

(参考) 広域予備率低下について②

- 広域機関HPが改修され、広域予備率8%未満を判定の都度、web上に表示されるとともに、容量提供事業者の確認支援のためメールが送付されますのでご確認ください※1。
- なお、当日については30分毎の広域予備率更新の都度、判定を行いますが、翌日計画公表後における確認支援のメールについては広域予備率が低下したコマが追加される都度送付されますのでご確認ください。

※1 基本的には、web表示する内容を確認いただくことを前提とし、メールについては補足的な周知として送付します

	計画の内容	広域予備率8%未満判定タイミング
週間計画	平日・土曜・日曜の最大需要時 最小予備率時	毎週木曜日の公表時
翌々日計画	<2024年度>最大需要時 最小予備率時 <2025年度～>48点	毎日18時の公表時
翌日計画	48点	毎日18時の公表時
当日	48点	30分毎の更新時※2 ※2 低予備率アセスメント対象コマが追加される都度メール送付

<広域予備率が低下した場合の対応>



3.1.1 アセスメントの基準（容量停止計画（日数カウント））②

業務マニュアル『6 アセスメント結果への対応（容量停止計画）』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 13

- 容量停止計画の提出タイミングおよび広域予備率低下の有無によるペナルティの倍率は以下のとおりです。
- 容量停止計画の期間の短縮に伴い容量停止計画を再提出する場合には、当初計画のペナルティの倍率から変更しません。
- 容量停止計画の期間を延長に伴い容量停止計画を再提出する場合には、当初計画の期間については、当初計画のペナルティの倍率から変更ませんが、延長した期間については、容量停止計画を再提出したタイミングにおけるペナルティの倍率を適用します（例えば、前月末に提出した計画（1倍カウント）を、前週の火曜日17時以降に容量停止計画を延長した場合は、延長した期間については5倍カウント（平常時の夜間、休日を除く）します）。
- 実需給までに、容量停止計画を取り消した場合、容量停止計画のリクワイアメント対象外とします。

提出のタイミング	容量停止計画の提出					
	前日夕方以降に「平常時」と判定された時			前日夕方以降に「広域予備率低下」と判定された時		
前月末	停止期間			停止期間		
前週の火曜日 17時まで		停止期間			停止期間	
前週の火曜日 17時以降			停止期間			停止期間
ペナルティの倍率	1倍	1倍	5倍 ※夜間、休日は1倍	1倍	5倍	5倍

3.1.1 アセスメントの基準（容量停止計画（日数カウント））③

業務マニュアル『6 アセスメント結果への対応（容量停止計画）』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 14

- 発電設備自体の作業停止等ではなくその他要因（流通設備の計画的な作業実施や従来からの地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止または出力低下する場合に提出いただく容量停止計画についても、提出タイミングおよび広域予備率低下の有無によるペナルティの倍率は、容量提供事業者が実施する作業実施に伴う場合と同じです。
- なお、その他要因に伴う容量停止計画については、前月末までに提出されている場合、以降に容量停止計画の変更が生じたとしてもペナルティの倍率は1倍とする場合があります。

流通設備の計画的な作業実施や従来からの地元自治体との協定等に伴う電源等の停止又は出力低下時

(参考) 電源等の維持・運営に必要な作業の要因に伴う電源等の停止又は出力低下時

提出のタイミング	容量停止計画の提出
前月末 (変更前)	停止期間
前週火曜日 17時	
前週火曜 17時以降 (変更後)	停止期間
ペナルティの倍率	1倍

提出のタイミング	容量停止計画の提出
前月末 (変更前)	停止期間
火曜日17時	
火曜17時以降 (変更後)	停止期間
ペナルティの倍率	1倍 5倍

※平常時の夜間、休日は1倍

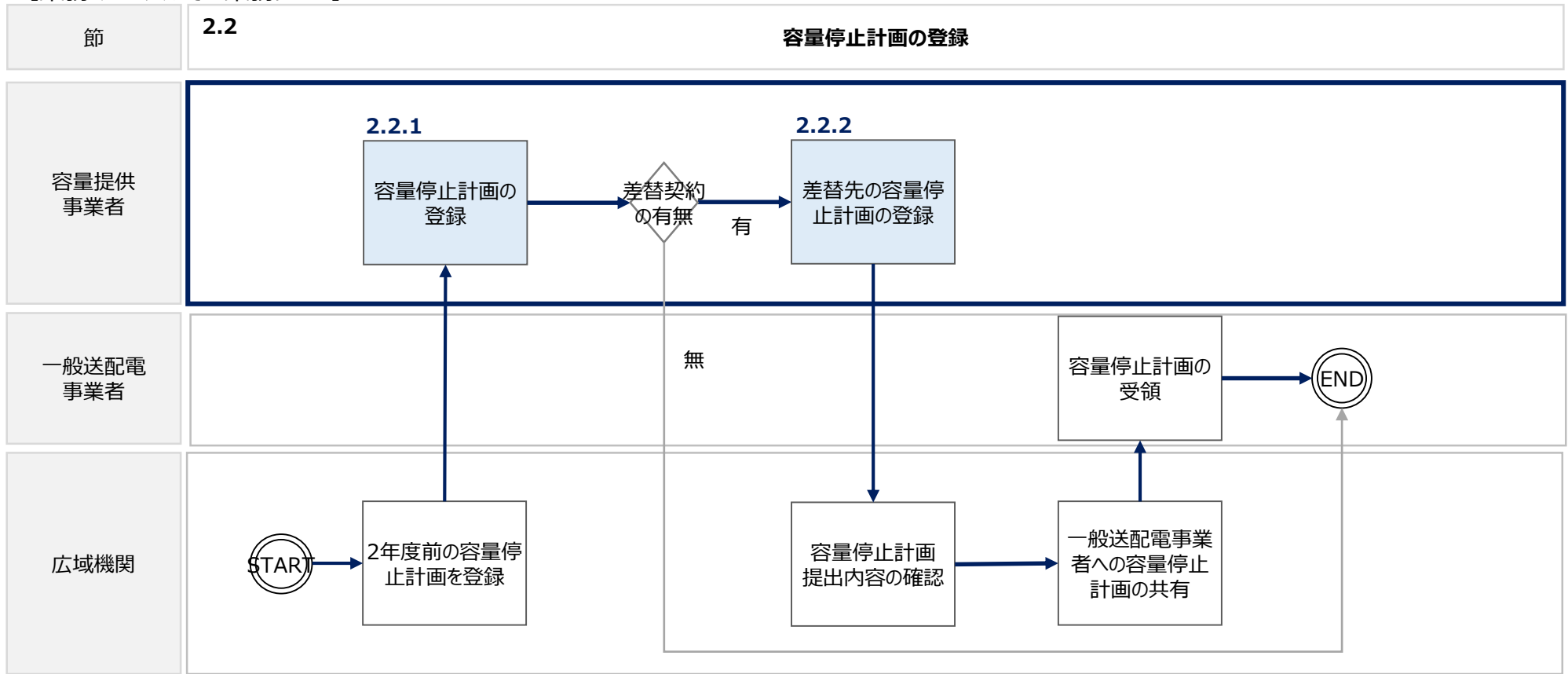
3.1.2 容量停止計画の確認手続き 業務全体像

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 15

- 容量停止計画の確認手続きに係る業務は、主に登録された容量停止計画（差替先を含む※1）の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『2.2.1 容量停止計画の登録』の手續きを中心に業務の手續をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



※1 差替先の容量停止計画の登録手續きも同様となります

3.1.2 容量停止計画の確認手続き①

業務マニュアル『2.2.1.1 容量停止計画の確認』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 16

- 実需給2年前（2022年度）に容量市場システム（実需給前向け）に登録された容量停止計画のデータは、本機関が容量市場システム（実需給期間向け）に移管し、月間のデータに変換します。
- 本機関は、移管作業終了後、容量提供事業者にメールを送付しますので(P)、容量提供事業者の方は、登録されたデータを確認してください※。

※ 2024年4月の容量停止計画（月間）については3月中に確認する必要がありますが、2024年3月時点ではシステム上での確認ができないため、本機関よりメールにて容量停止計画（月間）のファイルを送付いたしますので、そちらをご確認ください(P)

容量停止計画（年間）から（月間）へのデータ移管イメージ

本機関によるデータ移管作業
(2024年3月実施予定(P))

容量市場システム
(実需給前向け：既存システム)

電源Aの容量停止計画（年間）：

停止期間（年間）	開始時刻	終了時刻
6/11~6/12	0:30	23:30

2022年度に登録・調整済み

実需給2年前の容量停止計画の調整業務に活用済み

容量市場システム
(実需給期間向け：2024年4月運開予定)

電源Aの容量停止計画（月間）：

6/11（コマ単位）							6/12（コマ単位）								
1	2	3	4	～	46	47	48	1	2	3	4	～	46	47	48
容量停止期間							容量停止期間								

3.1.2 容量停止計画の確認手続き②

業務マニュアル『2.2.1.1 容量停止計画の確認』

■ ここで、登録されたデータを変更する必要がある場合、業務マニュアル『2.2.1.2 容量停止計画の登録 (CSV一括登録)』、『2.2.1.3 容量停止計画の登録 (容量停止計画変更・確認画面)』に記載の手続きに従い、容量停止計画を自身で登録してください (2024年4月以降)。

容量停止計画 (月間) のデータ修正手続き※イメージ

例えば、実際は連続ではなく、毎日 (9時~17時) の作業停止であった場合、容量提供事業者自身で登録データ (コマ単位) を正しく登録してください

変更・修正
(容量提供事業者)

容量市場システム
(実需給期間向け：2024年4月運開予定)

修正前

電源Aの容量停止計画 (月間) :

6/11 (コマ単位)									6/12 (コマ単位)								
1	2	3	4	~	46	47	48		1	2	3	4	~	46	47	48	



容量市場システム
(実需給期間向け：2024年4月運開予定)

修正後

6/11 (コマ単位)									
1	~	19	20	~	34	35	36	~	48
		(9:00)				(17:00)			

6/12 (コマ単位)									
1	~	19	20	~	34	35	36	~	48
		(9:00)				(17:00)			

3.1.2 容量停止計画の確認手続き③

業務マニュアル『2.3 作業停止計画（月間）からの変換』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 18

- 前述の通り、容量市場システム（実需給前向け）から容量市場システム（実需給期間向け）に容量停止計画が移管された後に、広域機関システムに作業停止計画（月間）を登録した場合、新たに登録した作業停止計画（月間）に従い、容量停止計画も修正する必要があります。
- 広域機関システムに登録した作業停止計画（月間）を容量停止計画に変換する場合、広域機関へ変換を依頼してください。本機関は、変換作業を行い、容量市場システム（実需給期間向け）に登録いたします。
- 変換希望事業者は、紐づけ情報※¹を所定のフォーマット※²に記入し、対象月の前月10日までに本機関まで提出してください。

※¹ 容量市場システムに登録されている「事業者コード（4桁）」、「電源等識別番号（10桁）」、「枝番」と広域機関システムに作業停止計画を登録した際に附番される「広域受付番号（7桁）」を記載。

※² フォーマットは後日公表いたします。

広域機関にて実施

容量市場システム（実需給前向け）から
容量市場システム（実需給期間向け）へ
容量停止計画のデータ移管作業
（実需給年度前に1回のみ実施）

※前頁のスライドご参照

容量停止計画（月間）

事業者にて実施

広域機関システムへ
作業停止計画（月間）の登録
（毎月実施）

※現在も実施している既存業務

作業停止計画（月間）

事業者の変換依頼にもとづいて
広域機関にて実施

作業停止計画（月間）の
容量停止計画への変換作業
（毎月実施）

容量停止計画（月間）

3.1.2 容量停止計画の確認手続き④

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ

安定電源

変動電源
(単独)

実需給年度前のご対応依頼（対象実需給年度：2024年度限定）

- 2024年度において、容量停止計画を登録・修正する事業者は、登録・修正対象となる実需給月の前月末までに容量市場システム（実需給期間向け）に修正内容を登録する必要があります※1。一方で、当該システムは、2024年3月末まで開発中であるため、2024年4月分に限り、本機関が代理で登録手続きを行います（2024年5月分以降に関しては、当該システム上にて、事業者自身で登録・修正手続きを行ってください）。
- 本機関は、本リクワイアメントが対象となる落札電源を保有する事業者に対し、メールにて代理登録手続きの要否を確認しますので、すみやかにご返信願います（2024年3月上旬メール送付予定(P)）。
- 2024年4月以降、本機関が登録した容量停止計画（2024年4月分）が、正しく登録されているか当該システム上で確認し、確認結果を本機関へメールでご返信願います※2。

実需給期間中に容量停止計画（月間）の変更が必要な容量提供事業者へのご対応依頼

		容量市場システム運開前(開発中)	容量市場システム運開後	
カレンダー (本作業実施時期)		2023年度	2024年度	
容量停止計画 の修正対象月		3月	4月	5月以降
		4月分	5月分	6月分以降
容量 提供 事業者	作業停止計画を 広域機関システムに 登録している	<ul style="list-style-type: none"> 容量停止計画（4月分）に係るCSVファイル(P)を本機関へ提出する または、 広域機関システムに登録済みの作業停止計画（4月分）の変換、容量市場システムへの登録を本機関へ依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者自身で容量市場システム上で容量停止計画（5月分）を修正する または 広域機関システムに登録済みの作業停止計画の変換、容量市場システムへの登録を本機関へ依頼する(P) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者自身で容量市場システム上で容量停止計画（6月分以降）を修正する または 広域機関システムに登録済みの作業停止計画の変換、容量市場システムへの登録を本機関へ依頼する(P)
	作業停止計画を 広域機関システムに 登録していない※3	<ul style="list-style-type: none"> 本機関へ容量市場システムへの登録を依頼するため、容量停止計画（4月分）に係るCSVファイル(P)を提出する 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者自身で容量市場システム上で容量停止計画（5月分）を修正する 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者自身で容量市場システム上で容量停止計画（6月分以降）を修正する

※1 需給状況に応じて、リクワイアメント未達成コマに乗じる値が異なります（本説明会資料P.13ご参照）

※2 返信先のメールアドレスは後日公表いたします

※3 広域機関システムに作業停止計画を登録する必要が無い場合等

- 本手順では、CSV一括登録により容量停止計画を登録・修正する場合の手順を説明します。
- 容量停止計画の登録は本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください（P）
（記載項目については、次頁を参照）。

```

*容量停止計画.csv - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
"容量停止計画ID","実需給年度","電源等識別番号","電源等の名称","電源等差替ID","差替元電源等識別番号","受電地点特定番号","枝番",
0000000001,2024,1234567890,電源A,0000000001,1234567899,1234567890123456789012,1,1号機,11111,20240731,1000,20240815,1000,1111111111,50000,01,2
0000000001,2024,1234567890,電源A,0000000001,1234567899,1234567890123456789012,2,2号機,11111,20240731,1000,20240815,1000,1111111111,50000,01,2
A240000001,2024,1234567890,電源A,0000000001,1234567899,1234567890123456789012,3,3号機,11111,20240731,1000,20240815,1000,1111111111,50000,01,2

```

容量停止計画のCSVイメージ

- ・広域機関HPからCSVファイルをダウンロードしてください。（P）
- ・容量停止計画のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分（“容量停止計画ID”～“登録区分”の部分）、2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）の両方に""が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください（""を付けないでください）。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_電源等識別番号_A枝番.csv」(P)としてください。また、容量停止計画を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_容量停止計画_電源等識別番号_A枝番_R更新回数.csv」(P)としてください。

例

202410_容量停止計画_0123456789_A1.csv（1回目）

202410_容量停止計画_0123456789_A1_R1.csv（2回目）

■ 容量停止計画のCSVファイルは、以下の記載項目に基づき作成してください。

容量停止計画のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	容量停止計画ID	容量停止計画ID（10桁）を半角英数字で入力してください
2	実需給年度	yyyy形式の半角数字で入力してください 例：実需給2024年度の場合「2024」と入力
3	電源等識別番号	停止対象の電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等の名称	電源等の名称（50桁以内）を全角で入力してください
5	電源等差替ID	（差替契約がある場合のみ）コマ別の発電計画、発電上限を半角数字で入力してください
6	差替元電源等識別番号	（差替契約がある場合のみ）差替元電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
7	受電地点特定番号	受電地点特定番号（22桁）を半角英数字で入力してください
8	枝番	枝番を半角英数字で入力してください
9	停止設備（号機単位）の名称	停止設備（号機単位）の名称（50桁以内）を全角で入力してください
10	系統コード（号機単位）	系統コード（号機単位（5桁））を半角英数字で入力してください
11	作業開始年月日	yyyy/mm/dd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業開始の場合「20241003」と入力
12	作業開始時分	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：AM9:05 に作業開始の場合「0905」と入力
13	作業終了年月日	yyyy/mm/dd（8桁）を半角数字で入力してください 例：2024年10月3日に作業終了の場合「20241003」と入力
14	作業終了時分	hhmm（4桁）を半角数字で入力してください 例：PM9:05 に作業終了の場合「2105」と入力
15	広域受付番号	広域受付番号（7桁）を半角英数字で入力してください
16	出力可能容量（kW）	出力可能容量（10桁）を半角数字で入力してください
17	容量停止計画登録状況	編集しない（空欄、または入力済みの値のまま）
18	登録区分	2:変更（2回目以降）、3:取消、4:新規登録

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたい容量停止計画のCSVファイルを選択し登録してください。

容量市場システム

ログイン日時 : 2020/3/23:12:00
ユーザー名 広域 太郎

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「01:容量停止計画」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンで容量停止計画を選択してください。

ファイル種別* [v]

アップロードファイル* [アップロードするファイルを選択してください]

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通 : 中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「01:容量停止計画」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい容量停止計画のCSVファイルを選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

- 容量停止計画の登録・修正が必要と判断した容量提供事業者は、容量停止計画を登録または修正してください（2024年4月以降※）。
- 本手順では、「容量停止計画一覧画面」上から容量停止計画を登録・修正する場合の手順をご説明します。

※ 上述の通り、本資料で説明されている容量市場システムの機能は、2024年4月からの運用開始となるため。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「容量停止計画一覧画面」リンクをクリックして、「容量停止計画一覧画面」へ進んでください。
- 「容量停止計画ID」に該当の容量停止計画IDを入力し、「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「容量停止計画一覧（検索結果）」に、条件に合致する結果が表示されますので、「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、「容量停止計画確認・変更画面」へ進んでください。

容量市場システム
ログイン日時: 2020/3/23:12:00 [ログアウト](#)

容量停止計画一覧画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧

実需給年度*	<input type="text" value="YYYY"/>	計画提出事業者コード	<input type="text" value="XXXX"/>	計画提出事業者名	<input type="text" value="XXXXX"/>
容量停止計画ID	<input type="text"/>	計画提出日	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/> ~ <input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>		
電源等識別番号	<input type="text"/>	電源等の名称	<input type="text"/>	枝番	<input type="text"/>
容量停止期間	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/> ~ <input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	容量停止計画区分	<input type="checkbox"/> 容量停止計画（広域提出） <input type="checkbox"/> 容量停止計画（事業者提出）		
最新回次切替	<input type="checkbox"/> 最新回次のみ表示				

[検索](#)

容量停止計画一覧

実需給年度	計画提出 事業者コード▲	計画提出 事業者名▲	容量停止計画ID▲	回次▲	計画提出日時▲	メール送信日時▲	容量停止計画区分▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX						XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000008	XX	2024/3/2 12:00	2024/3/2 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 1
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000009	XX	2024/2/28 12:00	2024/2/28 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000010	XX	2024/2/25 12:00	2024/2/25 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000011	XX	2024/2/22 12:00	2024/2/22 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000012	XX	2024/2/19 12:00	2024/2/19 13:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	電源 2
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000013	XX	2024/2/16 12:00	2024/2/16 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000014	XX	2024/2/13 12:00	2024/2/13 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 3
YYYY	XXXX	XXXXX	0000000015	XX	2024/2/10 12:00	2024/2/10 13:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	電源 4

1-15件 (全XX件) << 最初 < 前 1 / X 次 > 最後 > [一覧出力](#)

「計画提出事業者コード」リンクをクリックし、容量停止計画確認・変更画面に進んでください。

- 新規で容量停止計画を登録する場合は、「容量停止計画確認・変更画面」から、編集開始ボタンをクリックし、「追加情報入力欄」にて直接、電源等識別番号、枝番、作業開始日時、作業終了日時等を入力してください。
- ここで、発電設備自体の作業停止等ではなくその他要因※（流通設備の計画的な作業実施や従来からの地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止または出力低下する場合、必要に応じエビデンスとなる添付資料をアップロードしてください。

※ 詳細は本説明会資料P.14をご参照ください

追加情報入力欄

実施給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>
2024	-	-	-	<input type="text"/>		<input type="text"/>			<input type="text"/>

容量停止計画変更_添付資料

- 「ファイル選択」ボタンをクリックし、エビデンスとなる添付資料を選択後、「アップロード」ボタンをクリックしアップロードしてください。

追加情報入力欄

停止設備	系統コード	作業開始日時	作業終了日時	登録区分
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	採番

編集開始 キャンセル 表示 更新

・「追加情報入力欄」内の「編集開始」ボタンをクリック後に、必要情報を入力し、「更新」ボタンをクリックしてください。

容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ

- 「容量停止計画確認・変更画面」にて、「追加情報入力欄」の「編集開始」ボタンをクリックしてください。
- 電源等識別番号などの必要事項を入力した後は、「更新」ボタンをクリックしてください。

- 既存の容量停止計画を修正する場合は、「容量停止計画確認・変更画面」から、編集開始ボタンをクリックし、「変更情報入力欄」にて直接、作業開始日時と作業終了日時を変更してください。
- ここで、発電設備自体の作業停止等ではなくその他要因※（流通設備の計画的な作業実施や従来からの地元自治体との協定等）に伴い電源等が停止または出力低下する場合、必要に応じてエビデンスとなる添付資料をアップロードしてください。

容量市場システム

容量停止計画確認・変更画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > 容量停止計画一覧 > 容量停止計画確認・変更

実需給年度*	2024	計画提出事業者コード	XXXX	計画提出事業者名	XXXX
容量停止計画ID		計画提出日	YYYY/MM/DD	~	YYYY/MM/DD
電源等識別番号		電源等の名称		枝番	
容量停止期間	YYYY/MM/DD	~	YYYY/MM/DD	容量停止計画区分	<input type="checkbox"/> 容量停止計画（広域提出） <input type="checkbox"/> 容量停止計画（事業者提出）

検索

容量停止計画（最新）

実需給年度	計画提出日時	容量停止計画	電源等識別番号	受電地点特定番号	枝番
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画	XXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画	XXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画	XXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX
2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画	XXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX

「選択」で対象にチェックをいれた上で「編集開始」ボタンをクリックしてください。入力後に「更新」ボタンをクリックしてください。

変更情報入力欄

選択	実需給年度	計画提出日時	容量停止計画区分	容量停止計画ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替ID	差替元電源等識別番号	受電地点特定番号
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（事業者提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源2	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
<input type="checkbox"/>	2024	2024/3/23 12:00	容量停止計画（広域提出）	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	電源3	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

1-4件（全4件） <<最初 <前 XX / YY 次へ 最後へ

編集開始 キャンセル 更新

容量停止計画確認・変更画面 画面イメージ

変更情報入力欄

※ 詳細は本説明会資料P.14をご参照ください

停止設備	系統コード	作業開始日時	作業終了日時	登録区分
1号機	XXXX	2024/3/23 12:00	2024/3/23 12:00	変更
2号機	XXXX	2024/3/23 12:00	2024/3/23 12:00	変更
3号機	XXXX	2024/3/23 12:00	2024/3/23 12:00	変更
4号機	XXXX	2024/3/23 12:00	2024/3/23 12:00	変更

「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、作業開始日時と作業終了日時を変更してください。

1-4件（全4件） <<最初 <前 XX / YY 次へ 最後へ

変更情報入力欄 登録区分 画面イメージ

- 「登録区分」プルダウンから「変更」を選択し、「作業開始日時」、および「作業終了日時」を直接更新し修正してください。容量停止計画の修正後に、「更新」ボタンをクリックし更新内容を反映してください。

容量停止計画変更_添付資料

ファイル選択 アップロード

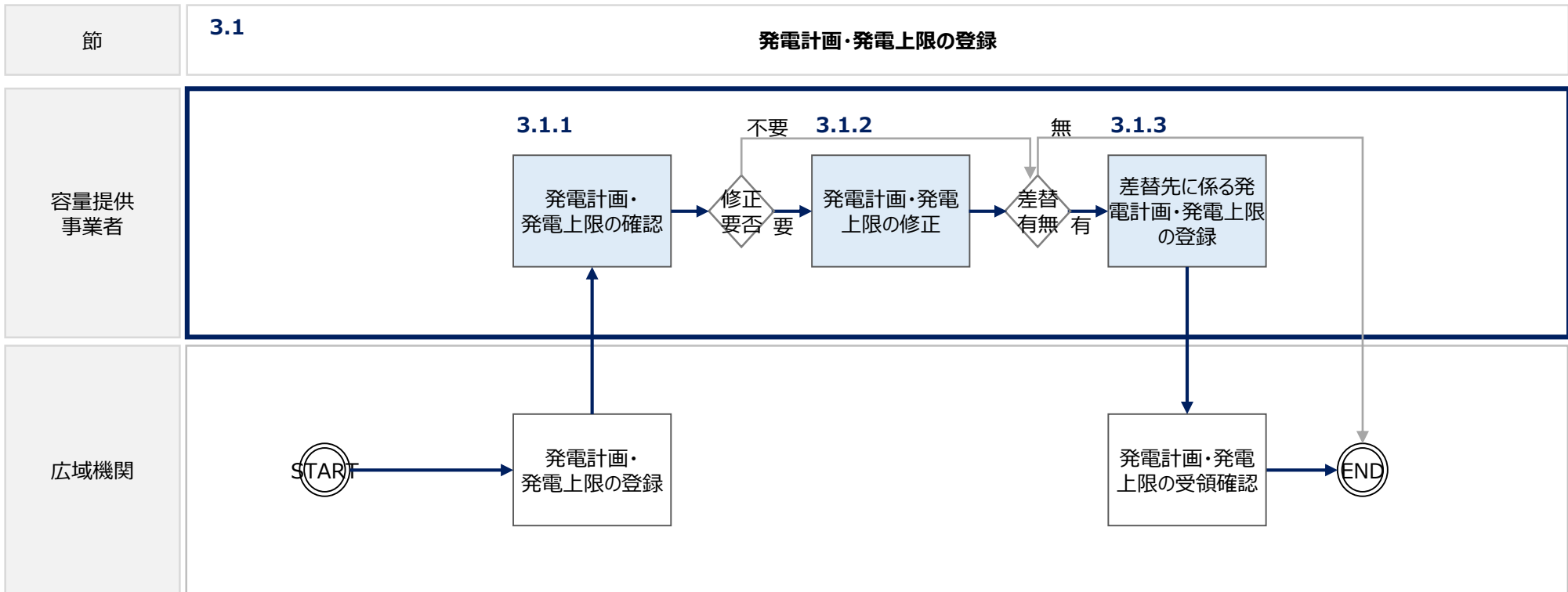
- 「ファイル選択」ボタンをクリックし、エビデンスとなる添付資料を選択後、「アップロード」ボタンをクリックしアップロードしてください。

3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き 業務全体像

- 発電計画・発電上限の登録手続きに係る業務は、主に発電計画と発電上限（差替先を含む）の登録となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き①

業務マニュアル『3.1.1.1 発電計画・発電上限の確認』

※変動電源(単独)のリクワイアメント⑦も同じ 27

- 発電計画と発電上限は、広域機関システムに登録してください。本機関において、広域機関システムに登録された発電計画と発電上限を容量市場システム(実需給期間向け)に移行します。
- 実需給月の翌月上旬までに移行しますので、容量市場システムに登録された発電計画・発電上限が正しく登録されているか確認してください。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント算定諸元一覧画面」リンクをクリックして、「アセスメント算定諸元一覧画面」へ進んでください。
- 「実需給年月」を入力し、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択した上で「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント算定諸元一覧」に条件に合致する結果が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント算定諸元詳細画面」へ進んでください。
- 「アセスメント算定諸元詳細画面」にて、登録された発電計画・発電上限をご確認ください。登録された発電計画・発電上限の修正の必要がある場合は、業務マニュアル『3.1.2 発電計画・発電上限の修正』に基づき、修正手続きをしてください。

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ユーザー名: 日立 太郎 ログアウト

アセスメント算定諸元一覧画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面

実需給年月*	YYYY/MM	電源等識別番号		電源等の名称	
電源等の区分		提出元エリア		提出元事業者コード	XXXX
提出元事業者名	XXXXXXXX	供給指示対象		回次	
最新回次切替	<input type="checkbox"/> 最新回次のみ表示				

検索

選択	実需給年度▲	実需給年月▲	電源等識別番号▲	電源等の名称▲	電源等の区分▲	提出元 エリア▲	提出元 事業者コード▲	提出元 事業者名▲	回次▲	供給指示対象▲
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象
<input type="checkbox"/>	2024	2024/04	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXX	東京	XXXX	XXXXX	XX	対象

アセスメント算定諸元一覧画面 画面イメージ

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント算定諸元詳細画面

TOP > アセスメント共通 > アセスメント算定諸元一覧画面 > アセスメント算定諸元詳細画面

登録情報			
対象年度/月	2024/4	電源等識別番号	XXXXXXXXXX
電源等の区分	XXXXXXXXXX	提出元事業者コード	XXXXXXXXXX
電源等の名称	XXXXXXXXXX	提出元事業者名	XXXXXXXXXX
更新情報			
発電計画・発電上限 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm	発電量調整受電電力 量更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm
市場広札呈 更新日時	YYYY/MM/DD hh:mm		
回次	XXXX		
詳細選択			
確認登録種別	<input checked="" type="radio"/> 発電計画・発電上限 <input type="radio"/> 発電量調整受電電力 <input type="radio"/> 市場広札呈		

表示

実需給年度	実需給年月日	登録種別	電源等識別番号	コマ毎登録情報 [kWh]																		
				01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2024	2024/04/01	発電計画	XXXXXXXXXX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX		
		発電上限	XXXXXXXXXX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX		
...	XXXXXXXXXX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX	XX		

アセスメント算定諸元詳細画面 画面イメージ

3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き②

業務マニュアル『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』※変動電源(単独)のリクワイアメント⑦も同じ 28

- 登録内容の確認の結果、発電計画・発電上限の修正が必要と判断された場合、発電計画・発電上限を修正の上、登録してください。
- 発電計画・発電上限の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。(P)

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
 “実需給年月日”、“情報区分”、“提出事業者コード”、“電源等識別番号”、“0:00”、“0:30”、“1:00”、“1:30”、“2:00”、“2:30”、“3:00”、“3:30”、“4:00”
 20240401_01_H001_0000000004_1000
 20240401_02_H001_0000000004_1000
 20240402_01_H001_0000000004_1000
 20240402_02_H001_0000000004_1000
 20240403_01_H001_0000000004_1000
 20240403_02_H001_0000000004_1000
 20240404_01_H001_0000000004_1000
 20240404_02_H001_0000000004_1000
 20240405_01_H001_0000000004_1000
 20240405_02_H001_0000000004_1000
 20240406_01_H001_0000000004_1000
 20240406_02_H001_0000000004_1000
 20240407_01_H001_0000000004_1000
 20240407_02_H001_0000000004_1000
 20240408_01_H001_0000000004_1000
 20240408_02_H001_0000000004_1000
 20240409_01_H001_0000000004_1000

アセスメント算定諸元(発電計画・発電上限)のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyMMdd形式の半角数字で入力してください例：2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01もしくは02を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード(4桁)を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号(10桁)を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電計画、発電上限を半角数字で入力してください
6	0:30	”
.....		
52	23:30	”

アセスメント算定諸元(発電計画・発電上限)のCSVイメージ

- ・アセスメント算定諸元(発電計画・発電上限)のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください(発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください)。
- ・アセスメント算定諸元(発電計画・発電上限)のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから””や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分(“実需給年月日”~“23:30”の部分)、2行目以降のボディ部分(登録する情報の部分)の両方に””が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、””を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、””を削除してください(””を付けしないでください)。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv(P)」としてください。また、発電計画・発電上限を更新する場合のファイル名は「実需給年度対象月_ファイル種別_R更新回数.csv(P)」としてください(P)。

例
 202410_アセスメント算定諸元.csv (1回目)
 202410_アセスメント算定諸元_R1.csv (2回目)

3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き③

業務マニュアル『3.1.2.1 発電計画・発電上限の修正登録』 ※変動電源(単独)のリクワイアメント⑦も同じ 29

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたいアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）のCSVファイルを選択し登録してください。

≡ | 容量市場システム
ログイン日時: 2020/3/23:12:00 ログアウト

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「03.アセスメント算定諸元」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンで発電計画・発電上限を選択してください。

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

「アップロード」ボタン

ファイル種別*	<input type="text" value="03.アセスメント算定諸元"/>
アップロードファイル*	[アップロードするファイルを選択してください]

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「03 .アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電計画・発電上限）のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.1.3 発電計画・発電上限の登録手続き④

業務マニュアル『3.1.3.1 差替先に係る発電計画・発電上限の登録』

※変動電源(単独)の
リクワイアメント⑦も同じ

- 差替契約を締結している場合は、差替元電源等提供者にて差替先より配分された量の発電計画・発電上限(差替配分供給力(発電計画・発電上限))を登録・修正してください。
- 差替配分供給力(発電計画・発電上限)の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。
(P)



差替配分供給力(発電計画・発電上限)のCSVイメージ

- ・差替配分供給力(発電計画・発電上限)のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください(発電計画・発電上限が零でも、0を入力してください)。
- ・差替配分供給力(発電計画・発電上限)のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分(“実需給年月日”~“23:30”の部分)、2行目以降のボディ部分(登録する情報の部分)の両方に""が記載されていますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください(“”を付けないでください)。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番.csv」(P)としてください。また、差替配分供給力(発電計画・発電上限)を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番_R更新回数.csv」(P)としてください(P)。

例
202410_差替配分供給力_A1.csv (1回目)
202410_差替配分供給力_A1_R1.csv (2回目)

差替配分供給力(発電計画・発電上限)のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyMMdd形式の半角数字で入力してください例： 2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	01もしくは02を入力してください 01：発電計画 02：発電上限
3	提出事業者コード	自身の事業者コード(4桁)を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号(10桁)を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号(10桁)を半角英数字で入力してください
6	電源等差替ID	電源等差替ID(10桁)を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電計画、発電上限を半角数字で入力してください
8	0:30	”
.....		
54	23:30	”

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたい差替配分供給力（発電計画・発電上限）のCSVファイルを選択し登録してください。

≡ | 容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
 ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「04:差替配分供給力」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンでアップロードしたい差替配分供給力（発電計画・発電上限）のCSVファイルを選択してください。

ファイル種別*	<input style="width: 80%;" type="text" value="04:差替配分供給力"/>
アップロードファイル*	<input style="width: 80%;" type="text" value="[アップロードするファイルを選択してください]"/>

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

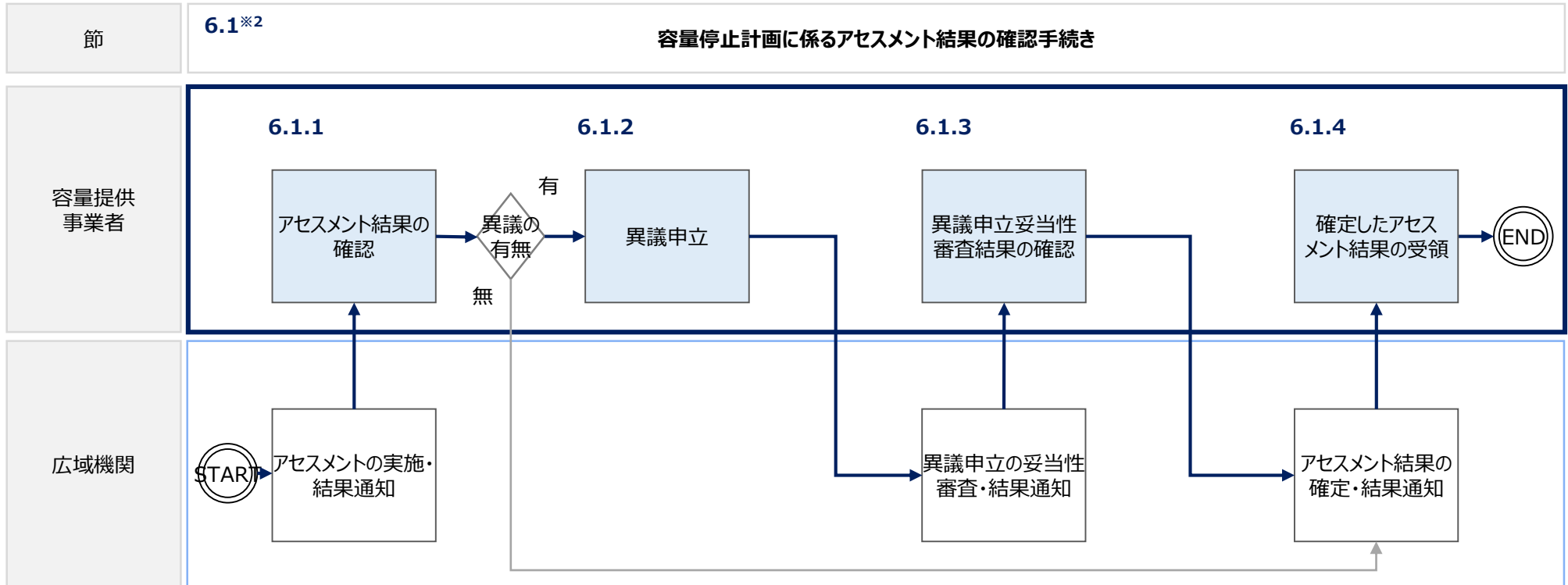
- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「04:差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力（発電計画・発電上限）のCSVファイルを選択してください。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.1.4 アセスメント結果の確認手続き 業務全体像

- アセスメント結果の確認手続きに係る業務は、主に異議申立を含むアセスメント結果の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『6.1.1 アセスメント結果の確認』※¹の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



※¹ 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（対象実需給年度：2024年度）を参照する場合、4.1.1（4章1節1項）
 ※² 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（単独））編（対象実需給年度：2024年度）を参照する場合、4.1（4章1節）



3.1.4 アセスメント結果の確認手続き①

業務マニュアル『6.1.1 アセスメント結果の確認』

※変動電源（単独）のリクワイアメント⑦も同じ 33

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント未達成の電源を保有する事業者に対して、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外画面」へ進んでください。

容量停止計画（安定・変動単独）を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「電源等識別番号」リンクをクリックしてください。

選択	算定対象年度	算定対象月	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	確定	解除	回次
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 の画面イメージ

- 「アセスメント種別」にて「容量停止計画（安定・変動単独）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（容量停止計画（安定・変動単独））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象日が表示されますので、「リクワイアメント対象日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）」へ進んでください。

容量停止計画（安定・変動単独）を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「リクワイアメント対象日」リンクをクリックしてください。

算定対象年度	算定対象月	対象年月日	事業者コード	事業者名	算定回次	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	確定	解除
2024	2024/10	2024/10/3	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNNN	安定電源	
2024	2024/10	2024/10/4	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNNN	変動電源（単独）	

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外 の画面イメージ

3.1.4 アセスメント結果の確認手続き②

業務マニュアル『6.1.1 アセスメント結果の確認』

- 本機関がアセスメント実施後、アセスメント未達成の電源を保有する事業者に対して、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

- 「アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）」の「アセスメント結果詳細情報」で、コマ毎のリクワイアメント未達成コマを確認してください。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23 12:00 ユーザ名 広域 太郎 ログアウト

アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面 (事業者毎) - 発動指令以外 > アセスメント一覧画面 (電源等識別番号毎) - 発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・安定・変動単独)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差替元
事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA
		電源等の区分	XXXX
エリア	NNN	算定回次	XXX

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替前契約容量[kW]	差替後契約容量[kW]
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNNA	XXX,XXX,XXX,XXX	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXXB	XXXXXXXXXB	NNNNNNNNNB	-	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXXC	XXXXXXXXXC	NNNNNNNNNC	-	XXX,XXX,XXX,XXX

コマ毎に記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替ID	差替元/先	電源等識別番号	算定要素
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	容量停止計画の提出時期
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	需給ひっ迫のおそれの有無
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量[kW]
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	電源が提供できる供給力の最大値[kW]
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	ペナルティ倍率(倍)
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成コマ[コマ]
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成合計[コマ]

アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・安定・変動単独）の画面イメージ

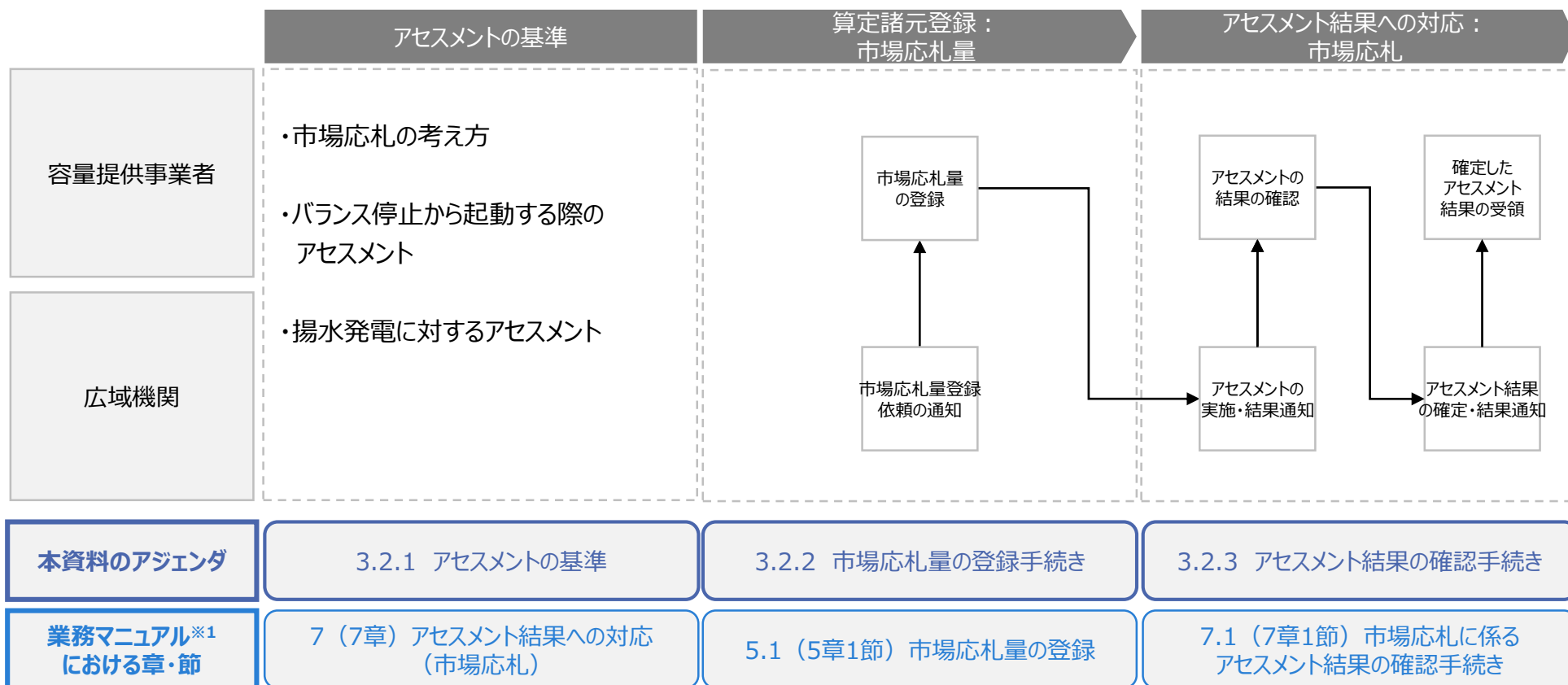
本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したことになりますので、「仮算定」=「仮確定」とご理解ください。

3.2 市場応札に係る手続きの全体像

市場応札に係る業務のフロー

- 市場応札に係る実務手続きは、主に算定諸元登録と卸電力取引所等への市場応札となります。
- 次頁以降にて実務手続きの留意点をご説明します。なお、容量市場システム操作が必要な手続きについては、システム画面と合わせて手順をお示しします。

【市場応札に係る業務フローと本資料・業務マニュアルの記載箇所】



※1 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応 (安定電源) 編 (対象実需給年度：2024年度)

3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）①

業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』

- 市場応札のリクワイアメントについては、容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していない範囲のコマが対象になります。
- 容量提供事業者は、アセスメント対象容量の範囲内で、小売電気事業者等が活用しない余力^{※1}の全量を卸電力取引所^{※2}または需給調整市場（以下「卸電力市場等」という）に入札していただきます。アセスメント対象容量以上の供給力を入札することも可能です。
- 電源等情報に登録した『相対契約上の計画変更締切時間』以降において、卸電力市場等が閉場しており余力を入札する市場が存在しない場合、リクワイアメント対象外となります。市場応札のリクワイアメントについては、卸電力市場等に入札することであり、約定することを必須とするものではありません^{※3}。
- 小売電気事業者等が活用しない余力の全量を特定の市場に入札した場合、未約定に伴う余力およびその後増加した余力についてはリクワイアメント対象外とします（ただし、広域予備率低下時は除きます^{※4}）。

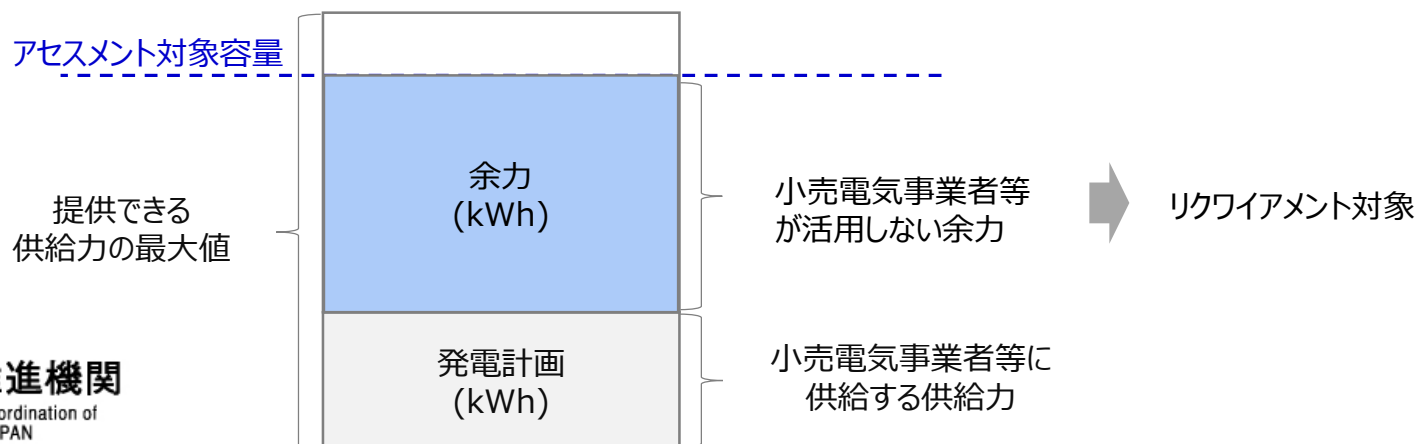
※1 電源等情報の登録時に提出していただいた『相対契約上の計画変更締切時間』以降に電源が有している余力のことを指します

※2 スポット市場、時間前市場が対象となります。入札する市場は、電源の特性を踏まえた上で、容量提供事業者が任意に選択（複数選択も可）可能です

※3 不当に高値で入札している場合において、リクワイアメント達成とするものではありません

※4 低予備率アセスメント対象コマに対し、入札する市場が存在する場合、未約定に伴う余力およびその後増加した余力はリクワイアメント対象となります

—— 小売電気事業者等が活用しない余力の考え方 ——



3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）②

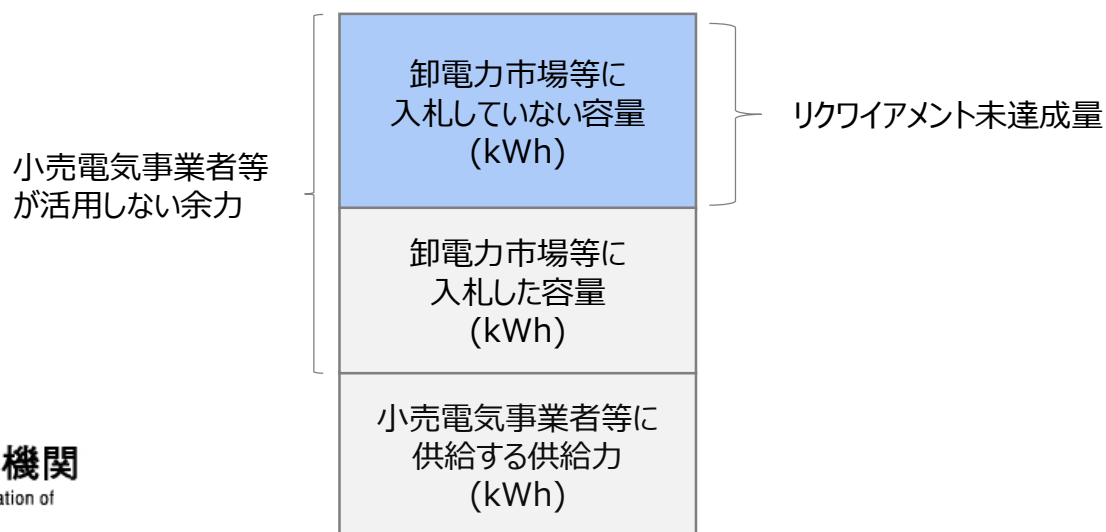
業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』

- 本機関は、コマ単位（30分単位）でアセスメントを実施します。
- アセスメント対象容量の範囲内において小売電気事業者等が活用しない余力から卸電力市場等に入札した容量を差し引いた容量をリクワイアメント未達成量とします。
- 容量提供事業者は、卸電力市場等に入札した容量※¹を容量市場システムに登録していただきます※²。
- 容量提供事業者が発電契約者ではなく、容量提供事業者または電源の所有者が容量確保契約の対象電源の入札した容量を特定できない場合、卸電力市場等に入札した容量については、卸電力市場等への入札可能量として発電契約者に連絡した容量を、容量提供事業者が卸電力市場等に入札した容量とみなします。
- 揚水発電については、広域予備率低下時において、本資料p41で説明する方法にしたがって市場応札を実施してください。

※¹ 市場応札量の登録値は、各市場（需給調整市場を除く）に対して、入札したが落札されなかった分となります。一方、需給調整市場では、入札分（入札したが落札されなかった分に落札分を加えた量）となります

※² なお、低予備率アセスメント対象コマに対しては、当該コマが発生した以降に卸電力市場等に入札した量を容量市場システムに登録してください。

リクワイアメント未達成量の考え方

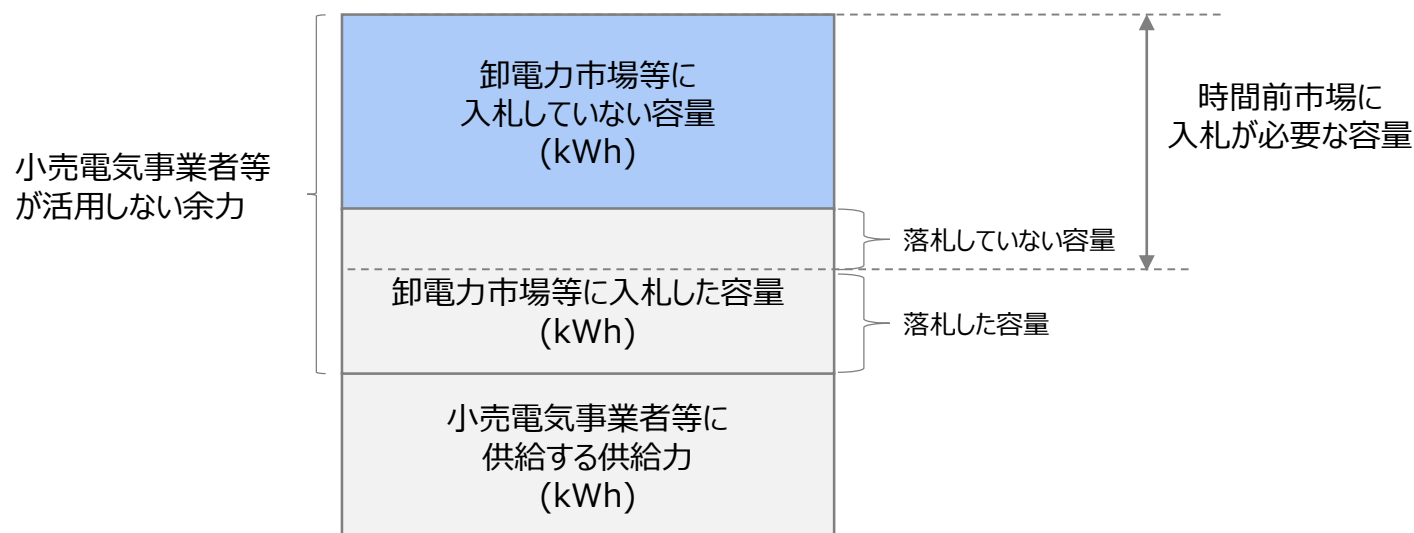


3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）③

業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』

- バランス停止中の電源については、前日以降の需給バランス評価において広域予備率が低下したと判定された場合、小売電気事業者等が活用しない余力から卸電力市場等で落札した容量を差し引いた容量を時間前市場に入札してください。
- バランス停止からの起動に係るアセスメントは、電源等登録時に登録した起動パターンに応じて実施します（卸電力市場等における約定結果が確定する以前にバランス停止から起動する必要はありません）。

広域予備率が低下したと判定された期間における
時間前市場入札の考え方



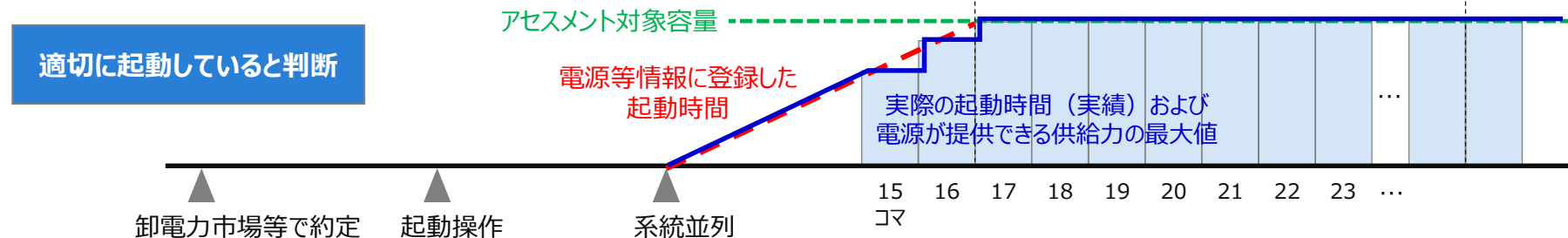
3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）④

業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』

- 前日以降、広域予備率が低下したと判定された期間においては、電源等情報の一部として登録した『電源の起動時間』に応じた起動パターンで起動してください。
- なお、登録した『電源の起動時間』と比べて起動に時間を要することが理由でアセスメント対象容量を満たす入札ができなかった場合、本機関はバランス停止から適切に起動していないと判断し、卸電力市場等に入札していない容量（アセスメント対象容量－電源が提供できる供給力の最大値）をリクワイアメント未達成量とします。

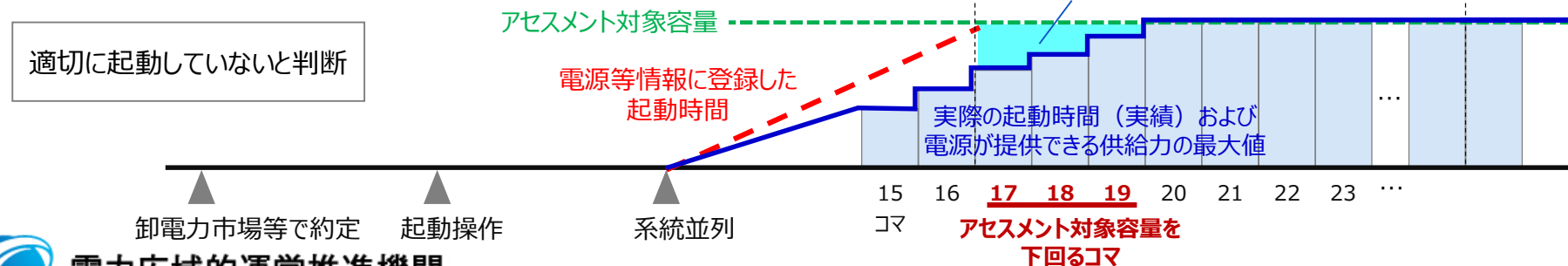
<バランス停止から起動する際のアセスメント パターン①>

- ・電源等登録時に提出した『電源の起動時間』に応じた起動パターンで**起動した**場合



<バランス停止から起動する際のアセスメント パターン②>

- ・電源等登録時に提出した『電源の起動時間』に応じた起動パターンで**起動しなかった**場合



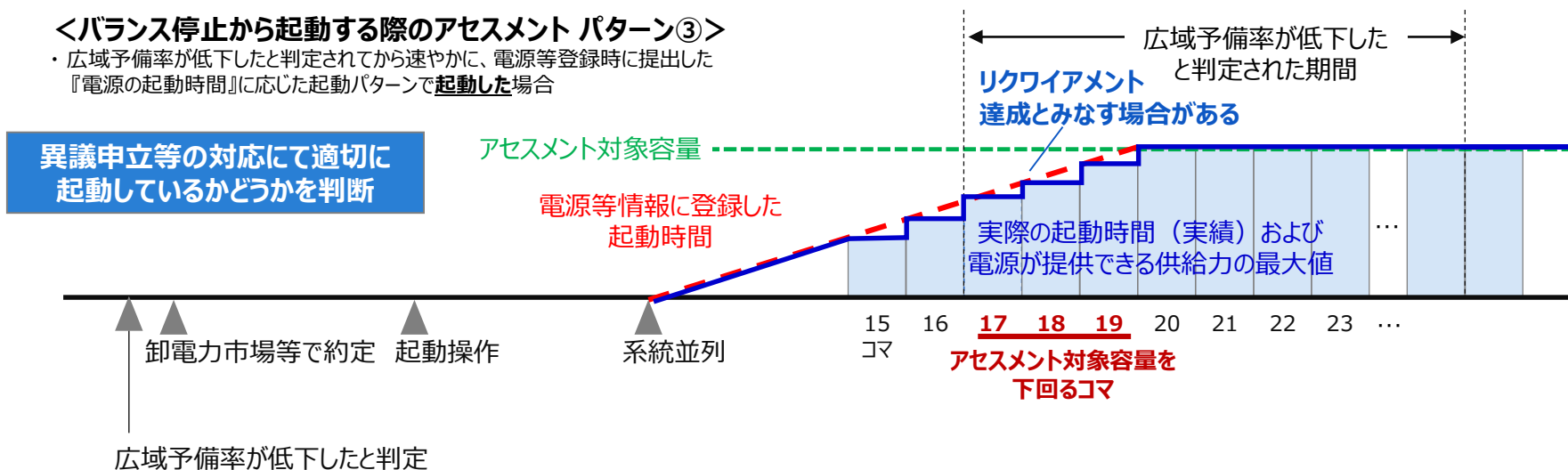
3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）⑤

業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』

- 広域予備率が低下したと判定された期間のうち、アセスメント対象容量を下回るコマにおいても、電源が提供できる供給力の最大値を時間前市場に応札してください。
- なお、前日以降、広域予備率が低下したと判定されたタイミングによっては、速やかに登録した起動時間に応じて適切に起動したとしてもアセスメント対象容量を満たすことが不可能な場合も考えられる。このケースにおいては、異議申立（本資料p92）等の対応にて、当該コマについては、アセスメント対象容量を下回る場合であってもリクワイアメント達成とする場合があります。

<バランス停止から起動する際のアセスメントパターン③>

- ・ 広域予備率が低下したと判定されてから速やかに、電源等登録時に提出した『電源の起動時間』に応じた起動パターンで**起動した**場合



3.2.1 アセスメントの基準（市場応札）⑥

業務マニュアル『7 アセスメント結果への対応（市場応札）』（揚水のアセスメント対象コマ）

- 低予備率アセスメント対象コマが存在する場合、本機関は当該コマに対して市場応札が実施されているかを優先的にアセスメントします。※1、2。
- 容量提供事業者は、低予備率アセスメント対象コマのうち、入札時点において広域予備率の低いコマを優先し、運転継続時間のコマ数を上限として市場応札してください。
- なお、当日以降に低予備率アセスメント対象コマが追加され、市場応札済みのコマ数が運転継続時間を下回っている場合、運転継続時間の上限に達するまで追加で市場応札を行ってください。

※1 低予備率アセスメント対象コマの周知方法の詳細は、本説明会資料P.12をご参照ください

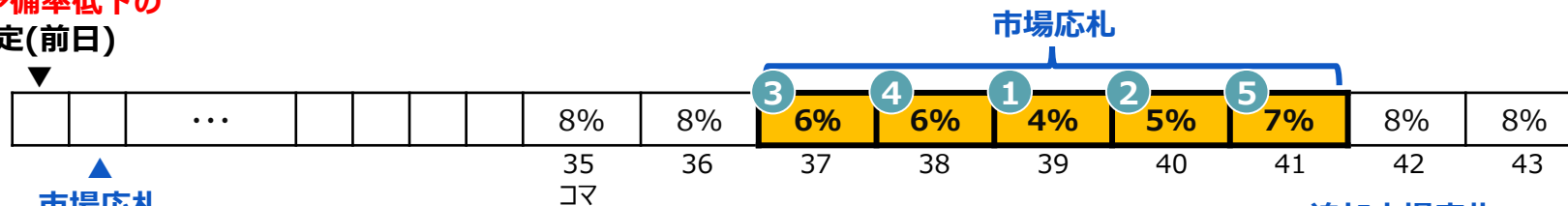
※2 広域予備率は当日以降都度更新されますが、一度でも広域予備率8%未満となった全てのコマが低予備率アセスメント対象コマとなります

例：運転継続時間が6コマである揚水発電Aを想定

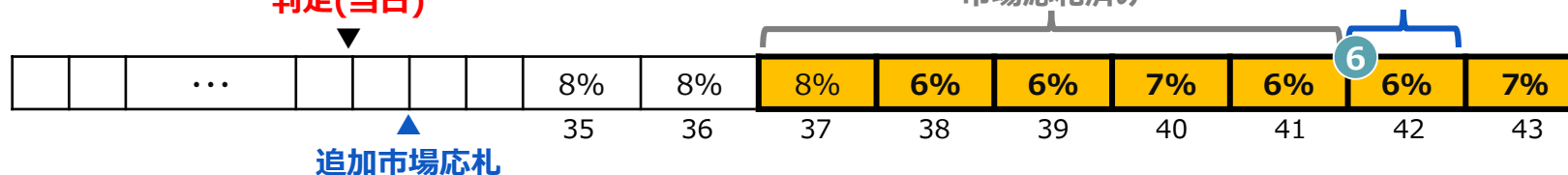
■ :低予備率アセスメント対象コマ

:市場応札の優先順位

広域予備率低下の
判定(前日)



広域予備率低下の
判定(当日)

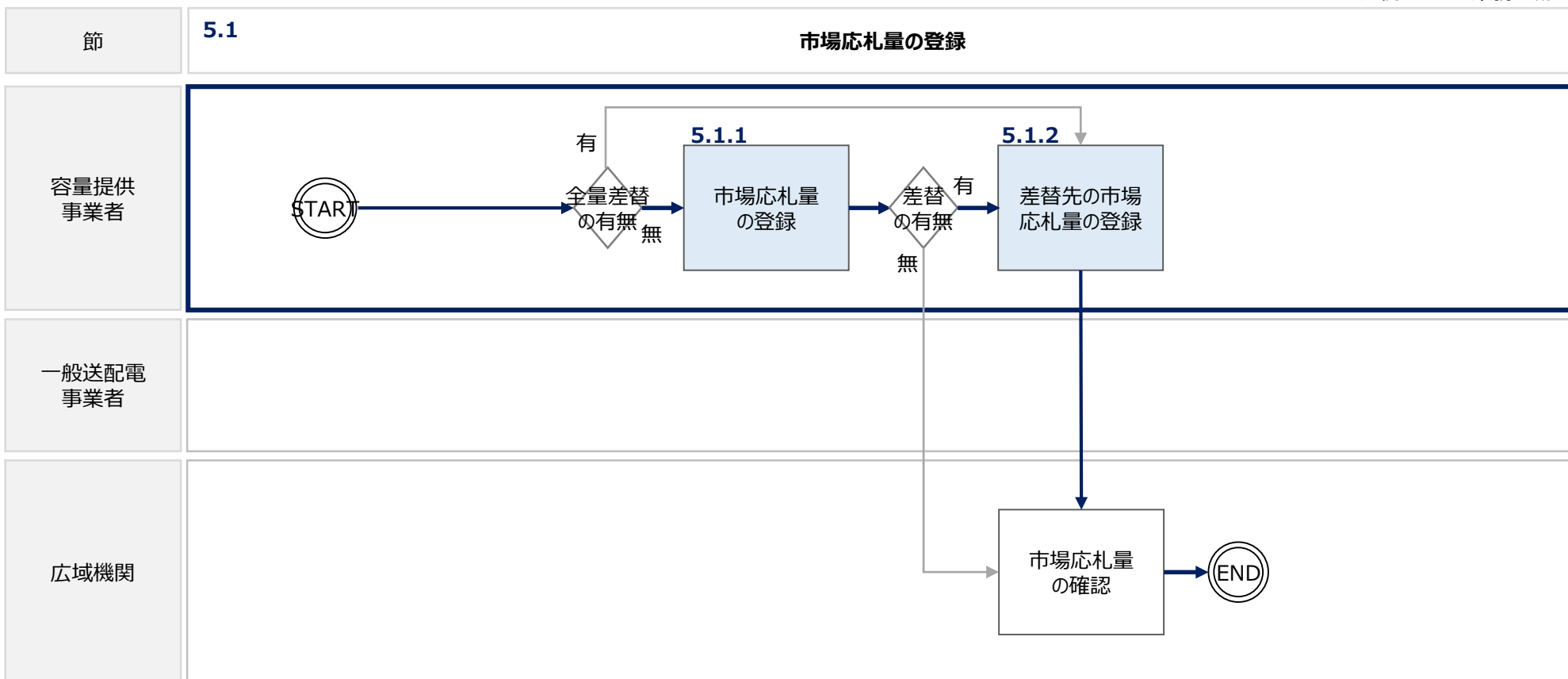


3.2.2 市場応札に係る確認手続き 業務全体像

- 市場応札量の登録手続きに係る業務は、主に差替先を含む市場応札量の登録となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『5.1.1 市場応札量の登録』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

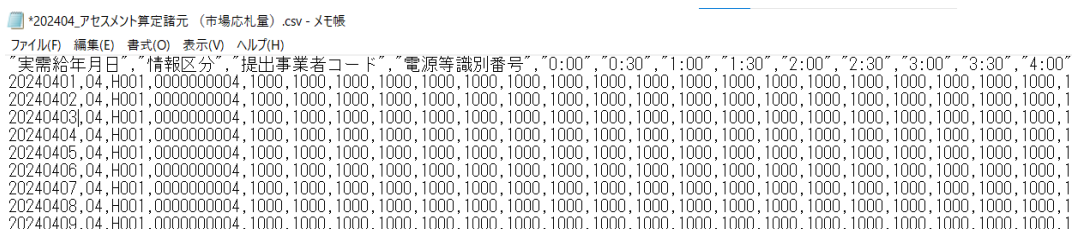
凡例 → 業務の流れ



3.2.2 市場応札量の登録手続き①

業務マニュアル『5.1.1 市場応札量の登録』

■ 市場応札量の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。(P)



アセスメント算定諸元 (市場応札量) のCSVイメージ

- ・アセスメント算定諸元 (市場応札量) のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください (市場応札量が零でも、0を入力してください)。
- ・アセスメント算定諸元 (市場応札量) のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分 ("実需給年月日"～"23:30"の部分)、2行目以降のボディ部分 (登録する情報の部分) の両方に""が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください (" "を付けしないでください)。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv(P)」としてください。また、市場応札量を更新する場合のファイル名は「実需給年度対象月_ファイル種別_R更新回数.csv(P)」としてください(P)。

例
 202410_アセスメント算定諸元.csv (1回目)
 202410_アセスメント算定諸元_R1.csv (2回目)

アセスメント算定諸元 (市場応札量) のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力してください 例：2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	04を入力してください 04：市場応札量
3	提出事業者コード	自身の事業者コード (4桁) を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号 (10桁) を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の市場応札量 (整数部12桁) を半角数字で入力してください
6	0:30	"
.....		
52	23:30	"

3.2.2 市場応札量の登録手続き②

業務マニュアル『5.1.1 市場応札量の登録』

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたいアセスメント算定諸元（市場応札量）のCSVファイルを選択し登録してください。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「03.アセスメント算定諸元」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンで市場応札量を選択してください。

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル種別*

アップロードファイル* [アップロードするファイルを選択してください]

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「03 .アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（市場応札量）のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.2.2 市場応札量の登録手続き③

業務マニュアル『5.1.2.1 差替先の市場応札量の登録』

- 差替契約を締結している場合は、差替元電源等提供者にて差替先より配分された量の市場応札量（差替配分供給力（市場応札量））を登録・修正してください。
- 差替配分供給力（市場応札量）の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。（P）



差替配分供給力（市場応札量）のCSVイメージ

- ・差替配分供給力（市場応札量）のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（市場応札量が零でも、0を入力してください）。
- ・差替配分供給力（市場応札量）のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）、2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）の両方に""が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください（""を付けないでください）。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番.csv」(P)としてください。また、差替配分供給力（市場応札量）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番_R更新回数.csv」(P)としてください。

例

- 202410_差替配分供給力_A1.csv (1回目)
- 202410_差替配分供給力_A1_R1.csv (2回目)

差替配分供給力（市場応札量）のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd形式の半角数字で入力してください例： 2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	04を入力してください 04：市場応札量
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替ID	電源等差替ID（10桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電計画、発電上限を半角数字で入力してください
8	0:30	”
.....		
54	23:30	”

3.2.2 市場応札量の登録手続き④

業務マニュアル『5.1.2.1 差替先の市場応札量の登録』

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたい差替配分供給力（市場応札量）のCSVファイルを選択し登録してください。

≡ | 容量市場システム
ログイン日時 : 2020/3/23:12:00
ログアウト

メニュー
ユーザ名 広域 太郎

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

ファイル種別*	<input type="text" value="04: 差替配分供給力"/>
アップロードファイル*	[アップロードするファイルを選択してください]

ファイル選択
アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

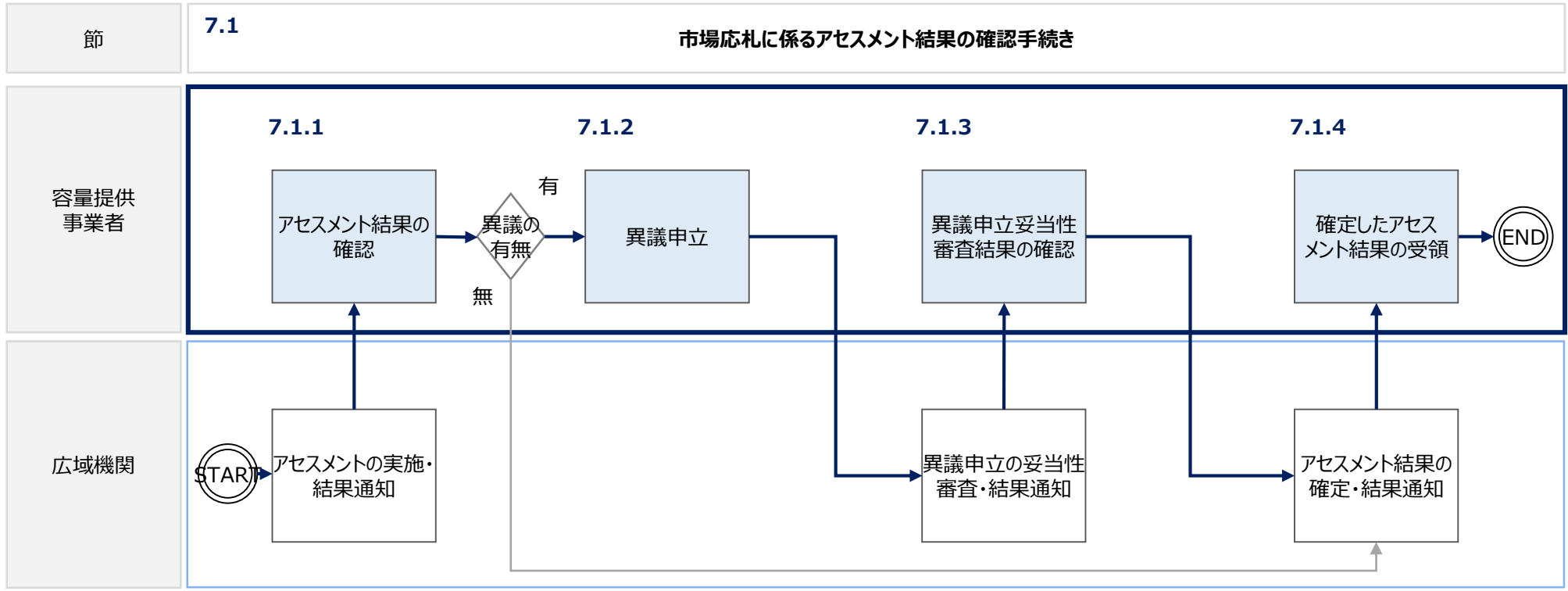
- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通 : 中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「04: 差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力（市場応札量）のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.2.3 アセスメント結果の確認手続き 業務全体像

- アセスメント結果の確認手続きに係る業務は、主に異議申立を含むアセスメント結果の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『7.1.1 アセスメント結果の確認』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



3.2.3 アセスメント結果の確認手続き① 業務マニュアル『7.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「市場応札」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（市場応札）（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外画面」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「市場応札」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（市場応札）（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象日が表示されますので、「リクワイアメント対象日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（市場応札）」へ進んでください。

市場応札を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「電源等識別番号」リンクをクリックしてください。

選択	算定対象年度	算定対象月	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	推定状況	取付状況	
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 の画面イメージ

市場応札を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「リクワイアメント対象日」リンクをクリックしてください。

算定対象年度	算定対象月	対象年月日	事業者コード	事業者名	算定回次	エリア	電源等識別番号			
2024	2024/10	2024/10/3	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNN	安定電源	
2024	2024/10	2024/10/4	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNN	変動電源（単独）	

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外 の画面イメージ

3.2.3 アセスメント結果の確認手続き② 業務マニュアル『7.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

「アセスメント結果詳細画面（市場応札）」の「アセスメント結果詳細情報」で、コマ毎のリクワイアメント未達成量を確認してください。

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ユーザ名: 広域 本部 ログアウト

アセスメント結果詳細画面（市場応札）

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 > アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面（市場応札）

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差替元		
事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN		
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA	電源等の区分	安定電源
エリア	NNN	算定回次	XXX		

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	発電方式	電源種別区分	運転継続時間[h]	差替前契約容量[kW]	差替後契約容量[kW]
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNNA	揚水（混合揚水）	水力	X.X	X,XXX	X,XXX
差替先	XXXXXXXXXB	XXXXXXXXXB	NNNNNNNNNB	揚水（純揚水）	水力	-	-	X,XXX
差替先	XXXXXXXXXC	XXXXXXXXXC	NNNNNNNNNC					

コマ毎に記載された平常時リクワイアメント未達成量やひっ迫時リクワイアメント未達成量を確認してください。

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替ID	差替元/先	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	発電上限[kW]	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	容量停止計画の提出	○	○	○	○	○
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	アセスメント対象	○	○	○	○	○
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	需給ひっ迫のおそれの有無	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	発電計画[kW]	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	余力[kW]	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量[kW]			XX,XXX,XXX		
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	市場応札量[kW]	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX	XX,XXX,XXX
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	平常時リクワイアメント未達成量[kWh]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	ひっ迫時リクワイアメント未達成量[kWh]	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	平常時リクワイアメント未達成量合計[kWh]			XX,XXX,XXX		
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXA	差替元	XXXXXXXXXA	ひっ迫時リクワイアメント未達成量合計[kWh]			XX,XXX,XXX		

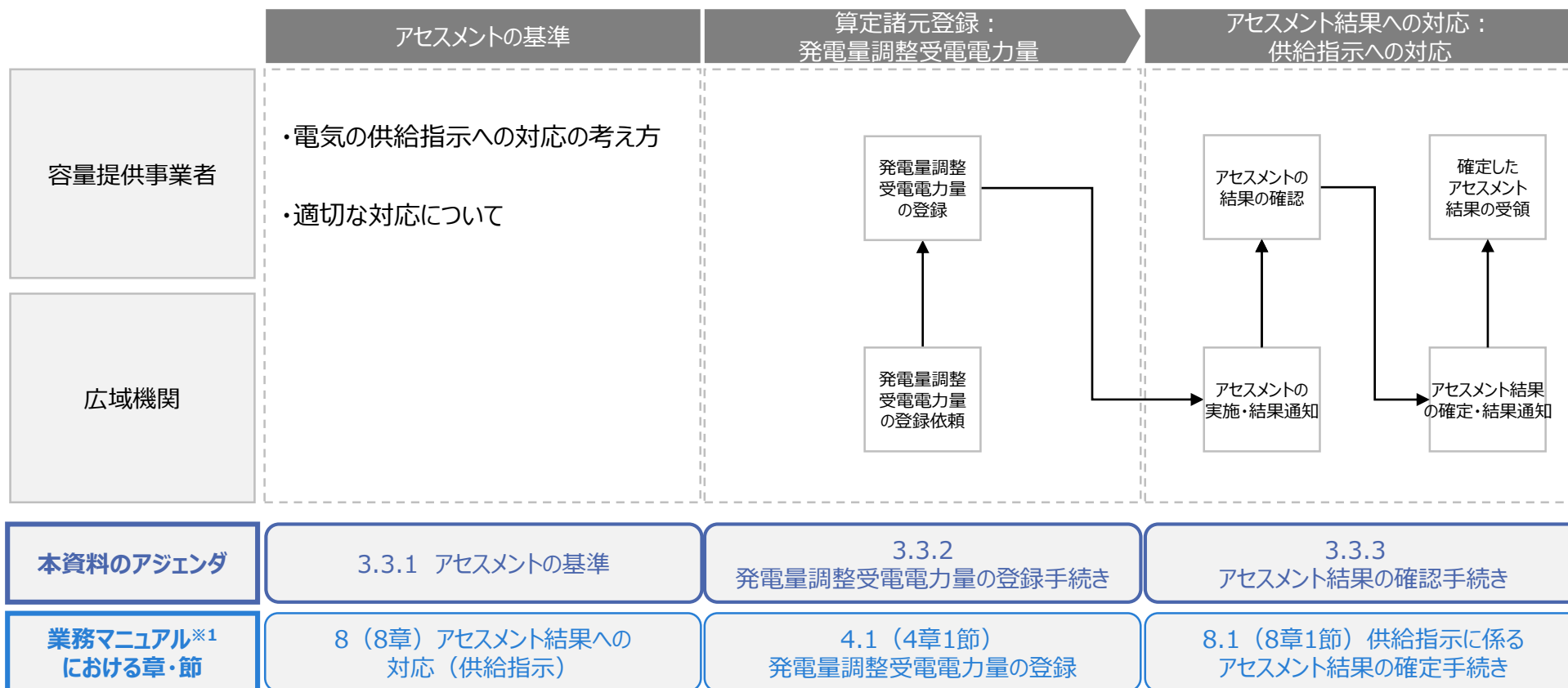
アセスメント結果詳細画面（市場応札）の画面イメージ

本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したことになりますので、「仮算定」=「仮確定」とご理解ください。

3.3 電気の供給指示への対応に係る手続きの全体像 供給指示への対応に係る業務のフロー

- 供給指示への対応に係る実務手続きは、算定諸元登録とアセスメント結果の確定手続きとなります。
- 次頁以降にて実務手続きの留意点をご説明します。なお、容量市場システム操作が必要な手続きについては、システム画面と合わせて手順をお示しします。

【供給指示への対応に係る業務フローと本資料・業務マニュアルの記載箇所】



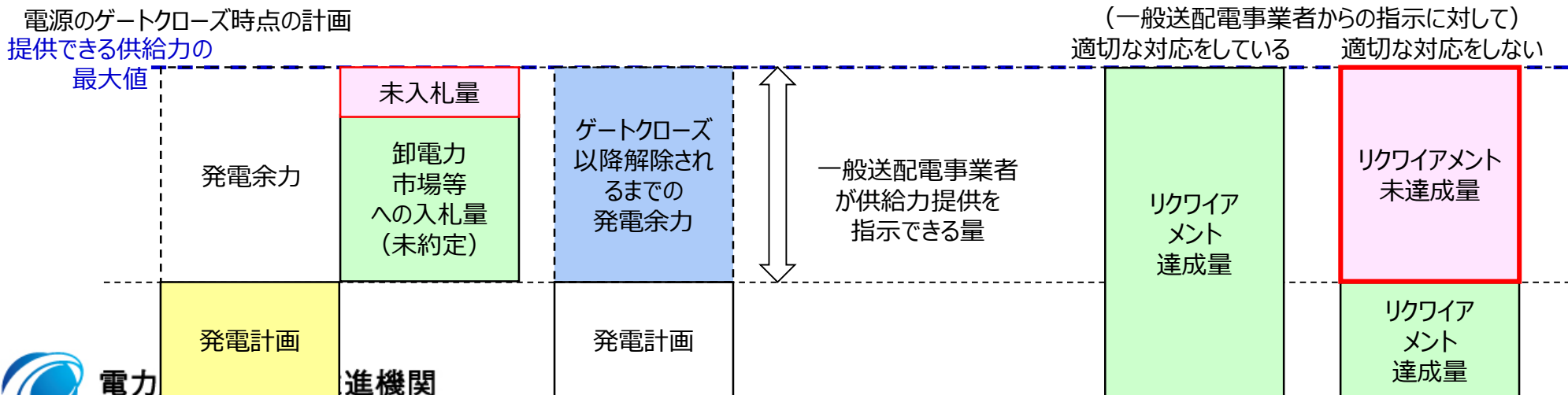
※1 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応 (安定電源) 編 (対象実需給年度：2024年度)

3.3.1 アセスメントの基準（電気の供給指示への対応）①

業務マニュアル『8 アセスメント結果への対応（供給指示）』

- 一般送配電事業者からの電気の供給指示のリクワイアメントは、給電申合書等を締結した電源※のうち、容量停止計画（出力抑制に伴う停止計画は除く）を提出していない範囲のコマ（30分単位）が対象になります。
- 広域予備率が低下したと判定された場合、一般送配電事業者からの電気の供給指示に基づきゲートクローズ以降解除されるまでの余力を供給力として提供していただきます。
- 供給指示におけるアセスメントは、一般送配電事業者からの電気の供給指示に対して、事業者が適切な対応をしているかが基準となります（基準については、次頁参照）。
- 本機関は、容量提供事業者が適切な対応をしていないと判断した場合、アセスメント対象容量を上限として、ゲートクローズ以降解除されるまでの余力の全量をリクワイメント未達成量とします。
- 揚水発電については、本機関または一般送配電事業者が指定するコマを対象にアセスメントします。

※ 一般送配電事業者から、給電申合書等の締結依頼がない電源については、リクワイアメント対象外となります



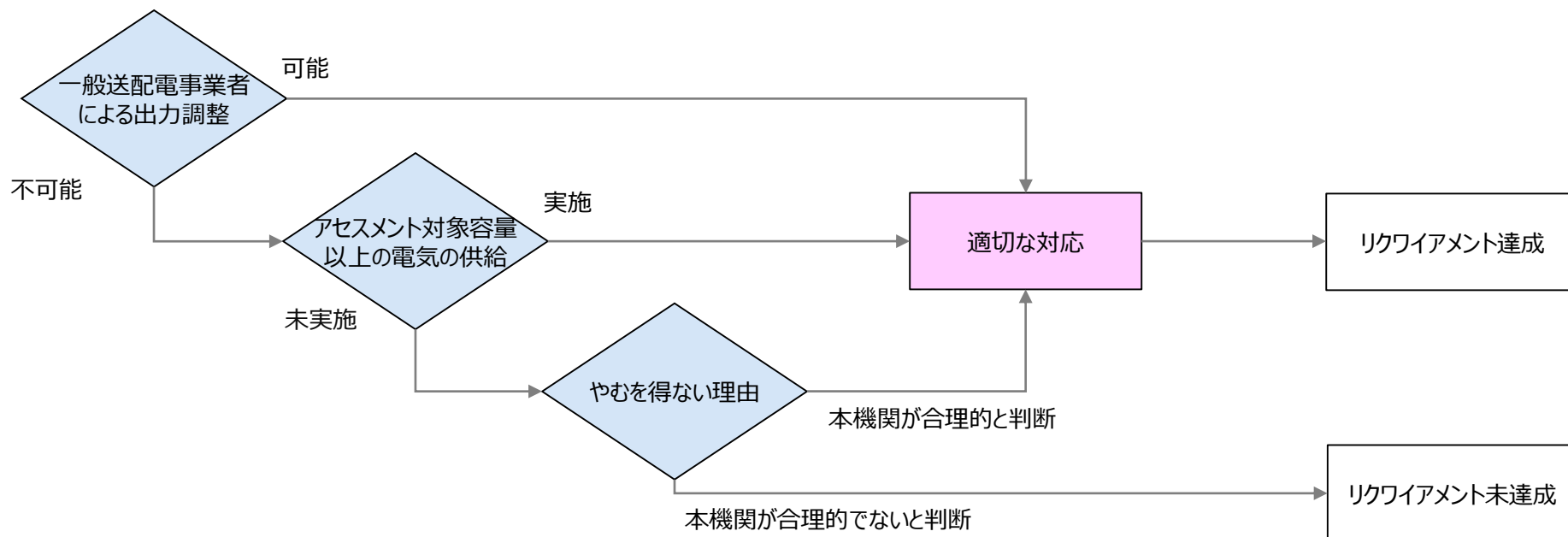
3.3.1 アセスメントの基準（電気の供給指示への対応）② 業務マニュアル『8 アセスメント結果への対応（供給指示）』

■ 適切な対応とは、具体的には以下のいずれかに該当する場合をいいます。

- 一般送配電事業者が出力を直接制御できる場合※
- アセスメント対象容量以上の電気の供給実績がある場合
- その他、電気の供給ができないやむを得ない理由があり、本機関が合理的と認めた場合

※ 一般送配電事業者が出力を直接制御できる電源が供給指示におけるアセスメント対象コマをオフラインで運用していた場合、アセスメントの対象となります

<アセスメント時の判断フロー>

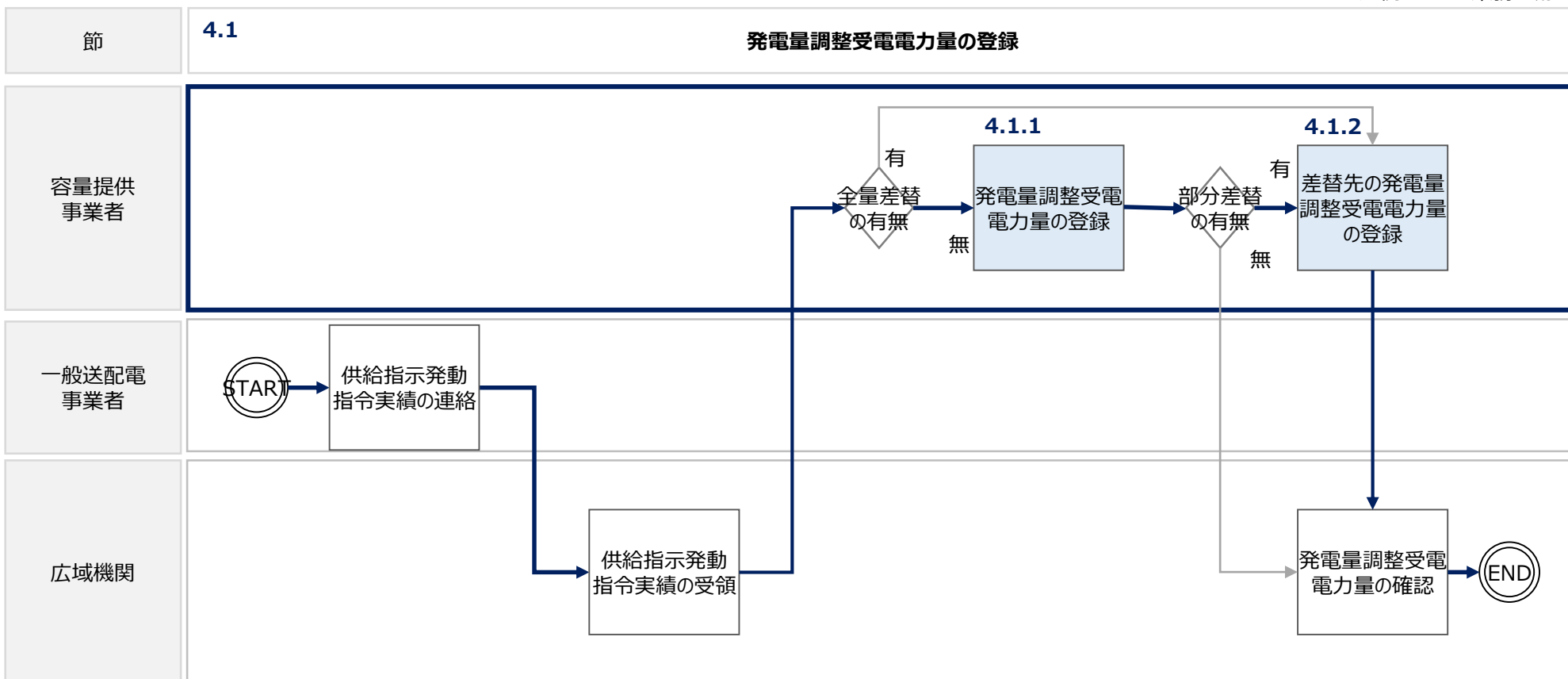


3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き 業務全体像

- 発電量調整受電電力量の登録手続きに係る業務は、差替先を含む発電量調整受電電力量の登録となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『4.1.1 発電量調整受電電力量の登録』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

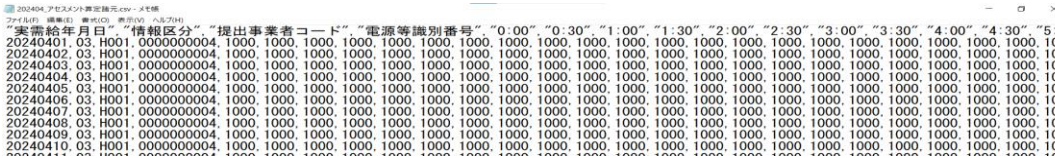
凡例 → 業務の流れ



3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き①

業務マニュアル『4.1.1 発電量調整受電電力量の登録』

- 安定電源は、一般送配電事業者から供給指示を受令した月において発電量調整受電電力量の提出が必要となります。
- 一般送配電事業者から取得した発電量調整受電電力量を基に、アセスメント算定諸元のCSVファイルを作成し登録してください。
- 発電量調整受電電力量の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。(P)



アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVイメージ

- ・アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量が零でも、0を入力してください）。
- ・アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）、2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）の両方に""が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください（""を付けないでください）。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv(P)」としてください。また、発電量調整受電電力量を更新する場合のファイル名は「実需給年度対象月_ファイル種別_R更新回数.csv(P)」としてください。

- 例
- 202410_アセスメント算定諸元.csv (1回目)
- 202410_アセスメント算定諸元_R1.csv (2回目)

アセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyMMdd形式の半角数字で入力してください 例：2024年10月1日の場合 「20241001」と入力
2	情報区分	03を入力してください 03：発電量調整受電電力量
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（整数部12桁、小数部3桁）を半角数字で入力してください
6	0:30	”
.....		
52	23:30	”

3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き②

業務マニュアル『4.1.1 発電量調整受電電力量の登録』

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択し登録してください。

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00 ログアウト

ユーザ名 広域 太郎

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「03.アセスメント算定諸元」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンでアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）を選択してください。

ファイル種別*

アップロードファイル* [アップロードするファイルを選択してください]

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「03 .アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き③

業務マニュアル『4.1.2.1 差替先の発電量調整受電電力量の登録』

- 差替契約を締結している場合は、差替元電源等提供者にて差替先より配分された量の発電量調整受電電力量（差替配分供給力（発電量調整受電電力量））を登録・修正してください。
- 差替配分供給力（発電量調整受電電力量）の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。



差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVイメージ

・差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量が零でも、0を入力してください）。

・差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。

・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）、2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）の両方に""が記載されていますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください（""を付けしないでください）。

・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番.csv」(P)としてください。また、差替配分供給力（発電量調整受電電力量）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_A枝番_R更新回数.csv」(P)としてください。

例
202410_差替配分供給力_A1.csv (1回目)

202410_差替配分供給力_A1_R1.csv (2回目)

差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd形式の半角数字で入力してください例：2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03を入力してください 03：発電量調整受電電力量
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
6	電源等差替ID	電源等差替ID（10桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電計画、発電上限を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
.....		
54	23:30	〃

3.3.2 発電量調整受電電力量の登録手続き④

業務マニュアル「4.1.2.1 差替先の発電量調整受電電力量の登録」

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択し登録してください。

☰
容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
ユーザー名 広域 太郎
ログアウト

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「04:差替配分供給力」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンでアップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択してください。

ファイル種別*	<input style="width: 80%; border: 1px solid #ccc;" type="text" value="▼"/>
アップロードファイル*	<input style="width: 80%; border: 1px solid #ccc;" type="text" value="[アップロードするファイルを選択してください]"/>

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

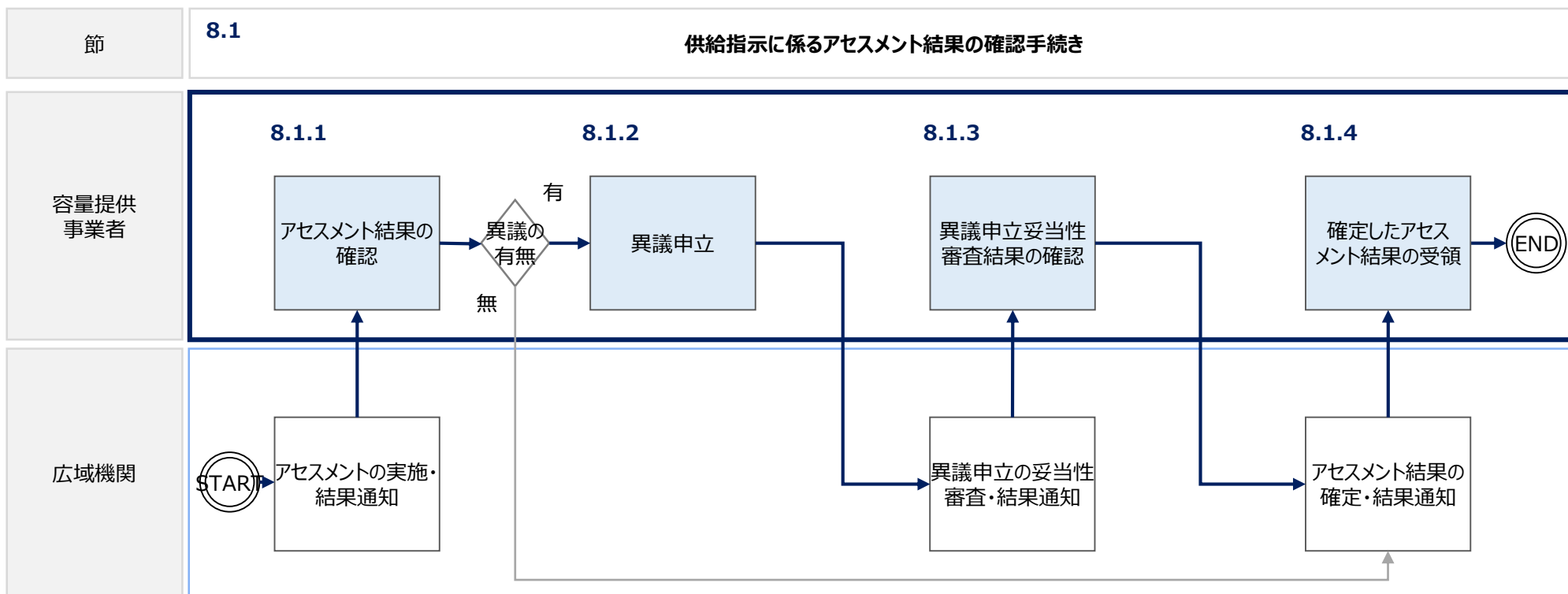
- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「04:差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量）のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

3.3.3 アセスメント結果の確認手続き 業務全体像

- アセスメント結果の確認手続きに係る業務は、主に異議申立を含むアセスメント結果の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『8.1.1 アセスメント結果の確認』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



3.3.3 アセスメント結果の確認手続き③

業務マニュアル『8.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント未達成の電源を保有する事業者に対して、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「供給指示」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（供給指示）（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外画面」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「供給指示」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度と算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）（供給指示）（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象日が表示されますので、「リクワイアメント対象日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（供給指示）」へ進んでください。

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外

供給指示を選択してください。

アセスメント種別: 供給指示

算定対象年度: YYYY 算定対象月: MM

事業者コード: XXXX 事業者名: [検索]

エリア: NNN 電源等識別番号: XXXXXXXXXX

電源等の名称: NNNNNNNNNN

最新回次切替: 最新回次のみ表示

検索

最新回次のみ表示を選択してください。

「電源等識別番号」リンクをクリックしてください。

アセスメント一覧（事業者毎）（供給指示）（検索結果）

選択	算定対象年度	算定対象月	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	算定状況	出力状況	出力率
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 の画面イメージ

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ログアウト

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 > アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外

供給指示を選択してください。

アセスメント種別: 供給指示

算定対象年度: YYYY 算定対象月: MM

事業者コード: XXXX 事業者名: [検索]

エリア: NNN 電源等識別番号: XXXXXXXXXX

電源等の名称: NNNNNNNNNN

最新回次切替: 最新回次のみ表示

検索

最新回次のみ表示を選択してください。

「リクワイアメント対象日」リンクをクリックしてください。

アセスメント一覧（電源等識別番号毎）（供給指示）（検索結果）

算定対象年度	算定対象月	対象年月日	事業者コード	事業者名	算定回次	エリア	電源等識別番号	出力状況	出力率
2024	2024/10	2024/10/3	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNN	安定電源
2024	2024/10	2024/10/4	XXXX	NNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNN	安定電源

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外 の画面イメージ

3.3.3 アセスメント結果の確認手続き④ 業務マニュアル『8.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント未達成の電源を保有する事業者に対して、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23 12:00

ログアウト

ユーザ名: 広域 太郎

アセスメント結果詳細画面 (供給指示)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面 (事業者毎) - 発動指令以外 > アセスメント一覧画面 (電源等識別番号毎) - 発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面 (供給指示)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替ID	xxxx		
事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN	エリア	NNN
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA	算定回次	XXX

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	発電方式	電源種別区分	ワライ/カライ	運転継続時間[h]	差替前契約容量[kW]	差替後契約容量[kW]
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNNA	揚水 (混合揚水)	水力	オフライン	X.X	X,XXX	X,XXX
差替先	xxxx	XXXXXXXXXB	NNNNNNNNNB	揚水 (純揚水)	水力	オフライン	-	-	X,XXX
差替先	xxxx	XXXXXXXXXC	NNNNNNNNNC	石炭	火力	オフライン	-	-	X,XXX

- 「アセスメント結果詳細画面 (供給指示)」の「アセスメント結果詳細情報」で、コマ毎のリクワイアメント未達成量を確認してください。

アセスメント結果詳細情報

対象年月日	差替ID	事業者コード	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	供給指示	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	アセスメント対象	-	V	V	V	V	0	V	V	V	V	V	V	V	V	V
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	アセスメント順位	-	-	-	-	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	アセスメント対象容量 [kW]	X,XXX														
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	発電計画[kW]	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	発電上限[kW]	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	余力[kW]	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	発電量調整受電容量[kW]	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成量 [kWh]	-	-	-	-	X,XXX	-	X,XXX	-	-	-	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	リクワイアメント未達成量合計 [kWh]	X,XXX														
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	供給指示未達成量 [kWh]	-	-	-	-	X,XXX	-	X,XXX	-	-	-	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXA	供給指示未達成量合計 [kWh]	X,XXX														

コマ毎に記載されたリクワイアメント未達成量を確認してください。

アセスメント結果詳細 (供給指示) の画面イメージ

本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したことになりますので、「仮算定」=「仮確定」とご理解ください。

4. 変動電源（アグリゲート）の実需給期間に係る実務 変動電源（アグリゲート）のリクワイアメント対応全体像

- 本章では、変動電源（アグリゲート）に係るリクワイアメントに対するアセスメントの結果を確認する実務手続きについてご説明します※。
- 変動電源（アグリゲート）の維持・運営に必要な作業およびその他要因に伴い電源等が停止又は出力低下する場合であっても、変動電源（アグリゲート）については、容量停止計画の提出は必要ありません。
- 容量提供事業者は、自らがアグリゲートした小規模変動電源の発電実績の総量を、容量市場システムに提出してください。
- 変動電源（アグリゲート）には、容量停止計画（日数カウント）のリクワイアメントが課せられるため、そのアセスメントの結果を確認する手続きを説明します。

※ 参照するマニュアルは、「容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編となります。

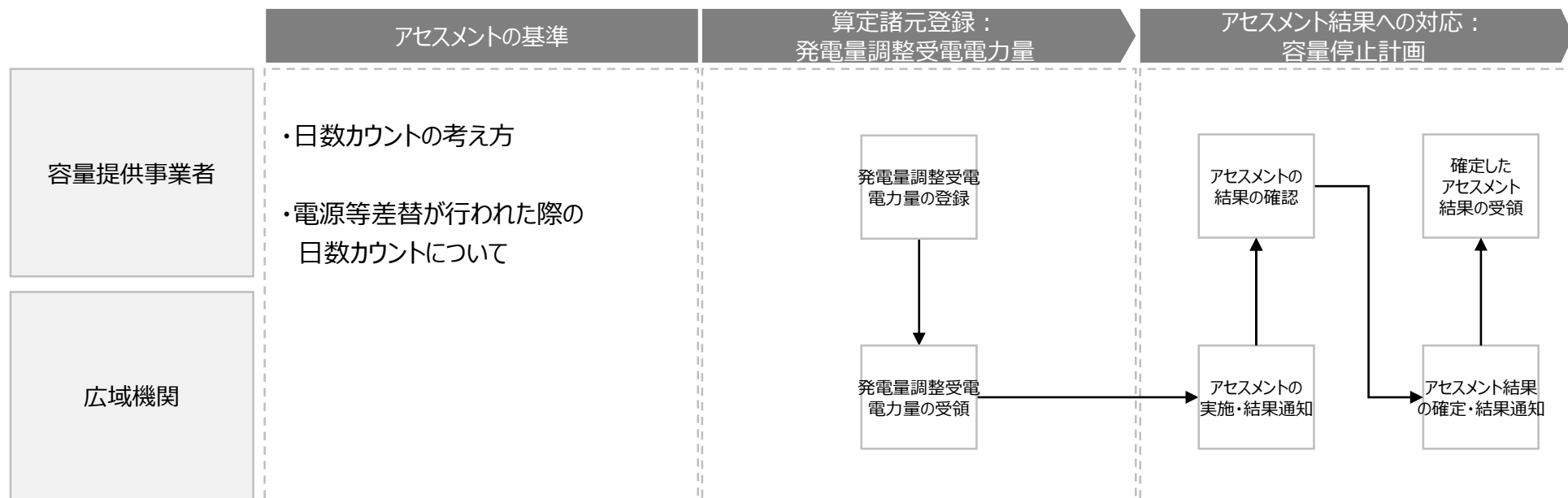
電源等区分	リクワイアメント	実需給期間中		
		平常時	広域予備率 低下時	
変動電源 (アグリゲート)	⑧ 容量停止計画(日数カウント) 【供給力の維持】	・維持・運営等のために必要な一定の期間を超えて、電源の停止および出力低下しないこと	✓	✓

4.1 変動電源（アグリゲート）の実需給期間に係る実務

変動電源（アグリゲート）のリクワイアメント対応：容量停止計画（日数カウント）

- 容量停止計画（日数カウント）に係る実務手続きは、算定諸元登録とアセスメント結果の確定手続きとなります。
- 次頁以降にて実務手続きの留意点をご説明します。なお、容量市場システム操作が必要な手続きについては、システム画面と合わせて手順をお示しします。

【容量停止計画（日数カウント）に係る業務フローと本資料・業務マニュアルの記載箇所】



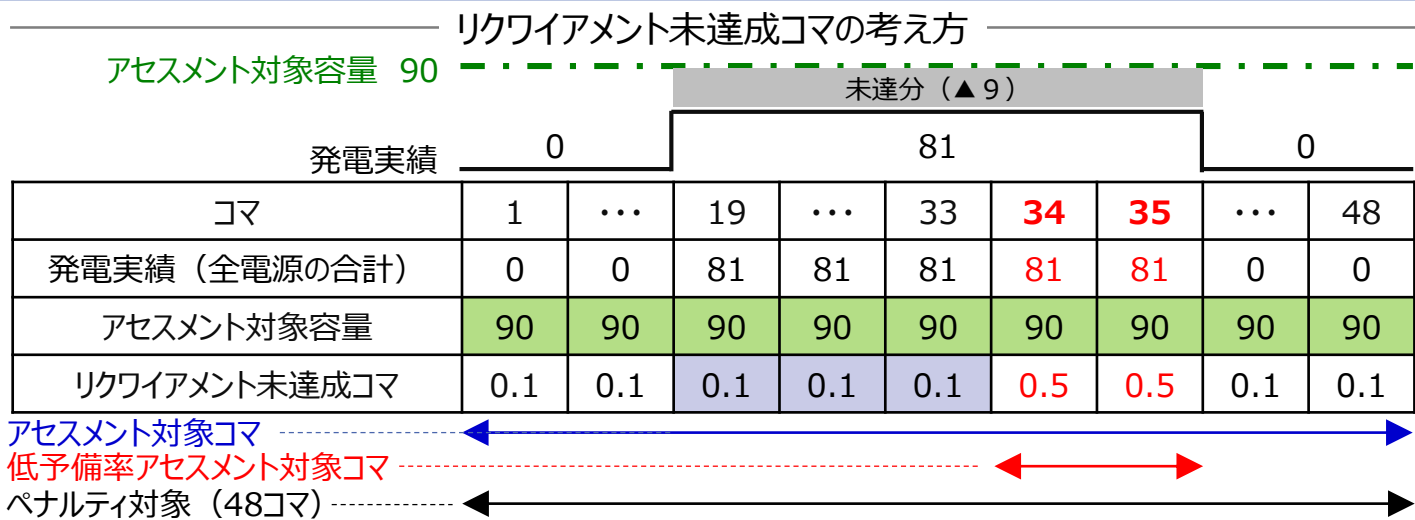
本資料のアジェンダ	4.1.1 アセスメントの基準	4.1.2 発電量調整受電電力量 (リスト合計) の登録手続き	4.1.3 アセスメント結果の確認手続き
業務マニュアル※1 における章・節	3 (3章) アセスメント結果への対応 (容量停止計画(変動(アグリゲート)))	2.1 (2章1節) 発電量調整受電電力量の登録	3.1 (3章1節) 容量停止計画 変動 (アグリゲート) に 係るアセスメント結果の確認手続き

※1 容量市場 業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（変動電源（アグリゲート））編（対象実需給年度：2024年度）

4.1.1 アセスメントの基準（容量停止計画(日数カウント)）①

業務マニュアル『3 アセスメント結果への対応(容量停止計画(変動(アグリゲート)))』

- 本機関は、日単位でアセスメントを実施します。
- 容量提供事業者は、応札単位の発電実績の合計（48コマ）を容量市場システムに提出していただきます。
- 本機関は、日単位の発電実績（48コマ）の最大値が、アセスメント対象容量以上となっていることを確認します。
- 発電実績（48コマ）の最大値が、アセスメント対象容量以上となっている場合、当該日（48コマ）の全てをリクワイアメント達成とします。
- 発電実績（48コマ）の最大値が、アセスメント対象容量未満となっている場合、当該日（48コマ）の全てをリクワイアメント未達成とします。
- ただし、発電実績の最大値がアセスメント対象容量に対して部分的に未達となった場合、未達量に応じてリクワイアメント未達成コマを算定し、48を乗じたコマ数を、当該日のリクワイアメント未達成コマとします。
- 低予備率アセスメント対象コマについては、リクワイアメント未達成コマに5を乗じたコマをリクワイアメント未達成コマとします。



リクワイアメント未達成コマ

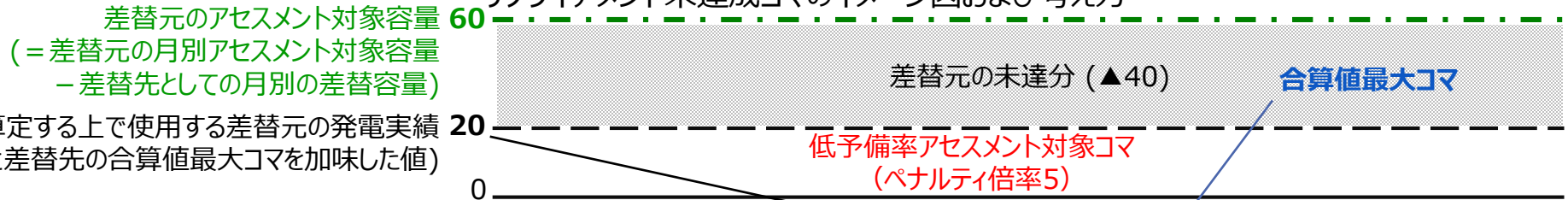
$$= (\text{アセスメント対象容量} - \text{発電実績の最大値}) \div \text{アセスメント対象容量} \times ((48 - \text{低予備率アセスメント対象コマ}) + \text{低予備率アセスメント対象コマ} \times \text{ペナルティの倍率})$$

$$= (90 - 81) \div 90 \times ((48 - 2) + 2 \times 5) = 5.6 \text{ コマ}$$

(参考) 差替元電源と差替先電源のリクワイアメント未達成コマの考え方

- 変動電源（アグリゲート）が電源等差替を行っている場合における、差替元電源提供者（以下、差替元）と差替先電源提供者（以下、差替先）のリクワイアメント未達成コマの考え方について説明します。
- 電源等差替を行っている場合、提出された1～48コマの中で差替元と差替先の発電量調整受電電力量の合算した値が最大となるコマ（以下、合算値最大コマ）の発電量調整受電電力量を用いて差替元、差替先それぞれのリクワイアメント未達成コマを算出します（下表は、差替元と差替先との間に差替容量40がある場合の例）。

リクワイアメント未達成コマのイメージ図および考え方



コマ	1	...	19	20	21	22	23	...	48
発電実績（差替元電源のみ）	0	0	25	25	25	20	0	0	0
発電実績（差替先電源のみ）	0	0	10	10	20	30	0	0	0
アセスメント対象容量※1	100	100	100	100	100	100	100	100	100
差替元のアセスメント対象容量	60	60	60	60	60	60	60	60	60
差替先のアセスメント対象容量※2	40	40	40	40	40	40	40	40	40
リクワイアメント未達成コマ(差替元のみ)	22.4 : (60-20)÷100 × ((48-2) コマ × 1倍 + 2コマ × 5倍) = 18.4 + 4.0								
リクワイアメント未達成コマ(差替先のみ)	5.6 : (40-30)÷100 × ((48-2) コマ × 1倍 + 2コマ × 5倍) = 4.6 + 1.0								
差替元のリクワイアメント未達成コマ	28 コマ : (22.4 + 5.6)								

- ・ **リクワイアメント未達成コマ(差替元)** = (差替元のアセスメント対象容量 - 差替元の合算値最大コマの発電実績)※3 ÷ アセスメント対象容量 × ((48 - 低予備率アセスメント対象コマ) + (低予備率アセスメント対象コマ × ペナルティの倍率))
- ・ **リクワイアメント未達成コマ(差替先)** = (差替先のアセスメント対象容量 - 差替先の合算値最大コマの発電実績)※3 ÷ アセスメント対象容量 × ((48 - 低予備率アセスメント対象コマ) + (低予備率アセスメント対象コマ × ペナルティの倍率))

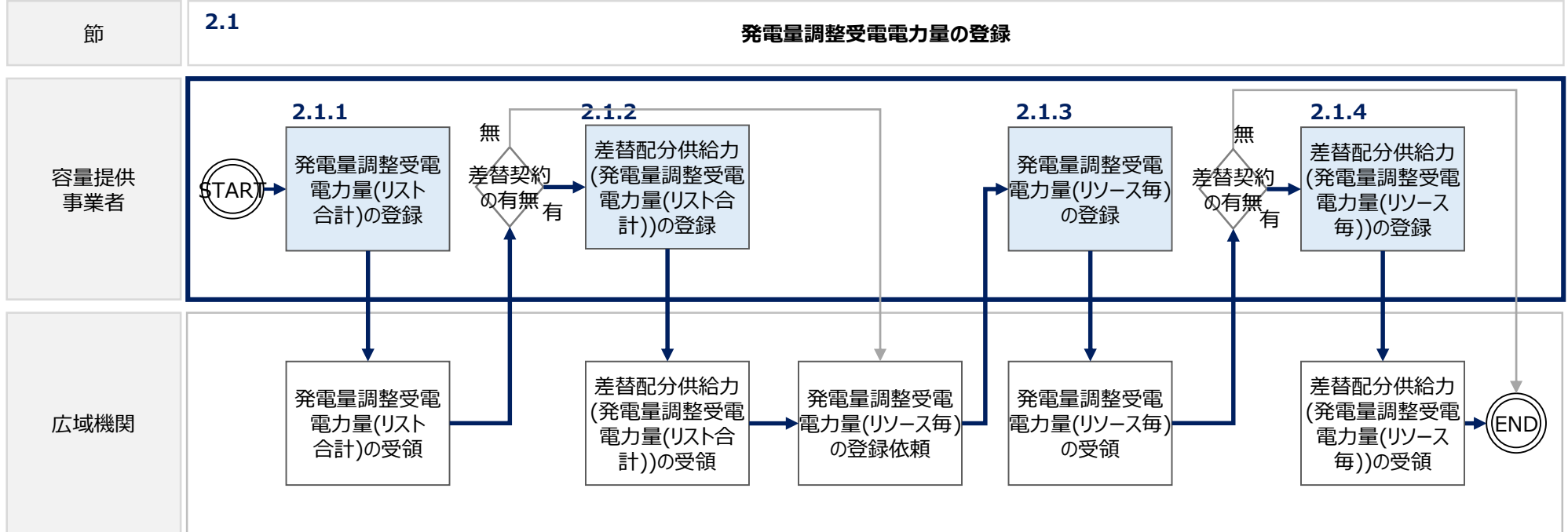
※1 アセスメント対象容量 = 差替元の月別アセスメント対象容量
 ※2 差替先のアセスメント対象容量 = 差替先としての月別の差替容量
 ※3 負の値となる場合、リクワイアメント未達成コマは0となります

4.1.2 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録手続き 業務全体像

- 容量停止計画の確認手続きに係る業務は、発電量調整受電電力量の登録（差替先を含む）となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『2.1.1 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』および『2.1.3 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

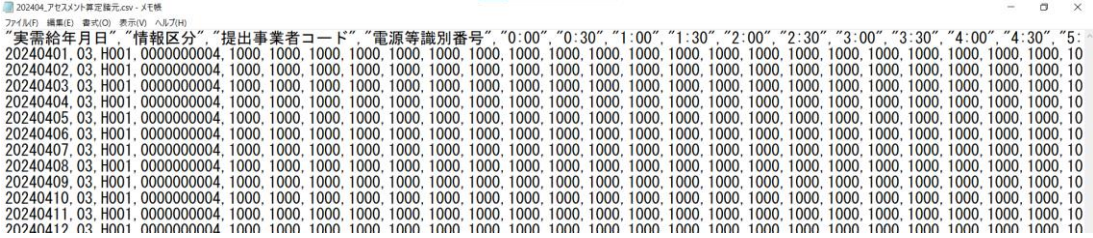
【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



4.1.2 発電量調整受電電力量 (リスト合計) の登録手続き① 業務マニュアル『2.1.1.1 発電量調整受電電力量 (リスト合計) の登録』

- 容量提供事業者は、一般送配電事業者から取得した発電量調整受電電力量を基に、発電量調整受電電力量 (リスト合計) を作成し登録してください。
- 発電量調整受電電力量 (リスト合計) の登録は、本機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。



アセスメント算定諸元 (発電量調整受電電力量 (リスト合計)) の CSVイメージ

- ・アセスメント算定諸元 (発電量調整受電電力量 (リスト合計)) のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください (発電量調整受電電力量 (リスト合計) が零でも、0を入力してください)。
- ・アセスメント算定諸元 (発電量調整受電電力量 (リスト合計)) のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分 ("実需給年月日"~"23:30"の部分)、2行目以降のボディ部分 (登録する情報の部分) の両方に""が記載されておりますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください (""を付けないでください)。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv(P)」としてください。また、発電量調整受電電力量 (リスト合計) を更新する場合のファイル名は「実需給年度対象月_ファイル種別_R更新回数.csv(P)」としてください。

例

- 202410_アセスメント算定諸元.csv (1回目)
- 202410_アセスメント算定諸元_R1.csv (2回目)

アセスメント算定諸元 (発電量調整受電電力量 (リスト合計)) の CSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyymmdd形式の半角数字で入力してください例：2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03を入力してください 03：発電量調整受電電力量 ※変動電源 (アグリゲート) は、情報区分として「03：発電量調整受電電力量」のみを使用してください
3	提出事業者コード	自身の事業者コード (4桁) を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号 (10桁) を半角英数字で入力してください
5	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量 (整数部12桁、小数部3桁) を半角数字で入力してください
6	0:30	〃
.....		
52	23:30	〃

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルを選択し登録してください。

≡

容量市場システム

ログイン日時：2020/3/23:12:00
 ユーザ名 広域 太郎

ログアウト

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「03.アセスメント算定諸元」を選択してください。

ファイル種別*

「ファイル選択」ボタンで発電量調整受電電力量（リスト合計）を選択してください。

ファイル選択

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

アップロードファイル* [アップロードするファイルを選択してください]

アップロード

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「03 .アセスメント算定諸元」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたいアセスメント算定諸元（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

4.1.2 発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録手続き③

業務マニュアル『2.1.2.1 差替先の発電量調整受電電力量（リスト合計）の登録』

- 差替契約を締結している場合、差替元電源は、差替先電源から配分された発電量調整受電電力量（リスト合計）（差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計）））を容量市場システムに登録してください。
- 差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の登録は、広域機関HPからダウンロードしたCSVファイルを用いてください。



差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVイメージ

- ・差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルの登録に関して、1ヶ月分のデータが全て入力されていない場合エラーが発生するため、1ヶ月分のデータが全て入力されているかを確認してください（発電量調整受電電力量（リスト合計）が零でも、0を入力してください）。
- ・差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルは、txt形式で編集してください。txt形式ではなくExcelで編集した場合、記載したデータから""や先頭の0が欠落する可能性があります。
- ・ダウンロードしたCSVファイルには、1行目のヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）、2行目以降のボディ部分（登録する情報の部分）の両方に""が記載されていますが、1行目のヘッダ部分では、""を削除しないでください。2行目以降のボディ部分では、""を削除してください（""を付けしないでください）。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.csv」(P)としてください。また、差替配分供給力（発電量調整受電電力量）を更新する場合のファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別_R更新回数.csv」(P)としてください。

例

- 202410_差替配分供給力.csv (1回目)
- 202410_差替配分供給力_R1.csv (2回目)

差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））の

CSVの記載項目

No.	項目	留意点
1	実需給年月日	yyyyymmdd形式の半角数字で入力してください 例：2024年10月1日の場合「20241001」と入力
2	情報区分	03を入力してください 03：発電量調整受電電力量 ※変動電源（アグリゲート）に対する差替先は、情報区分として「03：発電量調整受電電力量」のみを使用してください
3	提出事業者コード	自身の事業者コード（4桁）を半角英数字で入力してください
4	電源等識別番号	電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
5	差替先電源等識別番号	差替先電源等識別番号（10桁）を半角英数字で入力してください
6	差替ID	差替ID（10桁）を半角英数字で入力してください
7	0:00	コマ別の発電量調整受電電力量（整数部12桁、小数部3桁）を半角数字で入力してください
8	0:30	〃
.....		
54	23:30	〃

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」から「一括登録・変更画面」へ進み、アップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルを選択し登録してください。

容量市場システム

ログイン日時: 2020/3/23:12:00
ユーザー名 広域 太郎

一括登録・変更画面

TOP > システム共通 > 一括登録・変更画面

「ファイル種別」で「04: 差替配分供給力」を選択してください。

「ファイル選択」ボタンでアップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルを選択してください。

ファイル種別* [04: 差替配分供給力]

アップロードファイル* [アップロードするファイルを選択してください]

「アップロード」ボタンをクリックしてください。

ファイル選択

アップロード

一括登録・変更画面 画面イメージ

- 容量市場システム「ポータルトップ画面」の折り畳みメニューから「システム共通」の中の「一括登録・変更画面」リンクをクリックして、「一括登録・変更画面」へ進んでください。
- 「一括登録・変更画面」で「ファイル種別」で「04: 差替配分供給力」を選択し、「ファイル選択」ボタンからアップロードしたい差替配分供給力（発電量調整受電電力量（リスト合計））のCSVファイルを選択します。ファイル選択後、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

4.1.2 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録手続き①

業務マニュアル『2.1.3.1 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録』

- 本機関より発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録依頼を受領した容量提供事業者は、一般送配電事業者から取得した発電量調整受電電力量を基に、1日につき、リスト合計の発電量調整受電電力量が最大となった1コマ分の発電量調整受電電力量（リソース毎）を1ヶ月分作成し登録してください。（P）
- 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録は、本機関HPからダウンロードしたEXCELファイルを用いてください。（P）

		2024														
		4														
対象月		4														
日付		4														
ピークコマ		4														
No.	受電地点特定番号	25	24	26	23	22	25	24	16	25	24	26	23	22	25	24
1	1234567890123456789012	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2	1234567890123456789013	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
3	1234567890123456789014	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
4	1234567890123456789015	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
5	1234567890123456789016	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
6	1234567890123456789017	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
7	1234567890123456789018	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
8	1234567890123456789019	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
9	1234567890123456789020	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
10	1234567890123456789021	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
11	1234567890123456789022	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
12	1234567890123456789023	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
13	1234567890123456789024	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
14	1234567890123456789025	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
15	1234567890123456789026	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
16	1234567890123456789027	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

発電量調整受電電力量（リソース毎）のEXCELイメージ(P)

発電量調整受電電力量（リソース毎）のEXCELの記載項目(P)

No.	項目	留意点
1	実需給年度	半角数字で入力してください
2	対象月	半角数字で入力してください
3	日付	自動入力
4	ピークコマ	各日でリスト合計の発電量調整受電電力量が最大となったコマを記載してください。
5	受電地点特定番号	変動電源（アグリゲート）を構成するリソースの受電地点特定番号を記載してください。 半角数字22桁
6	発電量調整受電電力量(kWh)	各日のピークコマにおける、各リソースの発電量調整受電電力量(kWh)を記載してください。

- ・本Excelへの発電量調整受電電力量の入力単位は“kW”としてください。
- ・ファイル名は「実需給年度・対象月_ファイル種別.xlsx(P)」としてください。また、発電量調整受電電力量（リソース毎）を更新する場合のファイル名は「実需給年度対象月_ファイル種別_R更新回数.xlsx(P)」としてください。

例

202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）.xlsx（1回目）(P)

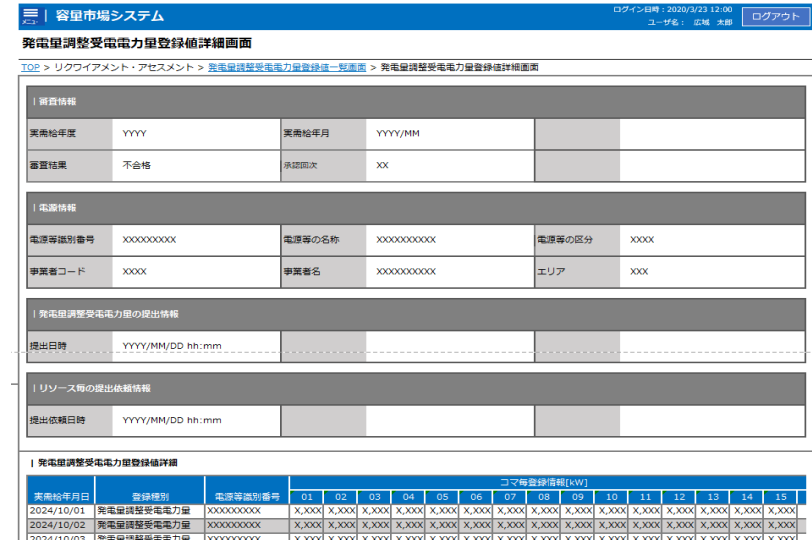
202410_発電量調整受電電力量（リソース毎）_R1.xlsx（2回目）(P)

4.1.2 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録手続き②

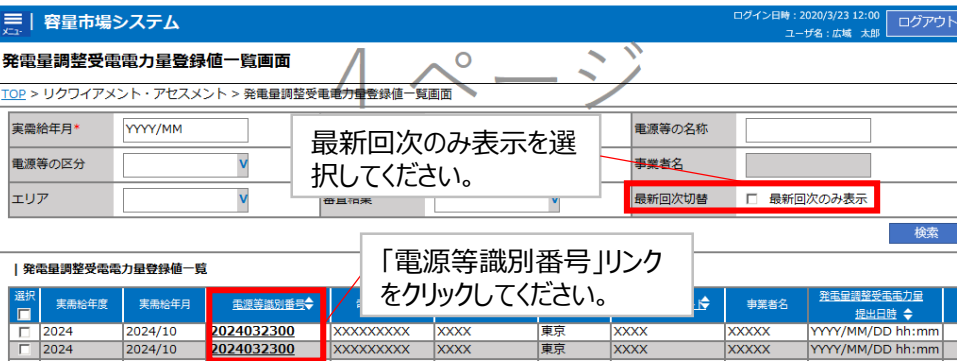
業務マニュアル『2.1.3.1 発電量調整受電電力量（リソース毎）の登録』

■ 容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」から「リクワイアメント・アセスメント」リンクをクリックして、「発電量調整受電電力量登録値一覧画面」、「発電量調整受電電力量登録値詳細画面」の順に進み、アップロードしたい発電量調整受電電力量（リソース毎）のEXCELファイルを選択し登録してください(P)。

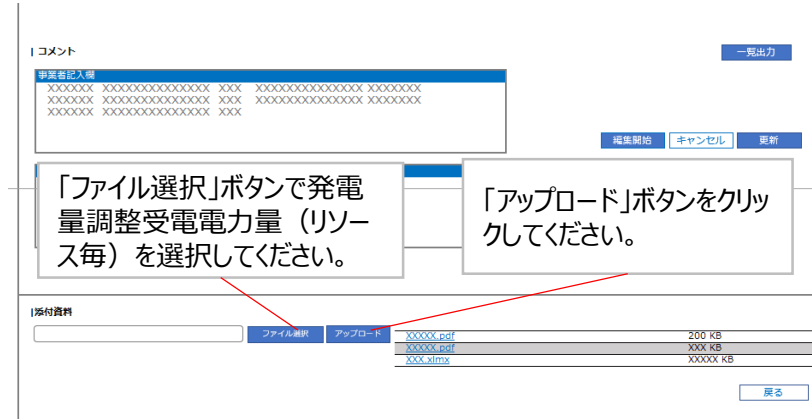
- 容量市場システム「実需給期間向け機能トップ画面」の折り畳みメニューから「リクワイアメント・アセスメント」リンクをクリックして、「発電量調整受電電力量登録値一覧画面」へ進んでください。
- 「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」をチェックし、「実需給年月」、「電源等識別番号」を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。検索結果一覧から対象の「電源等識別番号」をクリックし、「発電量調整受電電力量登録値詳細画面」へ進んでください。「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい発電量調整受電電力量（リソース毎）EXCELファイルを選択してください。発電量調整受電電力量（リソース毎）EXCELファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください



発電量調整受電電力量登録値詳細画面 画面イメージ(1)



発電量調整受電電力量登録値一覧画面 画面イメージ



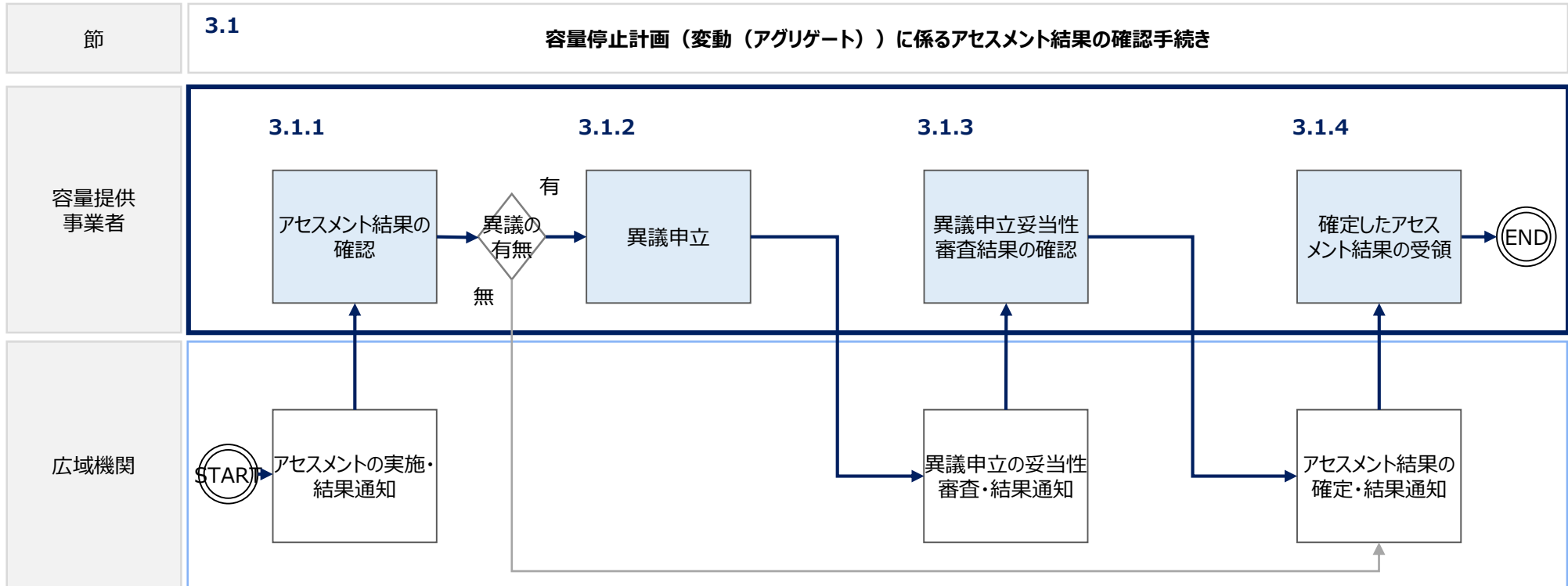
発電量調整受電電力量登録値詳細画面 画面イメージ(2)

4.1.3 アセスメント結果の確認手続き 業務全体像

- アセスメント結果の確認手続きに係る業務は、主に異議申立を含むアセスメント結果の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『3.1.1 アセスメント結果の確認』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



4.1.3 アセスメント結果の確認手続き① 業務マニュアル『3.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント未達成の電源を保有する事業者に対して、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください。

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「容量停止計画（変動アグリ）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（容量停止計画（変動アグリ））（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外画面」へ進んでください。
- 「アセスメント種別」にて「容量停止計画（変動アグリ）」、「最新回次切替」で「最新回次のみ表示」を選択し、実需給年度を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。
- 「アセスメント一覧画面（事業者毎）（容量停止計画（変動アグリ））（検索結果）」に条件に合致するリクワイアメント対象日が表示されますので、「リクワイアメント対象日」リンクをクリックし、「アセスメント詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）」へ進んでください。

容量停止計画（変動アグリ）を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「電源等識別番号」リンクをクリックしてください。

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令以外 の画面イメージ

選択	算定対象年度	算定対象年月	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	指定状況	出力状況	発動アグリ
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2
<input type="checkbox"/>	2024	2024/10	XXXX	NNNNNNNNNN 東北		XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定	解除	2

容量停止計画（変動アグリ）を選択してください。

最新回次のみ表示を選択してください。

「リクワイアメント対象日」リンクをクリックしてください。

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令以外 の画面イメージ

算定対象年度	算定対象年月	対象年月	事業者コード	事業者名	発動回次	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	指定状況	出力状況	発動アグリ
2024	2024/10	2024/10/3	XXXX	NNNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNNN	変動電源（アグリ		
2024	2024/10	2024/10/4	XXXX	NNNNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX	NNNNNNNNNN	変動電源（アグリ		

4.1.3 アセスメント結果の確認手続き②

業務マニュアル『3.1.1 アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、アセスメント結果が仮確定された旨のメールが容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、アセスメント結果を確認してください（アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の説明）。

- 「アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）」の「アセスメント結果詳細情報」で、コマ毎のリクワイアメント未達成コマを確認してください。

容量市場システム
ログイン日時：2020/3/23 12:00
ログアウト

アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・変動アグリ)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎） - 発動指令以外 > アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎） - 発動指令以外 > アセスメント結果詳細画面(容量停止計画・変動アグリ)

対象年月日	YYYY/MM/DD	差替元/先	差替元	
事業者コード	XXXX	事業者名	NNNNNNNNNN	
電源等識別番号	XXXXXXXXXA	電源等の名称	NNNNNNNNNA	電源等の区分 XXXX
エリア	NNN	算定回次	XX	

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名称	差替前契約容量[kW]	差替後契約容量[kW]
差替元	-	XXXXXXXXXA	NNNNNNNNNA	XXX,XXX,XXX,XXX	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXXB	XXXXXXXXXXB	NNNNNNNNNB	-	XXX,XXX,XXX,XXX
差替先	XXXXXXXXXXC	XXXXXXXXXXC	NNNNNNNNNC	-	-

アセスメント結果詳細情報

電源等識別番号：XXXXXXXXXA 電源等の名称：NNNNNNNNNA

対象年月日	差替ID	差替元/先	情報区分	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	共通情報	最大発電コマ	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	共通情報	発電量調整受電電力合計[kW]	XXX,XXX,XXX,XXXXXXXXXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	需給ひっ迫のおそれの有無	-	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	アセスメント対象容量 [kW]	XXX,XXX,XXX,XXX	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	発電量調整受電電力[kW]	XXX,XXX,XXX,XXXXXXXXXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX,XXXXXXXX,XXX,XXX	-	-	-	-
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	ペナルティ係数(倍)	Y,YY	Y,YY	Y,YY	Y,YY	Y,YY
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	リクワイアメント未達成コマ数	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX	X,XXX
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	差替元	個別電源情報	リクワイアメント未達成コマ合計	X,XXX	-	-	-	-

コマ毎に記載されたリクワイアメント未達成コマを確認してください。

アセスメント結果詳細画面（容量停止計画・変動アグリ）の画面イメージ

本機関から送付されるアセスメント結果仮確定の通知メールには「仮算定」が完了した旨が記載してありますが、システム上の「仮算定」が完了したことによりアセスメント結果が「仮確定」したことになりますので、「仮算定」=「仮確定」とご理解ください。

5. 発動指令電源の実需給期間に係る実務 発動指令電源のリクワイアメント対応全体像

- 本章では、実需給期間において発動指令電源を有する容量提供事業者の実務手続きについてご説明します※。
- 発動指令電源には、発動指令への対応のリクワイアメントが課せられるため、リクワイアメントの達成に向けた算定諸元の登録方法やアセスメント結果を確認する実務手続きをご説明します。

※ 参照するマニュアルは、「容量市場業務マニュアル 実需給期間中リクワイアメント対応（発動指令電源）編となります。

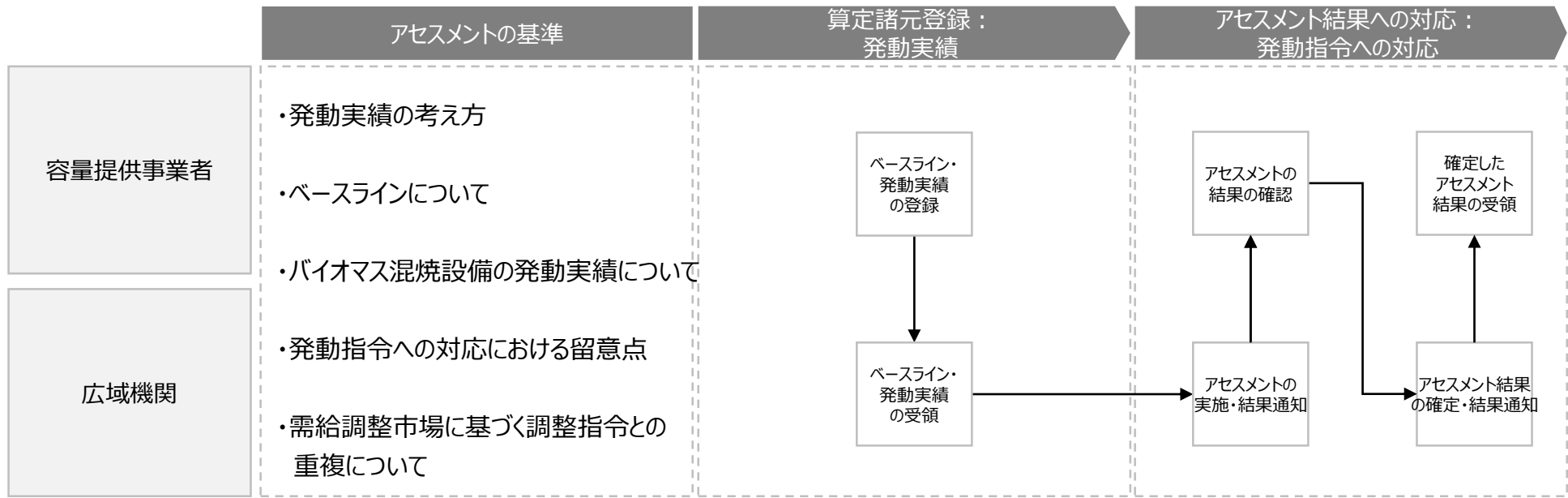
電源等区分	リクワイアメント		実需給期間中	
			平常時	広域予備率 低下時
発動指令 電源	⑩ 発動指令への対応	・一般送配電事業者からの発動指令があった場合、適切に対応すること		✓※

※発動指令時

5.1 発動指令電源の実需給期間に係る実務 発動指令電源のリクワイアメント対応：発動指令への対応

- 実需給期間において一般送配電事業者から発動指令が出された場合、適切に供給力の提供を実施願います。
- その後の発動指令への対応に係る実務手続きは、算定諸元登録とアセスメント結果の確認手続きとなります。
- 次頁以降にて実務手続きの留意点をご説明します。なお、容量市場システム操作が必要な手続きについては、システム画面と合わせて手順をお示しします。

【発動指令への対応に係る業務フローと本資料・業務マニュアルの記載箇所】



本資料のアジェンダ	5.1.1 アセスメントの基準	5.1.2 ベースライン・発動実績の算定と登録手続き	5.1.3 アセスメント結果の確認手続き
業務マニュアル※1 における章・節	3 (3章) アセスメント結果への対応 (発動指令)	2.2 (2章2節) ベースライン・発動実績の算定と登録	3.1 (3章1節) 発動指令に係るアセスメント結果の確認手続き



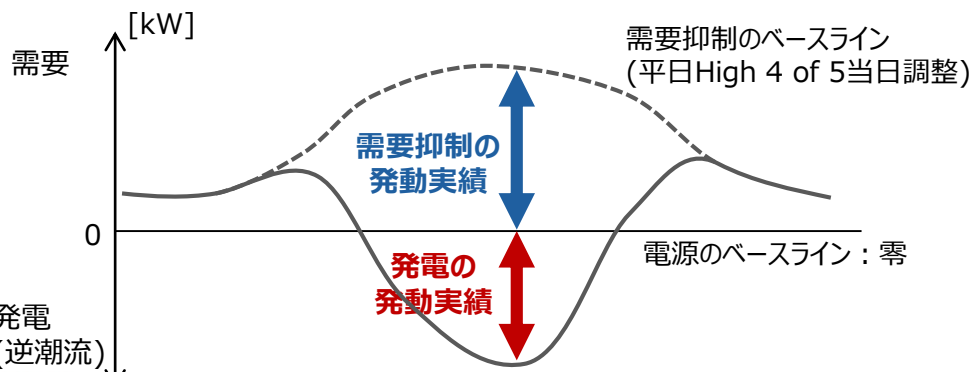
5.1.1 アセスメントの基準（発動指令への対応） 業務マニュアル『3 アセスメント結果への対応（発動指令）』

- 本機関は、コマ単位（30分単位）でアセスメントを実施します。
- 発動指令に応じて提供した供給力が、アセスメント対象容量に対して不足した場合、不足した容量をリクワイアメント未達成量とします。
- 容量提供事業者は、実需給後の翌々月末までに、以下のデータを容量市場システムに提出してください。
 - エネルギーリソース毎の各コマのベースライン、計量値および発動実績^{※1}
 - 電源等リスト全体の発動実績
- ベースラインの算定については、以下を用いてください。
 - 需要抑制(購入電力の削減)：High 4 of 5(当日調整あり^{※2})
 - 電源(逆潮流)：零
- 本機関は、提出いただいたデータを用いて本機関が算定した発動実績と、提出いただいた発動実績が一致していることを確認し、不一致の場合、計算ロジックおよびデータを確認の上、発動実績を再算定していただきます。

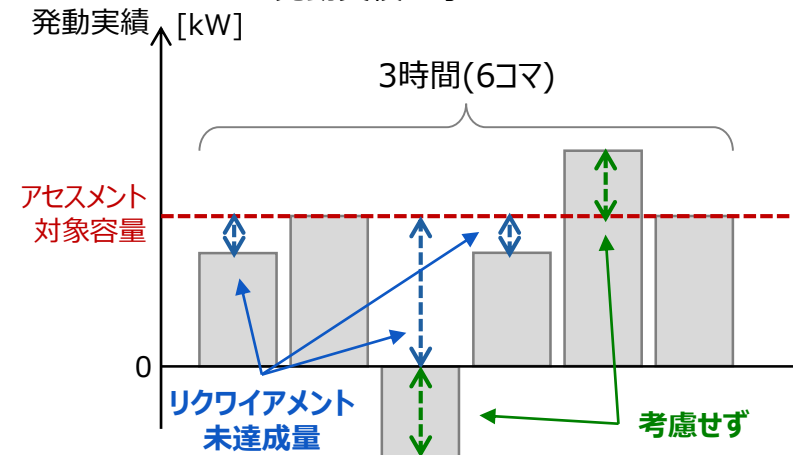
※1 需要抑制の発動実績 = ベースライン - 計量値、発電の発動実績 = 計量値 - ベースライン

※2 発動指令の5時間前～2時間前の時間帯が一般送配電事業者による供給力の提出依頼の時間帯に重なっていた場合は、High 4 of 5（当日調整なし）でベースラインを算定します

ベースラインと評価量の関係



発動実績の考え方

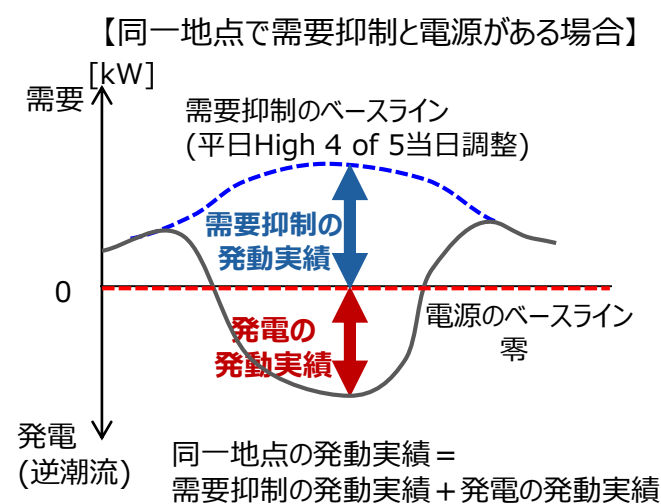
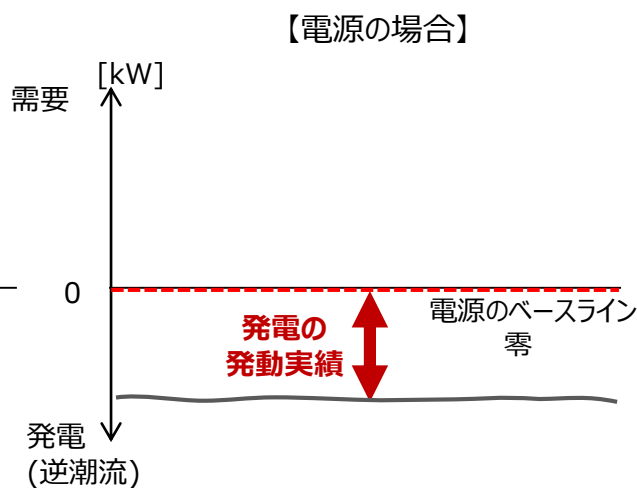
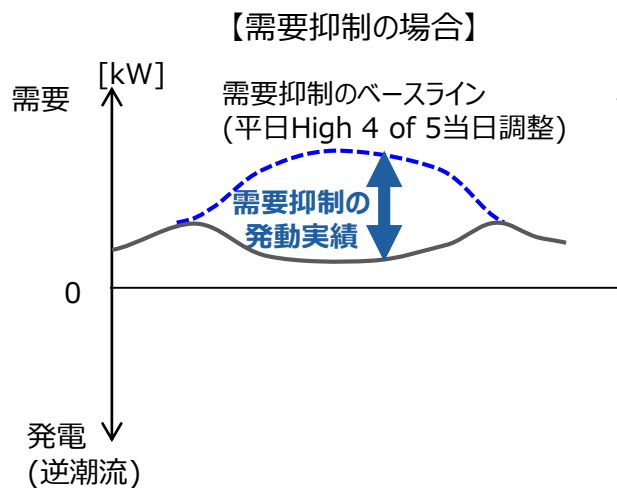


(参考) 発動実績算定の考え方

- 需要抑制のベースラインは、High 4 of 5（当日調整あり）で算定します。代替ベースライン等その他のベースラインを用いることはできません。
- 電源（逆潮流）のベースラインは、零とします。なお、ベースラインの算定に発電計画は使用しないため、発動指令以外の時間帯に発電していた場合でもベースラインは変わりません。
- 自家発等の同一地点において需要抑制と電源（逆潮流）の両方で供給力を提供する場合についても、上記の供給地点および受電地点のベースラインを使用していただきます。なお、電源等リストに両方の受電（供給）地点特定番号を記載していただくことが前提となります。

【発動実績の算定方法】

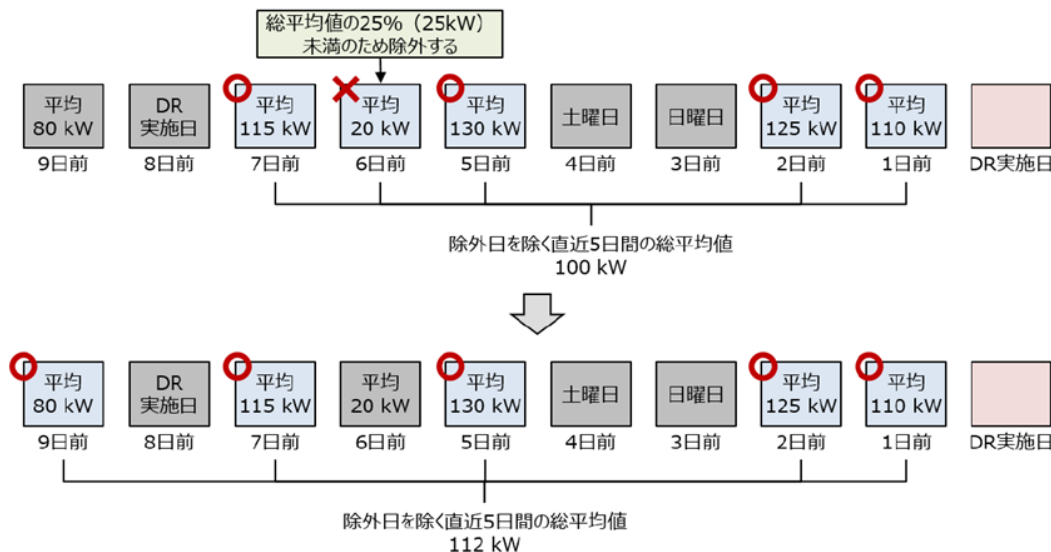
$$\begin{aligned} \text{需要抑制の発動実績} &= \text{ベースライン} - \text{計量値} \\ \text{発電の発動実績} &= \text{計量値} - \text{ベースライン} \end{aligned}$$



(参考) ベースラインの算定方法について

- ①DR実施日の直近5日間（DR実施日当日および下記に該当する日を除く）のうち、DR実施時間帯の平均需要量の多い4日間（High 4 of 5）のDR実施時間帯のコマ毎の平均値を算出する。
 - 土曜日・日曜日・祝日
 - 属地一般送配電事業者の指示に基づく過去のDR実施日
 - DR実施時間帯における需要量の平均値が直近5日間のDR実施時間帯における需要量の総平均値の25%未満
- ②DR実施時間の5時間前から2時間前までの30分単位の6コマについて、「（DR実施日当日の需要量）－（上記①の算出方法により算出された平均値）」の平均値を算出する。
- ③上記①で算出された値におけるDR実施時間帯の30分単位の各コマに、上記②で算出された値を加算したものをベースラインとする。ただし、マイナスとなる場合は当該時間帯のベースラインを零に補正。

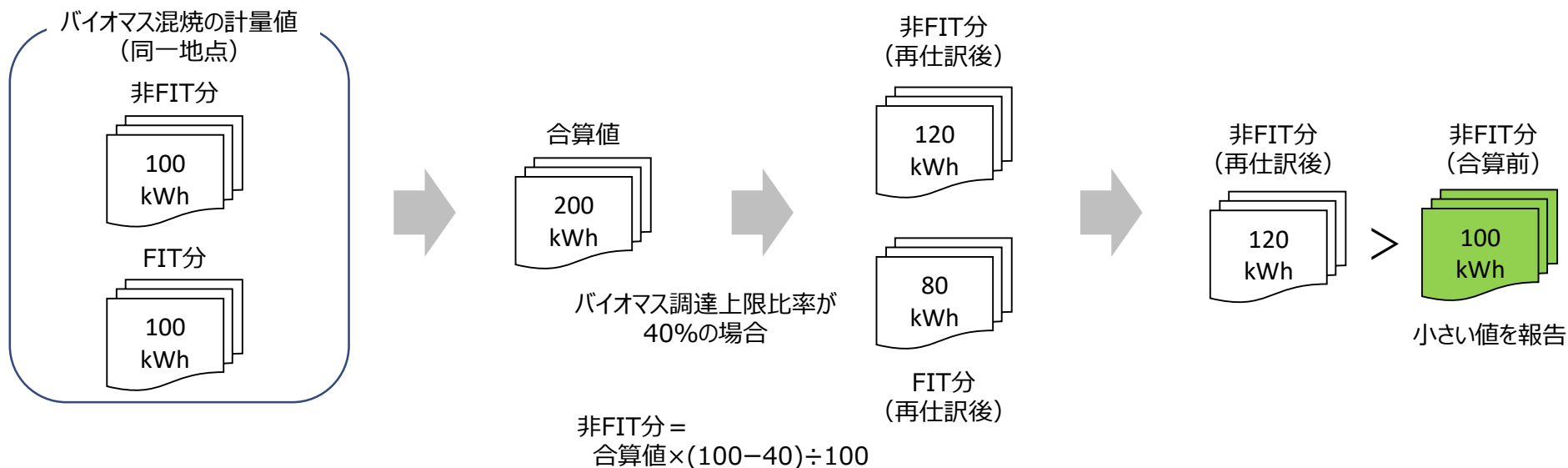
【直近5日間の採用例】



(参考) バイオマス混焼設備の発動実績の報告方法について

- バイオマス混焼設備の計量値は、実績バイオマス比率にて算定されるため、電源等リストの計量・仕分区分にバイオマス混焼（FIT/非FIT）を選択した場合、コマ毎にFIT/非FIT分を合算した上でバイオマス調達上限比率※を用いて再仕訳して報告していただきます。
 - コマ毎の非FIT分 = コマ毎のFIT・非FIT分の合算値 × (100 - バイオマス調達上限比率[%]) ÷ 100
 - バイオマス調達上限比率に基づき、合算前の非FIT分の計量値と、再仕訳した非FIT分の計量値を比較し、小さい方が非FIT分の計量値となります

※電源等リスト登録時に予定バイオマス比率を登録していた場合、実需給期間前までにバイオマス調達上限比率を提出する必要があります(P)



(参考) 発動指令への対応における留意点

- 発動指令への対応に伴い発生する電力量については、相対契約に基づく小売電気事業者等への供給や、卸電力取引所への入札を通じて提供するものとし、各リソースの発電販売計画または需要抑制計画へ適切に反映していただきます。
- 適切に入札した結果、未約定となった場合、未約定分については通常のインバランスとして扱います。
- アグリゲーターが自ら卸電力市場へ入札する場合、日本卸電力取引所の会員資格手続きや属地一般送配電事業者との発電量調整供給契約または需要抑制量調整供給契約が必要となります。
- 厳しい電力需給状況の場合、節電要請が発出されるため(例えば、2022年夏季など)、容量提供事業者においては経済 DR が実施されることが想定されることから、ベースラインの算定時は、経済DR実施日の取り扱いにご留意ください。

【電力需給ひっ迫等を踏まえたベースライン算定の取扱いについて】

• 経済DR実施日の取り扱い

- 電力需給ひっ迫注意報もしくは警報の発令期間中において、発令されたエリア内において容量提供事業者が経済DRを実施した場合、容量提供事業者からの申し出があった場合はその申し出内容を証憑等で確認の上、ベースライン算定で、当該の経済DR実施日を除外する等の対応を行います。また、広域予備率低下に伴う供給力提供通知に応じた経済DR実施日についても、同様に対応します。
- 経済DRを実施した証憑として以下のような書類を確認します。

- * 容量提供事業者とDRを実施した需要家との契約書等
- * 実際にDR指令を行ったことを示す資料（指令時のメール等）

• お申し出の方法・期日

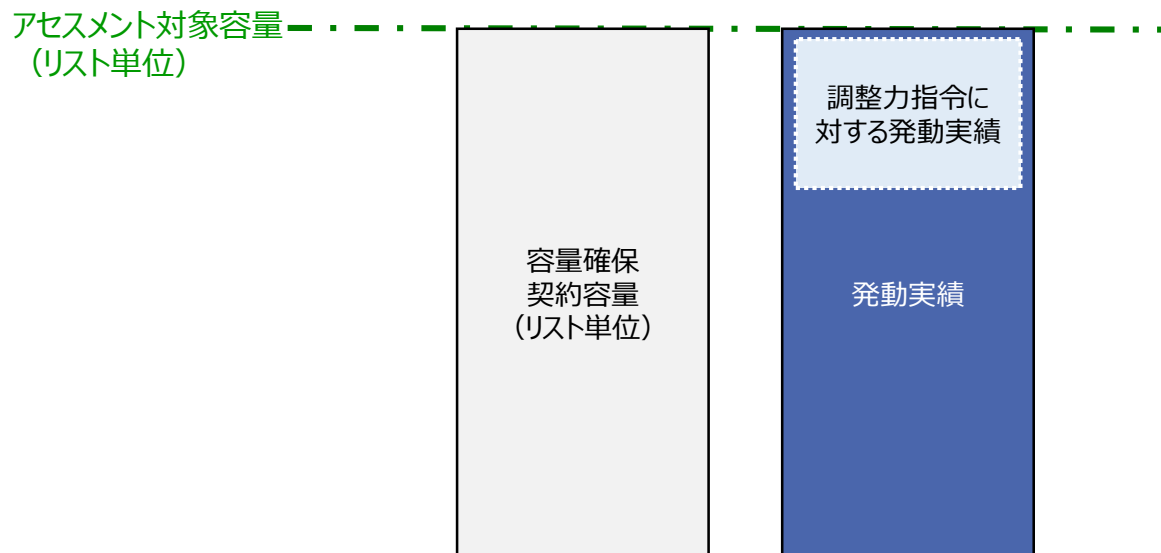
以下のとおり、容量提供事業者よりお申し出ください。

- ・様式：任意様式
- ・連絡先：youryou_uketsuke@occto.or.jp
- ・期日：発動指令を受令した日から5営業日以内

(参考) 需給調整市場に基づく調整指令との重複について①

- 需給調整市場に基づく調整力指令と容量市場に基づく発動指令が重複した場合、調整力コストを最小化する観点から、調整力指令を優先し対応してください。
- 発動指令に係るアセスメントは、リソース単位ではなく電源等リスト単位で実施します。

需給調整市場に約定している容量と発動指令電源の容量が重複している場合におけるアセスメント方法のイメージ
〈最大出力の調整力指令を受令した場合〉



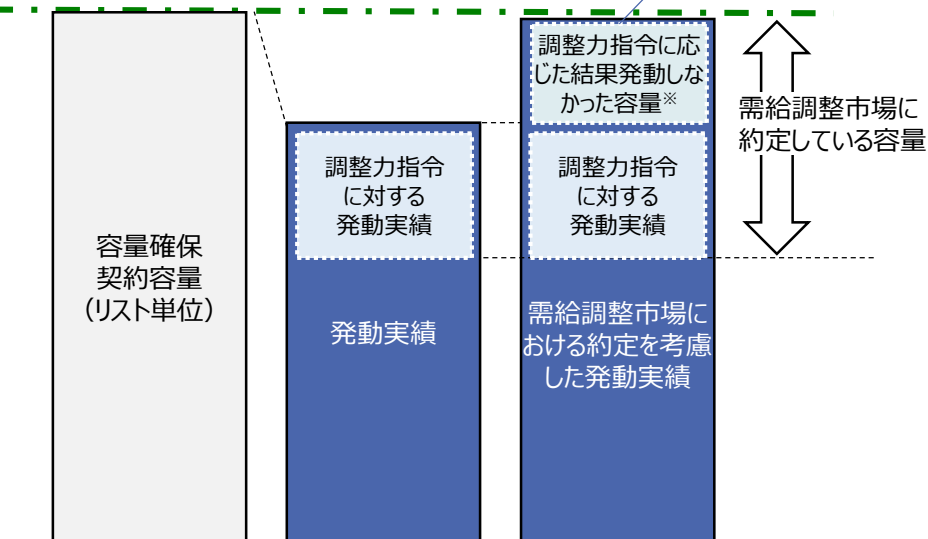
(参考) 需給調整市場に基づく調整指令との重複について②

- なお、発動実績の合計値がアセスメント対象容量を下回った理由が、最大出力でない調整力指令を受令した結果である場合、発動実績の報告時にその旨を説明してください。
- ここで、本機関は、需給調整市場に約定している容量と調整力指令に対する発動実績との差分も考慮し、アセスメントを実施します。

需給調整市場に約定している容量と発動指令電源の容量が重複している場合におけるアセスメント方法のイメージ

<最大出力でない調整力指令を受令した場合>

アセスメント対象容量
(リスト単位)



アセスメント対象容量を下回った要因について、調整力指令の影響であることを発動実績提出時に合理的に説明してください

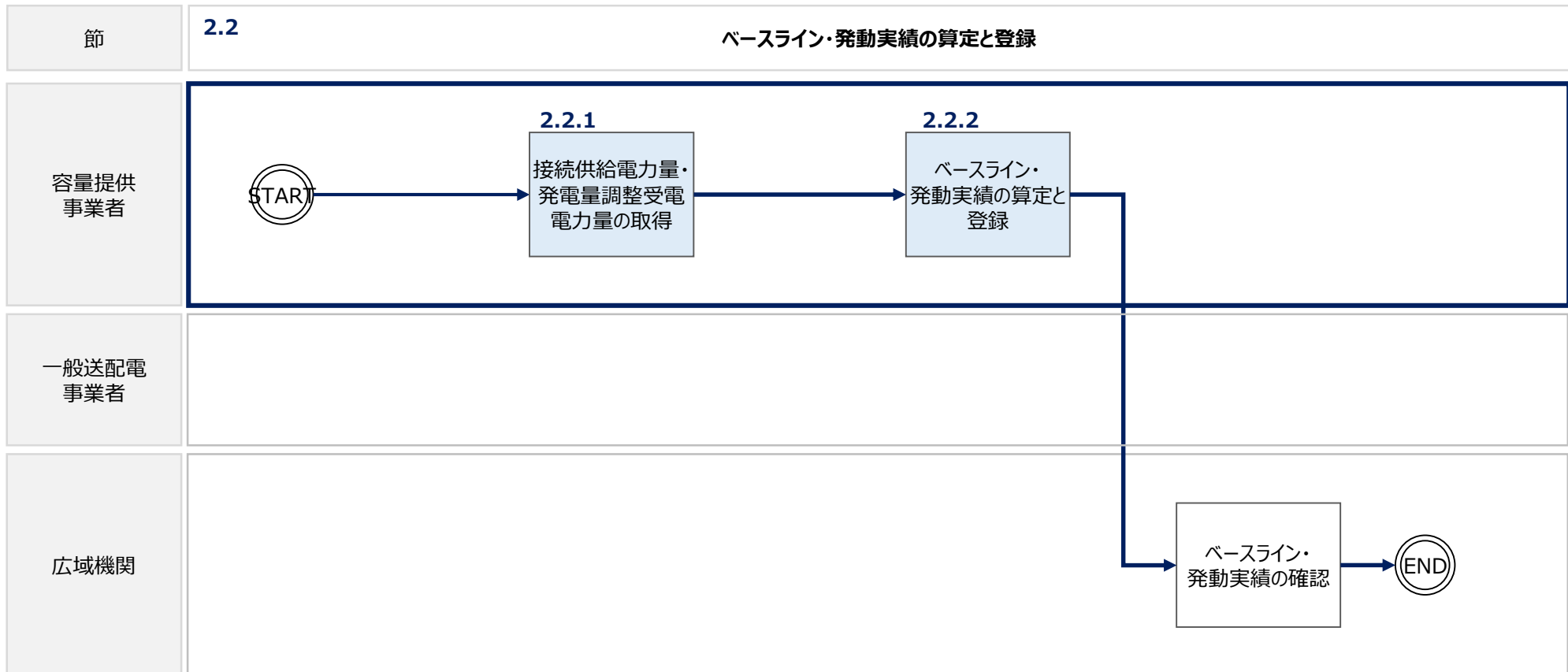
【リクワイアメントを満たす場合】

5.1.2 ベースライン・発動実績の算定と登録手続き 業務全体像

- ベースライン・発動実績の算定と登録手続きに係る業務は、接続供給電力量・発電量調整受電電力量の取得と、ベースライン・発動実績の算定と登録となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



5.1.2 ベースライン・発動実績の算定と登録手続き①

業務マニュアル『2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』

- 発動指令電源は、一般送配電事業者から発動指令を受令した月においてベースラインと発動実績の提出が必要となります。
- 一般送配電事業者から取得した接続供給電力量・発電量調整受電電力量を基に、電源または需要抑制の発動実績を算定した上で、電源等リスト全体の発電実績[kWh]を算定し登録してください。
- ベースラインおよび発動実績の算定には、本機関HPからダウンロードする発動実績算定諸元一覧（Excelファイル）を用いてください。
- なお、同月に複数回発動指令を受令した場合、発動指令毎に発動実績算定諸元一覧の提出が必要となります。

No.	受電地点特定番号	電源等の名称	BGコード	計量・仕訳区分	ベースライン[kWh]			発電量調整受電電力量[kWh]			発動実績[kWh]		
					1コマ目	...	6コマ目	1コマ目	...	6コマ目	1コマ目	...	6コマ目
1	0100000011111122222233	A太陽光発電所	GA101		0	-	0	800	-	800	800	-	800
2	0100000011111122222244	B風力発電所	GA102		0	-	0	800	-	800	800	-	800
3	010000002222233333355	C水力発電所	GZ901		0	-	0	400	-	400	400	-	400
4	0100000011111122222237	ごみ発バイオマスA	GA101	バイオマス（混焼）非FIT分	0	-	0	300	-	300	300	-	300
5	0100000011111122222237	ごみ発バイオマスA	GA102	バイオマス（混焼）FIT分	0	-	0	0	-	0	0	-	0
6	0100000011111122222138	バイオマス混焼B	GZ901	バイオマス（混焼）非FIT分	0	-	0	900	-	900	900	-	900
7	0100000011111122222139	バイオマス混焼B	GZ902	バイオマス（混焼）FIT分	0	-	0	0	-	0	0	-	0
8	0100000011111122222140	バイオマス混焼C	ZZZ1	バイオマス（混焼）非FIT分	0	-	0	700	-	700	700	-	700
9	0100000011111122222140	バイオマス混焼C	ZZZ2	バイオマス（混焼）FIT分	0	-	0	0	-	0	0	-	0
10	0100000011111122222239	蓄電池C	GZ802	差分計量 非FIT分	0	-	0	500	-	500	500	-	500
11	0100000011111122222239	太陽光D	GZ902	差分計量 FIT分	0	-	0	200	-	200	200	-	200
12	0100000011111122222240	蓄電池E	GZ803	差分計量 非FIT分	0	-	0	400	-	400	400	-	400
13	0100000011111122222240	太陽光F	GZ903	差分計量 FIT分	0	-	0	900	-	900	900	-	900
14	0100000011111122222241	LNG火力発電所	GZ121	部分買取	0	-	0	200	-	200	200	-	200
15													
16	0100000011111122222241	LNG火力発電所	GZ123	部分買取	0	-	0	200	-	200	200	-	200
17	0100000011111122222242	石炭火力発電所	GZ124	自己託送地点	0	-	0	200	-	200	200	-	200

ベースラインおよび発動実績の算定Excelイメージ（記入時の留意事項は、次頁参照）

・ファイル名は「エリア_発動実績(実需給年度向け)_事業者コード_実需給年度・対象月日_電源等識別番号_A枝番_R0.xlsx」としてください。(P)また、発動実績算定諸元一覧を更新する場合のファイル名は「エリア_発動実績(実需給年度向け)_事業者コード_実需給年度・対象月日_電源等識別番号_A枝番_R更新回数.xlsx」としてください。(P)

例 東京エリアで2024年10月1日分の発動実績報告をする場合：

東京_発動実績(実需給年度向け)_0123_20241001_0123456789_A1_R0.xlsx（1回目）

東京_発動実績(実需給年度向け)_0123_20241001_0123456789_A1_R1.xlsx（2回目）

5.1.2 ベースライン・発動実績の算定と登録手続き②

業務マニュアル『2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』

- 1 地点において複数の実績が存在する場合（FIT/非FITや部分買取等）、電源等リストへ発動実績の算定対象となるBGコードをすべて記載していただきます。ただし、記載できる対象は託送供給等約款に基づき実績が仕訳される場合に限ります。

発動実績算定諸元一覧（記入例：電源）

No.	受電地点特定番号	電源等の名称	BGコード	計量・仕訳区分	ベースライン[kWh]			発電量調整受電電力量[kWh]			発動実績[kWh]				
					1コマ目	...	6コマ目	1コマ目	...	6コマ目	1コマ目	...	6コマ目		
1	0100000011111122222233	A太陽光発電所	GA101		0	-	0	800	-	800	800	-	800		
2	0100000011111122222244	B風力発電所	GA102		0	-	0	800	-	800	800	-	800		
3	0100000022222233333355	C水力発電所	GZ901		0	-	0	400	-	400	400	-	400		
※1	4	0100000011111122222237	ごみ発バイオマスA	GA101	バイオマス（混焼）非FIT分	0	-	0	※3	300	-	300	300	-	300
	5	0100000011111122222237	ごみ発バイオマスA	GA102	バイオマス（混焼）FIT分	0	-	0	0	-	※4	0	0	-	0
※2	6	0100000011111122222140	バイオマス混焼C	ZZZZ1	バイオマス（混焼）非FIT分	0	-	0	※3	700	-	700	700	-	700
	7	0100000011111122222140	バイオマス混焼C	ZZZZ2	バイオマス（混焼）FIT分	0	-	0	0	-	0	-	0		
	8	0100000011111122222239	蓄電池C	GZ802	差分計量 非FIT分	0	-	0	500	-	500	500	-	500	
※7	9														
	10	0100000011111122222240	蓄電池D	GZ807	按分計量 非FIT分				※8						
	11	0100000011111122222240	蓄電池E	GZ803	按分計量 非FIT分	0	-	0	400	-	400	400	-	400	
	12	0100000011111122222241	LNG火力発電所	GZ121	※5 部分買取	0	-	0	200	-	※5	200	200	-	200
	13	0100000011111122222241	LNG火力発電所	GZ123	部分買取	0	-	0	200	-	200	200	-	200	
	14	0100000011111122222242	石炭火力発電所	GZ124	自己託送地点	0	-	0	200	-	※6	200	200	-	200

※6

- ※1 電源等リストにバイオマス混焼FIT調達上限比率を登録した場合、非FIT・FITで1行ずつ分けて記入してください
- ※2 電源等リストに実需給年度前にFIT認定が終了する前提で予定バイオマス比率を零として登録したケースは7行目は削除（ただし、空白行とはしないでください）し、6行目の計量・仕訳区分を正しく登録してください
- ※3 調達上限比率に応じて合算処理等が必要なため、マニュアルに記載の算定方法を参照して記入してください
- ※4 FIT分の実績は零を記入してください
- ※5 部分買取の場合は売電先の実績を合算せずにBGコード毎に1行ずつ分けて記入してください
- ※6 自己託送以外のBGコードおよび計量値を記入してください
- ※7 リソースの行間に空白行は入れないでください。空白行以降の内容は、受け付けることが出来ません（電源等リストも同様）
- ※8 受電地点特定番号やBGコード等が記載されていても発電量調整受電電力量がblankである場合も受け付けられません

(参考) 実需給期間に向けた電源等リストの変更時の留意点

- 実効性テスト時に登録した電源等リストは、実需給期間の発動実績算定に必要なデータのみ記載してください。
- 電源等リスト登録時から変更が必要な場合は、実需給期間前までに修正し、再度登録してください。

実需給期間に向けた電源等リスト (記入例：電源および需要抑制)

供給力 提供区分	(受電/供給)地点特定番号	電源等の名称/需要家名	...	計量・仕訳区分	BGコード	FIT認定ID	特定契約 終了年月
需要抑制	0100000011111122222233	自家発A					
電源	0100000011111122222234	自家発A			GA101		
※1 電源	0100000011111122222242	バイオマス混焼B		バイオマス (混焼) 非FIT分	GZ201		
電源	0100000011111122222243	バイオマス混焼B		バイオマス (混焼) FIT分	GZ202	1111111111	202405
※2 電源	0100000011111122222244	バイオマス混焼C		バイオマス (混焼) 非FIT分	ZZZZ1		
電源	0100000011111122222244	バイオマス混焼C		バイオマス (混焼) FIT分	ZZZZ2	2222222222	202403
電源	0100000011111122222238	エネファームD		差分計量 非FIT分	GZ301		
※3 電源	0100000011111122222238	太陽光E		差分計量 FIT分	GZ302	3333333333	202403
電源	0100000011111122222239	エネファームF		按分計量 非FIT分	GZ401		
※4 電源	0100000011111122222239	太陽光G		按分計量 FIT分	GZ402	4444444444	202403
電源	0100000011111122222236	火力発電所H		部分買取	GZ501		
電源	0100000011111122222236	火力発電所H		部分買取	GZ502		
電源	0100000011111122222237	火力発電所I		自己託送地点	GZ601		
※5							
需要抑制	0100000011111122222240	需要家J		自己託送地点			
需要抑制	0100000011111122222241	需要家K		部分供給 (全量)			

- ※1 電源等リスト登録時に予定バイオマス比率を登録していた場合、実需給期間前までにバイオマス混焼FIT調達上限比率を提出してください
- ※2 電源等リスト登録時に予定バイオマス比率を零として登録していた場合、実需給期間前までにバイオマス混焼FIT分のリソースに係る行を削除し、バイオマス (混焼) 非FIT分のリソースの計量・仕訳区分を適切な区分に変更してください
- ※3 実需給期間においては、差分計量FIT分のリソースは削除してください
- ※4 実需給期間においては、按分計量FIT分のリソースは削除してください
- ※5 リソースの行間に空白行は入れないでください。空白行以降の内容は、受け付けることが出来ません

5.1.2 ベースライン・発動実績の算定と登録手続き③

業務マニュアル『2.2.2 ベースライン・発動実績の算定と登録』

- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「発動指令アセスメントデータ一覧画面」リンクをクリックして、「発動指令アセスメントデータ一覧画面」へ進み、アップロードしたい発動実績算定諸元一覧のExcelファイルを選択し登録してください。

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 [ログアウト](#)

発動指令アセスメントデータ詳細画面

TOP > リクワイアメント・アセスメント > [発動指令アセスメントデータ一覧](#) > 発動指令アセスメントデータ詳細

実需給年月	2024/MM	事業者コード	0123	事業者名	XXXXX
電源等識別番号	0123456789	電源等の名称	XXXXXXXXXX	差替ID	-
差替元電源等識別番号	-	エリア			
アセスメント対象容量[kW]	-	発動開始日時			
提出ロック状況	解除	最終更新日時			

「ファイル選択」ボタンで発動実績算定諸元一覧を選択後、「アップロード」ボタンをクリックして登録してください。

| 添付ファイル(発動実績算定諸元一覧)

<input type="text"/>	ファイル選択	アップロード	東京_発動実績_0123_2024_0123456789_R0.xlsx	200 KB
			XXXXX.xlsx	XXX KB
			XXXXX.xlsx	XXX KB

発動指令アセスメントデータ詳細画面の画面イメージ

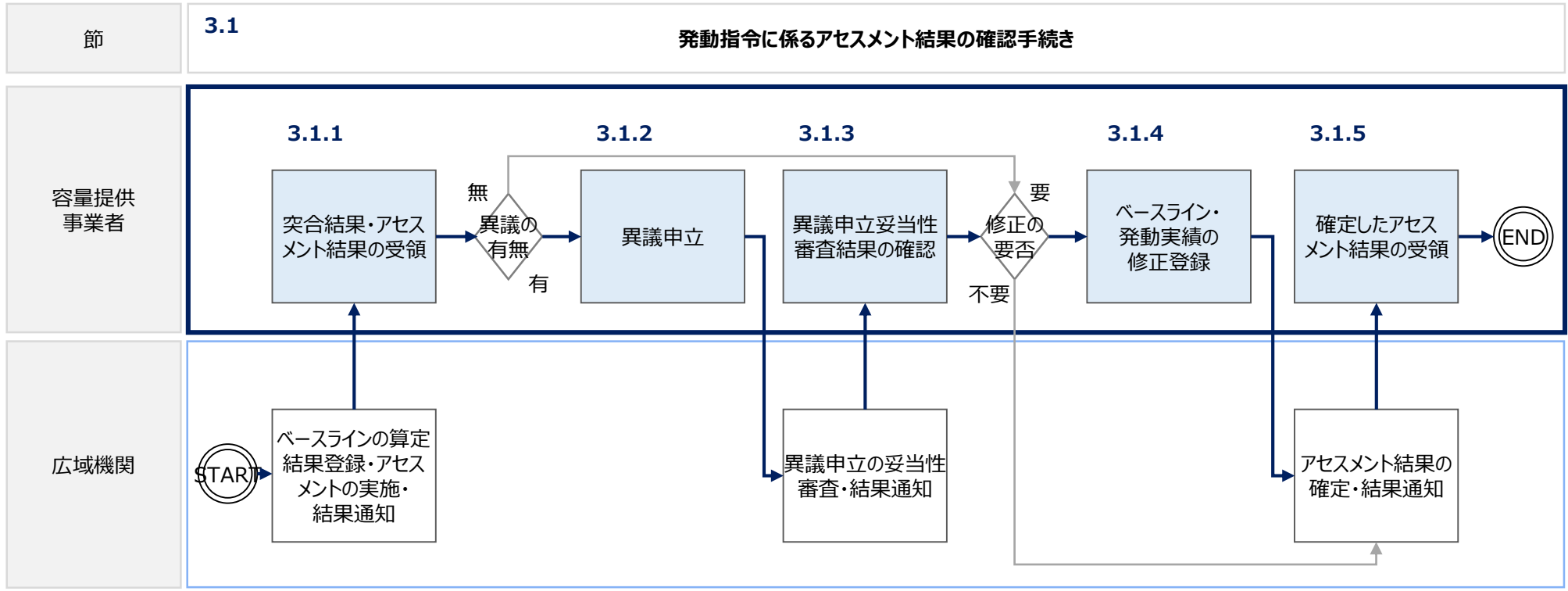
- ・ 実需給年度と実需給月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「発動指令アセスメントデータ一覧」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「発動指令アセスメントデータ詳細画面」へ進んでください。
- ・ 「ファイル選択」ボタンをクリックして、アップロードしたい発動実績算定諸元一覧のExcelファイルを選択してください。発動実績算定諸元一覧のExcelファイル名が容量市場システム上に表示されましたら、「アップロード」ボタンをクリックし、登録してください。

5.1.3 アセスメント結果の確認手続き 業務全体像

- アセスメント結果の確認手続きに係る業務は、主に異議申立を含むアセスメント結果の確認となります。
- 本資料では、手続き上の留意点およびシステム画面の操作を行う業務マニュアル『3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認』の手続きを中心に業務の手順をご説明します。

【業務マニュアルでの業務フロー】

凡例 → 業務の流れ



5.1.3 アセスメント結果の確認手続き①

業務マニュアル『3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認』

- 本機関がアセスメント実施後、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合、その旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認してください。

＜発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合＞

- 発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合、発動実績（電源等リスト単位）および発動実績（リソース単位）の突合結果を容量市場システムで確認してください。
- 容量市場システムの折り畳みメニュー「リクワイアメント・アセスメント」の中の「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令」リンクをクリックして、「アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令」へ進んでください。
- 算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧（事業者毎）-発動指令（検索結果）」に条件に合致する電源等識別番号が表示されますので、「電源等識別番号」リンクをクリックし、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令」へ進んでください。
- 「突合結果」で「不一致※1」、「最新回次／未達成のみ抽出」にて「最新回次かつリクワイアメント未達成」を選択し、算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令（検索結果）」に条件に合致する発動日が表示されますので、「発動日」リンクをクリックし、「アセスメント結果詳細画面（発動指令）」へ進んでください。

※1発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が一致だった場合、突合結果をメールでは送付いたしません。発動実績（電源等リスト単位）の突合結果は、「アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令」の「突合結果」で「一致」、「最新回次／未達成のみ抽出」にて「最新回次のみ表示」を選択し、算定対象年度、算定対象月を入力して「検索」ボタンをクリックすることで確認できます。

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ユーザ名: 広域 太郎 ログアウト

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令

算定対象年度を選択してください。

算定対象年月を入力してください。

算定対象年度* YYY Y 算定対象月 MM

事業者コード XXXX 事業者名

エリア NNN 電源等の名称 NNNNNNNNN

電源等識別番号 XXXXXXXXXXXX

「電源等識別番号」リンクをクリックしてください。

アセスメント一覧（事業者毎）-発動指令（検索結果）

算定対象年度	算定対象年月	事業者コード	事業者名	エリア	電源等識別番号	電源等の名称	算定の確定状況
2024	202410	XXXX	NNNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	確定
2024	202410	XXXX	NNNNNNNNNN	東北	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN	未確定

アセスメント一覧画面（事業者毎）-発動指令 の画面イメージ

容量市場システム ログイン日時: 2020/3/23 12:00 ユーザ名: 広域 太郎 ログアウト

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令

算定対象年度を選択してください。

算定対象年月を入力してください。

算定対象年度* YYY Y 算定対象月 MM

事業者コード XXXX 事業者名

エリア N 電源等の名称 NNNNNNNNN

電源等識別番号 X

不一致を選択してください。

最新回次／未達成のみ抽出

「発動日」リンクをクリックしてください。

最新回次かつリクワイアメント未達成を選択してください。

アセスメント一覧（電源等識別番号毎）-発動指令（検索結果）

算定対象年度	算定対象年月	発動日	事業者コード	事業者名	回次	エリア	電源等識別番号	電源等の名称
2024	2024/10	2024/10/3	XXXX	NNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN
2024	2024/10	2024/10/4	XXXX	NNNNNNNN	2	東京	XXXXXXXXXX1	NNNNNNNN

アセスメント一覧画面（電源等識別番号毎）-発動指令 の画面イメージ

5.1.3 アセスメント結果の確認手続き②

業務マニュアル『3.1.1 突合結果・アセスメント結果の確認』

■ 本機関がアセスメント実施後、発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合、その旨が容量市場システムに登録したメールアドレス宛に送付されますので、内容を確認してください。

<発動実績（電源等リスト単位）の突合結果が不一致だった場合>

- 「アセスメント結果詳細情報」で、コマ毎に記載された発動実績（電源等リスト単位）の突合結果およびリクワイアメント未達成量を確認してください。また、「添付資料」にて発動実績（リソース単位）の突合結果ファイルのリンクをクリックすると発動実績（リソース単位）の突合結果ファイルがダウンロードされますので、必要に応じて内容を確認してください。

容量市場システム
ログイン日時: 2020/3/23 12:00
ログアウト

アセスメント結果詳細画面(発動指令)

TOP > リクワイアメント・アセスメント > アセスメント一覧画面(事業者毎) - 発動指令 > アセスメント一覧画面(電源等識別番号毎) - 発動指令 > アセスメント結果詳細画面(発動指令)

発動日	YYYY/MM/DD	差替元/先	XXX		
差替ID	XXXXXXXXXX	事業者コード	NNNN	事業者名	NNNNNNNNNN
エリア	NNN	電源等識別番号	NNNNNNNNNA	電源等区分の名称	NNNNNNNNNA
回次	XXX	突合結果	NNN	メール送信日時	YYYY/MM/DD hh:mm

電源等差替情報

差替元/先	差替ID	電源等識別番号	電源等の名
差替元	-	XXXXXXXXXXA	NNNNNN
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXB	NNNNNN
差替先	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXC	NNNNNN

アセスメント結果詳細情報

対象日	差替ID	事業者コード	電源等識別番号	算定要素	01	02	03	04	05
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	発動指令					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	アセスメント対象容量[kW]	X,XXX				
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	事業者報告発動実績[kWh]					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	広域機関算定発動実績[kWh]					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	コマごとの突合結果					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント達成率[%]					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成率[%]					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成量[kWh]					
YYYY/MM/DD	XXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	リクワイアメント未達成量合計[kWh]	X,XXX				

コマ毎の突合結果やリクワイアメント未達成量を確認してください。

アセスメント結果詳細画面（発動指令）の画面イメージ

6. 異議申立に係る実務 異議申立に係る実務

- 本章では、アセスメント結果仮確定に対する異議申立に係る実務手続きについてご説明します。
- アセスメント結果仮確定に異議がある場合、アセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した日を含めて5営業日以内であれば、メールにより異議申立を行うことが可能です（全リクワイアメント共通）。
- 異議申立を行う場合、新規メールに異議申立における必要事項を記載の上、所定の宛先に送信してください。

メール項目	内容
件名	【事業者コード※1】アセスメント結果仮確定に対する異議申立※2
To	XX@occto.or.jp(P)
CC	-
本文記載事項	<p>異議申立の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議申立の内容およびその根拠を具体的に文章で記載 <p>アセスメント結果※3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者コード ・ 事業者名称および担当者名 ・ 電源等識別番号 ・ 電源等の名称※4 ・ 対象実需給年度 ・ 対象月※5 ・ 対象コマ ・ リクワイアメント未達成量 ・ 系統コード※6 ・ 突合結果※7
添付資料	異議申立の根拠となる資料（必要に応じて）

異議申立期限について、例えば、7月1日（金）にアセスメント結果が仮確定された旨のメールを受領した場合、7月7日（木）23:59までに異議申立メールを本機関に送信する必要があります。

<参考> 容量確保契約約款抜粋

休日：土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日

平日：休日以外の日

営業日：平日のうち、1月4日、12月29日以外の日

※1 事業者コード（数字4桁）を記載してください。

※2 発動指令電源の場合、「突合結果・アセスメント結果に対する異議申立」

※3 発動指令電源の場合、「突合結果・アセスメント結果」

※4 発動指令電源の場合、「電源等リストの名称」

※5 発動指令電源の場合、「対象月日」

※6、7 発動指令電源の場合のみ

- 【Q-1】容量市場 メインオークション募集要綱(対象実需給年度：2024年度、P.33)には、“調整機能（需給調整市場における商品の要件を満たす機能を指します）を「有」と登録した電源については、余力活用に関する契約を一般送配電事業者と締結していただきます。”と、記載がありますが、いつまでに契約を締結すればよいか？
- 【A-1】余力活用に関する契約を締結したことがわかる書類（契約書の写し等）を実需給年度前年（2023年）の12月末までに提出してください。
- 【Q-2】実需給期間中の容量停止計画について、一般送配電事業者より、下げ調整力不足時に出力抑制の要請があり、要請に応じた場合、容量確保契約における「出力低下コマ」にカウントされないか？
- 【A-2】ご質問いただいたケースでは、容量停止計画の提出は不要となります。
- 【Q-3】実需給2年前の容量停止計画の調整完了後、やむを得ない理由で容量停止計画の変更を実施した結果、供給信頼度に影響を与える場合、経済的ペナルティ1.5倍が科される可能性があるという旨の記載があるが、これは実需給年度中のリクワイアメントではないという理解でよいか？
- 【A-3】ご認識の通りです。実需給年度中の変更は含まれません。

- 【Q-4】容量停止計画のリクワイアメントに対し、突発的な発電機故障が発生した場合は、容量停止計画を提出すべきか？
- 【A-4】発電機等の突発的な故障等は、「電源等の維持・運営に必要な作業」に該当するため、事後のコマを含め遅滞なく容量停止計画を提出していただきます。なお、発電計画については事後提出はできません。

- 【Q-5】落札電源が、変動電源（単独）の場合、自然影響により電源等の出力が停止又は出力低下する場合、容量停止計画の提出は必要か？
- 【A-5】落札電源が、変動電源（単独）の場合、自然影響により電源等の出力が停止又は出力低下する場合、容量停止計画の提出は不要です（自然影響とは、太陽光発電における日照不足や、風力発電における風量不足、水力発電における少雨に伴う流入量の減少等により、発電機の出力が停止又は出力低下するケースを想定しております）。

- 【Q-6】FIT調達上限比率は、実需給前年度(2023年度)のいつまでに申請すればよいか？
- 【A-6】石炭とバイオマスの混焼を行っている設備が実需給年度においてバイオマス比率を零とする場合、およびバイオマス比率の厳密な上限管理の対象外であるFIT電源（ごみ焼却施設に設置されるバイオマス発電）が新たに調達上限比率の設定を申請する場合は、2024年3月10日までに、FIT制度上において、調達上限比率を設定する必要があります。また、実需給期間中に調達上限比率の変更を希望する場合は、変更希望月の前月10日までに変更してください。

- 【Q-7】発動指令電源に必要となる簡易指令システム等の通信設備が故障した場合は、一般送配電事業者からどのように指令を受令するか？またその場合、経済的ペナルティは科されるのか？
- 【A-7】実需給期間中の広域予備率低下時において、一般送配電事業者から簡易指令システムを通じた発動指令ができない場合は、電話またはメール等での発動指令を行うことがあります。ここで、発動指令に対応できなかった場合、弊機関は当該容量提供事業者の状況を考慮し、例外的に経済的ペナルティを適用しない場合があります。経済的ペナルティの適用対象となるか否かは、当該事象が発生した場合に個別に確認させていただきます。
- 【Q-8】容量確保契約約款上の「休日（土曜日、日曜日および祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）に加えて、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日および本機関が指定する日）」でも発動指令はあるか？
- 【A-8】発動指令は、1月2日～3日、4月30日～5月2日、12月30日～31日の期間においても、土曜日、日曜日、および祝日を除いて発令されます（同約款第17条に発動指令の可能性のある時間帯について記載があります）。なお、発動指令が発令可能な日は、容量確保契約約款（別添用語の定義）に記載されている「平日」とは異なります。

- 【Q-9】発動指令電源が、需給調整市場に応札・約定した場合に、需給調整市場に基づく一般送配電事業者からの調整力指令（調整力指令）と発動指令を同時に受令した際は、どちらを優先すればよいか？
- 【A-9】第39回需給調整市場検討小委員会において、発動指令があり、かつ発動指令の時間帯において需給調整市場に約定している容量と発動指令容量に重複がある容量分に限り、容量市場のリクワイアメントを満たしているものとみなす※方向性として整理されています（※故意に応動しない場合は、この限りではありません）。今後整理が確定され次第、周知いたします。
- 【Q-10】変動電源（アグリゲート）の小規模変動電源リスト内のアグリゲートリソースについて、実需給期間中に一部市場退出することは認められるか？
- 【A-10】変動電源（アグリゲート）のアグリゲートリソースについて、アグリゲートリソースの変更（減少）として一部退出を認める場合がありますが、当該事象が発生した場合に個別に確認させていただきます。

- 【Q-11】リクワイアメント対応の一環として、例えば、2024年10月を対象とする発電計画と発電量調整受電電力量を容量市場システムに登録する際、ファイル名は「202410_アセスメント算定諸元.CSV」と、同一になる認識。この時、一つのCSVファイルとして発電計画と発電量調整受電電力量を同時に登録することはできるのか？
- 【A-11】可能です。アセスメント算定諸元のCSVファイルは、ヘッダ部分（“実需給年月日”～“23:30”の部分）の項目が共通しているため、情報区分の数字を書き換えることで登録対象の情報を変更することができます（例：情報区分を01から03に変更することで、発電計画から発電量調整受電電力量の情報へ変換）。したがって、発電計画と発電量調整受電電力量を登録する際は1つのファイルとして登録することもできます（差替配分供給力のCSVファイルについても同様です）。なお、誤った情報区分を記載すると、異なった算定諸元として認識されてしまうため、情報区分の記載時には十分ご注意ください。

- 問合せ先は下記ページをご確認ください。
- <https://www.occto.or.jp/market-board/market/otoiawase/otoiawase.html>



更新日：2021年7月8日

— 容量市場に関するお問い合わせ連絡先 —

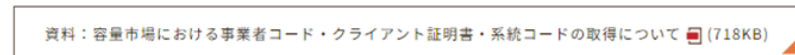
容量市場に関するお問い合わせ連絡先をご案内します。
なお、恐れ入りますが、お問い合わせの前にFAQをご覧ください。



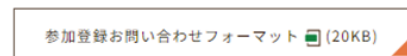
現在、多くのお問い合わせをいただいております。回答までに7-10日ほどのお時間をいただいておりますので、ご了承下さい。

— 参加登録専用問合せ窓口

- 下記に関するお問い合わせは、参加登録お問い合わせフォーマットにご記入の上（※）、以下のメールアドレスまでお送りください。
- 参加登録（事業者情報・電源等情報・期待容量）
※応札に関するお問い合わせは、その他の問合せ窓口にお送りください。
- 事業者コード・クライアント証明書・系統コード
※事業者コード・クライアント証明書・系統コードの取得申請に関するお問い合わせ先は、下記資料内をご参照ください。



メールアドレス：youryou_toroku@occto.or.jp



※メール本文への質問事項の記入はお控え下さい

— その他の問合せ窓口

参加登録以外に関するお問い合わせは、以下のメールアドレスまでお送りください。お問い合わせ内容はメール本文に記載していただいて構いません。
なお、お問い合わせの際には、「事業者名・担当者名・連絡の取れる電話番号」を明記するようにしてください。

メールアドレス：youryou_inquiry@occto.or.jp

こちらまでお問い合わせください。
「その他の問合せ窓口」
メールアドレス
youryou_inquiry@occto.or.jp